

教育計画 2012

平成 24 年度

學



兵庫教育大学附属中学校

はじめに

兵庫教育大学附属中学校は、本年度で創立から 31 年目を迎えています。本校の卒業生の皆様も、様々な形でご活躍されていることと拝察申し上げます。本校における教育が皆様のご活躍の源泉となっていれば、これまで本校で教鞭をとった教員全員が心から喜びを感じるものと確信いたします。

さて「櫛」は、本校の教育内容を知っていただくための計画書であり、平成 16 年度から毎年発行されてきました。内容は、学校の全体像を示した「学校概要」と、各教科等の「指導計画」を示した 2 部から構成しています。本年度は全体に内容をシェイプアップし、これまでの冊子体から web 上での公開に切り替えて、本校の特色ある教育をより広く発信することにいたしました。

本校では創立以来、「人生をたくましく豊かに生き抜くために、考え、鍛え、行動する人間の育成」を教育目標に掲げてきました。その目標は、現行学習指導要領の大きなテーマである「生きる力の育成」と直結しており、かつ、それを先取りしたものであったといえます。本校は、通常の義務教育の責務を果たすことはもちろんですが、兵庫教育大学の附属として、研究校という性格を有しています。すなわち、本校の教員が現場に即したテーマで組織的な研究を進めるのと同時に、大学とタイアップしながら理論と実践の融合を図り、国家的レベルで教育の在り方を先導していくという役割を担っています。実際、本校は大学と関わり合いながら理論的あるは実践的研究を進めており、また、今回も紹介していますように、「キャリア選択授業」では本校教員と大学教員がセットになって生徒への授業を行っています。また本校では、大学生／大学院生に対する通常の「教育実習」を行うだけでなく、大学生／大学院生が自主的に本校の授業をサポートする「体験学習」を設けるなど、本校と大学は常に交流し合っています。

以上のように、国立教育大学の附属学校としての役割を果たしつつ、生徒への惜しみない教育支援を行っていくことが本校教員一同の目指すところであります。

今後とも本校の発展のため、ご家庭・PTA および近隣地域の方々はもとより、広く読者皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫教育大学 附属中学校
校長 永木 耕介

目 次

I 学校概要編

1. 沿革概要	1
2. 学校経営方針	3
3. 学年目標（めざす生徒像・育てたい力）	6
(1) 第1学年 (2) 第2学年 (3) 第3学年	
4. 教育課程編成	7
5. P T A組織図	8
6. 教育研究	9
7. 教育実習	10
8. 大学授業（学校サポート体験学習）	11
9. 生徒会活動	12
10. 学校年間計画一覧	13

II 各教科等 年間指導計画

国 語 科	16
社 会 科	23
数 学 科	33
理 科	52
音 楽 科	57
美 術 科	62
保健体育科	67
技術・家庭科	75
英 語 科	83
道徳・人権	95
総合的な学習の時間	97
特別活動	98
キャリア教育	99

I 学校概要編

1. 沿革概要

昭和 53 年 6 月 17 日	第 84 回国会において、「国立大学設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法」成立 同法の公布により兵庫教育大学の設置が法律上認められる。
10 月 1 日	兵庫教育大学設置
昭和 56 年 4 月 1 日	学校教育学部附属中学校設置（生徒の受け入れ準備業務を開始）
昭和 57 年 4 月 10 日	第 1 回入学式
9 月 1 日	実地教育Ⅰ開始（以下毎年 4 月実施）
9 月 26 日	第 1 回体育祭（以下毎年実施）
昭和 58 年 4 月 8 日	第 2 回入学式
昭和 59 年 2 月 4 日	第 1 回立春式（以下毎年実施）
3 月 18 日	第 1 回友嬉祭（以下毎年秋に実施）
4 月 10 日	第 3 回入学式（学年進行による整備計画完了。以下毎年実施）
7 月 18 日	校歌制定（長谷川孝士作詞、竹田勝作曲）
11 月 24 日	第 1 回教育研究発表会
12 月 2 日	実地教育Ⅴ開始（以下毎年実施）
昭和 60 年 3 月 14 日	第 1 回卒業式（以下毎年実施）
9 月 1 日	実地教育Ⅷ開始（以下毎年実施）
10 月 31 日	第 2 回教育研究発表会
昭和 62 年 3 月 25 日	多目的球技場竣工
5 月 19 日	第 3 回教育研究発表会
昭和 63 年 3 月 24 日	食堂、多目的教室竣工
10 月 18 日	第 4 回教育研究発表会
平成 2 年 3 月 31 日	コンピュータ情報教育システム導入（情報教室にコンピュータ 20 台設置）
4 月 1 日	文部省同和教育研究校の指定を受ける 新制服（ブレザー）制定
平成 3 年 9 月 28 日	創立 10 周年記念式典挙行
10 月 31 日	同和教育研究発表会
平成 4 年 4 月 1 日	文部省研究開発学校の委嘱を受ける
平成 5 年 4 月 30 日	武道場竣工
平成 7 年 3 月 31 日	文部省研究開発学校の委嘱を終了する（新教科「人間と環境」科・情報科）
平成 8 年 10 月 31 日	第 5 回教育研究発表会
平成 9 年 10 月 24 日	第 6 回教育研究発表会
平成 11 年 3 月 29 日	コンピュータ教室改修・情報教育システム更新（コンピュータ 40 台設置）
平成 11 年 10 月 29 日	第 7 回教育研究発表会
平成 12 年 3 月 31 日	コンピュータ情報活用ネットワーク教育システム設置 （普通教室、特別教室にコンピュータ設置・校内 LAN 整備）
平成 12 年 10 月 20 日	第 8 回教育研究発表会
平成 13 年 11 月 2 日	創立 20 周年記念式典
平成 15 年 11 月 21 日	第 9 回教育研究発表会
平成 16 年 4 月 1 日	校名を兵庫教育大学附属中学校に変更
平成 16 年 11 月 18 日	第 10 回教育研究会発表会
平成 17 年 11 月 22 日	第 11 回教育研究会発表会
平成 18 年 9 月 4 日	文部科学省「わかる授業実現のための教員の教科指導力向上プログラム」の委嘱を受ける
平成 18 年 11 月 17 日	第 12 回教育研究会発表会
平成 19 年 10 月 19 日	第 13 回教育研究会発表会
平成 20 年 10 月 17 日	第 14 回教育研究会発表会

- 平成 21 年 4 月 1 日 文部科学省「英語教育改善のための調査研究学校」の指定を受ける
国立教育政策研究所「教育課程研究指定校事業」研究指定校の指定を受ける
(社会科 1 年目)
第 15 回教育研究会中止 (新型インフルエンザの影響による)
プール全面改修、放送室移設、会議室・家庭科調理室設備・美術室改修
- 平成 22 年 4 月 1 日 文部科学省「英語教育改善のための調査研究学校」の指定継続(2 年目)
国立教育政策研究所「教育課程研究指定校事業」研究指定校の指定継続
(社会科 2 年目)
- 平成 22 年 10 月 22 日 第 16 回教育研究会発表会
- 平成 23 年 4 月 1 日 文部科学省「英語教育改善のための調査研究学校」の指定継続(3 年目)
国立教育政策研究所「教育課程研究指定校事業」研究指定校の指定を受ける
(国語科 1 年目)
- 平成 23 年 10 月 21 日 第 17 回教育研究会発表会
- 平成 23 年 11 月 11 日 創立 30 周年記念式典
- 平成 24 年 4 月 1 日 国立教育政策研究所「教育課程研究指定校事業」研究指定校の指定を受ける
(国語科 2 年目)
- 平成 24 年 4 月 1 日 国立教育政策研究所「教育課程研究指定校事業」研究指定校の指定を受ける
(音楽科 1 年目)

2. 学校経営方針

1 本校の性格と任務

本校は、国立大学法人法に基づく兵庫教育大学の附属中学校として、次の任務を遂行する。

- (1) 学校教育法の定めるところにより、義務教育学校として、中等普通教育を行う
- (2) 大学と連携し、中学校教育の実証的研究並びに教員養成に関わる実習・実地教育校として実習指導と指導法の研究を協同して行う
- (3) 大学・公立学校の研究協力校並びに国の研究推進モデル校として教育研究機関と連携し、教育と文化の振興と発展に寄与する

2 教育目標

「生きる力（ZEST FOR LIVING）」の育成を目指し、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな生徒の育成を目指す。

人生をたくましく豊かに生き抜くために、考え、鍛え、行動する人間の育成

目指す生徒像

人格の尊重

生命を大切にし、自他の人格や個性を尊重し合う生徒

正しい判断力

ものごとを真剣に考え、適切に判断し、進んで行動する生徒

強い心と身体

心身を鍛え、強い意志と体力をもつ生徒

感受性と表現力

豊かに感じる心を持ち、表現できる生徒

信頼と共働

たがいを信頼し、共に助け合い磨き合う生徒

自立と創造

社会的自立を目指し、自己の能力や創造性を伸ばす生徒

社会への貢献

社会に積極的に、奉仕する生徒

3 学校経営の方針

教育目標の達成に向けて、明るく活気あふれた美しい環境で、全職員の知恵と勇気と温かな思いやりを傾注し、教育の質的向上と内容の充実を図るため、次の方針を推進する

- (1) 一貫性のある活気あふれる学校づくりに向けて学校運営組織の活性化を図り、学年、各分掌がPDCAサイクルを生かし、機能的で能動的な組織として働くようにする。
- (2) 生徒が学校生活に充実感や満足感を持ち、魅力的で楽しい生活が送れるように生活環境、学習環境を整える。
- (3) 生徒理解を深め、心の結びつきを基調とした生徒指導、学年・学級経営に努める事で、生徒自身の自己指導能力を高める。
- (4) 知識基盤社会に対応する「確かな学力」を身につけ、将来に夢を持ち自立を促すキャリア発達を促進できるよう、個に応じた指導に努める。
- (5) 教職員一人一人が個々の専門性、資質向上を図るために積極的に研修に努めるとともに校内研修の効果的な推進に努める。
- (6) 開かれた学校として地域や家庭との連携を強め、生徒や保護者との信頼関係を一層深めることで、教育目標の具現化に努める。

4 本年度の教育実践研究及び学校経営の重点項目

更なる教育実践研究の充実を図るため、これまでの重点項目を継承するとともに、今年度取り組む重点項目を次のようにする。

主体的に学びを深める生徒の育成
—教科の特質をふまえた質の高い課題の設定—

(重点1) 研究学校としての魅力

1 研究・研修の充実

- 組織としての研究体制を確立し、全教員が研究授業を実施し、教師が元気になる授業研究会の方策を定着させる。
- 研究発表会を充実させ、集客を狙い、研究内容を広く周知する。11月9日(金)研究発表会予定
- 大学、神戸市及び地域の公立学校との連携を図り、共同研究や研究交流を一層推進する。
- 校内研修を充実させ、理論に基づく研究が推進できる基幹づくりを行う。
- 各教科、教科外活動に大学から指導者を招き、継続的に指導を受けることで内容の充実を図る。
- 各自が研究テーマを持ち、資金獲得を目指して文科省や国研などに応募する。

2 授業の充実(キーワードは質の高い課題)

- 「確かな学力」の定着に向けて、授業改善・授業内容の質的向上を図る。
- 「家庭学習の手引き」を活用し、授業規律の定着と家庭学習の充実を図る。
- 質の高い課題を設定し、協働学習の場面を構成して、学びの共同体の活性化を図る。
- 教科のねらいを達成する言語活動を授業に取り入れ、国語力の育成を図る。
- ICT 機材を積極的に活用し、時間を有効に使って思考を深める活動を推進する。

3 道徳・人権教育の充実

- 道徳的実践力を高め、人権感覚を身につける授業を全教育課程に位置づけて実施する。
- 35 時間を確保し教科横断的に実施することで、学んだことの拡がり効果を高める。
- 人間としてよりよく生きるための基本的な心構えや行動・態度を学ばせる。(命の尊さ・自尊感情・思いやりの心・逆境に負けない強い心の育成 など)
- 人権スキルを身につけさせる活動を工夫し、互いを認め合い、いじめのない学級・学年づくりを進める。

(重点2) 中学校としての魅力

1 学級・学年経営の充実

- 学年経営の基本方針を明確にし、職員相互の「報・連・相」機能を高めることで各教員の力を結集し、学年経営を充実させる。
- 学級を三つの間(時間・空間・仲間)が心地よく、居心地がよくて所属感が感じられる場にする事でいじめの根絶、不登校〇を目指す。
- 保護者と連携を密にする工夫をし、共に育てるという気運を高めることで支援を得る。

2 心つながる生徒指導の充実

- 問題行動の未然防止・早期発見・早期解決を目指すため、迅速な報告・連絡・相談(報・連・相)の日常化と教員の連携による協同指導体制を敷く。
- 定期的な生徒指導部会の開催と情報交換、情報の共有を行うことで、誰もが指導できるようにする。
- スクールカウンセラーを活用し、養護教諭と担任との連携を強めてこころの健康を図る。
- 生徒理解を深め、心の結びつきを基調とした指導により生徒自身の自己指導能力を高める。
- 生徒間相互の望ましい人間関係の構築を図る工夫として、エンカウンター、ピアサポートなどの手法を取り入れる。
- ネットパトロールの取組を継続し、情報を正しく活用することができるようにする。
- 小中及び地域、関係機関と密な連携を図り、協力関係を構築する。

3 進路指導の充実

○学年段階に応じた計画的、組織的かつ継続的な進路指導をキャリア教育、アントレプレナー教育の視点から企画・実践し、社会的自立を基幹とした指導に努める。

○進路指導資料の整理とその効果的な活用を図る。

○教師と生徒の信頼関係を深めるキャリアカウンセリングを実施する。

4 特別支援教育の充実

○特別な支援が必要な生徒が在籍している、いないに関わらず、日常の授業における教師の「指示の出し方」「声のかけ方」「説明の仕方・話し方」「立ち位置や板書の仕方」など、授業力・授業スキルに関する点検を行い、資質向上に努める。

○特別な支援を要する生徒への対応マニュアル及び指導記録のポートフォリオ化を図る。

5 特別活動の充実

○リーダーシップの育成と、感動と連帯感のある学校行事にするため、学校行事を精選し、PDCAサイクルにより行事のマンネリ化を防ぎ、内容の充実を図る。

○生徒が主体的に取り組み、学校文化を創り上げる生徒会活動にするため、日常的な専門部の活動を充実させるとともに、生徒会役員の資質向上を図る。「はじめに子どもありき」

○キャリア総合選択授業及びアントレプレナー教育を推進し、社会的自立に必要な能力を育成する。

6 保健・安全指導の充実

(重点3) 附属学校としての魅力

1 学部・院との連携強化

○実地教育について指導方針を共通理解し、計画的な実習が行えるよう指導・評価を工夫する

○実地教育指導者として、自身の指導力、資質の向上を図る

○実地教育期間中の生徒指導を徹底し、崩れがないようにするため、実習生への指導を強化・サポートする。

○学部生や院生との共同研究を意識し、教科における専門知識・指導技術の向上を目指す。

2 教育環境・生活環境の整備

○安全で安心な学校施設・設備の整備・修繕を行う（おやじの会他の協力を仰ぐ）

○教室掲示、廊下掲示、玄関掲示など、学習に適した校内環境の整備を行う。

○清掃活動を徹底し、美しい学校にすることで、心も磨く。

3 地域・保護者・附属学校園との連携

○学校支援ボランティア本部事業の見直しとコーディネーターの養成を図り、開かれた学校で保護者の姿が見える学校を目指す。

○学習支援ボランティアの組織化により、低学力生徒への支援を計画的・継続的に行う。

○三附属校園連携会議を各教科の共同研究の場として位置づけ、小中の連続した教育課程・指導計画づくり、系統的なカリキュラムづくりを視野に入れた活動にする。

4 学校自己評価、学校関係者評価の活用

○大学の中期計画に学校自己評価・学校関係者評価を反映し、附属中学校としての在り方を追求する。

○教職員としての使命感と高い倫理観を持ちながら、豊かな人間性の涵養に努め、専門性と実践的指導力の向上を目指し、研究と修養に努める。

○説明責任と報告を随時行ない、PDCAサイクルによる学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を行う

○保護者アンケート、生徒アンケートを実施し、実態を把握して指導に結びつける。

5 大学教員との共同研究の実施

○大学と連携し、中学校教育の実証的研究、指導法の研究を協同して行う。学長裁量経費（研究費）などを最大限活用し、附属としての強みを活かした研究を行う。

3. 学年目標（めざす生徒像・育てたい力）

	学年目標（めざす生徒像・育てたい力）
一 年	1. 自他ともに尊重することのできる生徒 常に向上心を持ち、自分に自信がもてるように努力し、互いの個人差を認め合いながら仲間に思いやりや優しさを示すことができる生徒の育成。 2. 将来の進路を見すえた、確かな学力を身につける生徒 各教科の学習意義をとらえ、学習規律を守り、集団の中で学び合うことや自分に合った学習方法を工夫することにより、確かな学力が身につくよう継続的に努力する生徒の育成。 3. 自ら進んで体を動かすことのできる生徒 生徒会活動や学級の係活動において、周りの状況を確認しながら、自ら進んで考えて動き、集団生活に寄与できる生徒の育成。
二 年	学年目標 けじめある生活 やる気みなぎる集団 きづきあえる仲間たち 1. 中堅学年としての自覚と規範意識をしっかり持ち、公正な判断ができる生徒を育成する。 2. 主体的に学習・学校行事に参加し、意欲的な取り組みができる生徒を育成する。 3. 他者を思いやることのできる生徒を育成する。 4. 自分に適した学習方法を確立し、将来の進路実現に向け、努力できる生徒を育成する。
三 年	1. 立志を誓った最上級生として、規範意識を高く持ち、学校生活のあらゆる場面で、公正な行動がとれる生徒の育成。 2. 意見が違っても安心して自分の思いを表現できる“まじめが美しい”をモットーにした生徒集団の育成。 3. 進路に向けて具体的な目標設定を行い、基礎の定着と発展学習に向けて互いに高めあうことができる生徒の育成。 4. 自己の適性や将来の生き方を考えるとともに、自己実現に必要な努力をたゆみなく行える実践的態度を持った生徒の育成。

4. 教育課程編成

平成24年度教育課程（新学習指導要領）

	国	社	数	理	音	美	保体	技家	英	道德	特活	総合	学力 向上	合計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	1	30
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	1	30
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	1	30

〈教育課程の編成について〉

1 教科等の授業時数

- ・ 週あたり 30 時間で教育課程を編成し、30 時間の 1 時間は、その週や前後の週で抜けた授業を入れ、授業時数を確保する。
- ・ 集会や専門部会等は、7 校時に実施する。
- ・ 始業式当日（1 学期は除く）に課題テスト（5 科目）を実施する。
- ・ 定期テストの最終日は 6 時間目まで実施する。
- ・ 学力向上の時間を 1 時間設け、欠時の授業を入れて授業時数を確保する。

2 総合的な学習の時間

- ・ 1 年生は 1.4 時間、2 年生と 3 年生は 2 時間を総合的な学習の時間として確保する。
- ・ 2 年生と 3 年生は 1 時間をキャリア総合選択授業と位置づけ、兵庫教育大学の先生方を講師として招き、13 の講座を設けて生徒の興味関心に基づいて受講する。

3 時程と下校時刻

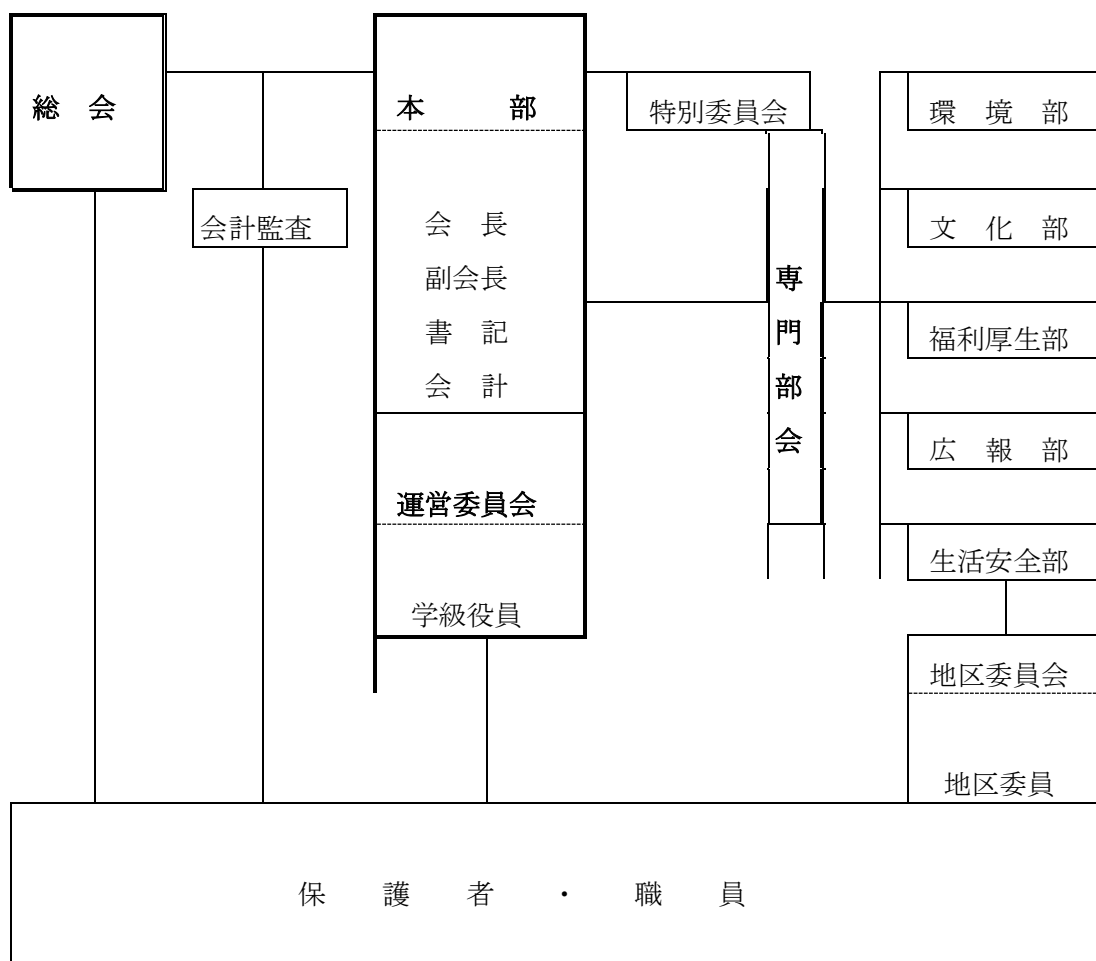
〈時 程 表〉

	平常時程	集会時程
朝 の 読 書	8:30～8:40	8:30～8:35
1 校 時	8:50～9:40	8:40～9:30
2 校 時	9:50～10:40	9:40～10:30
3 校 時	10:50～11:40	10:40～11:30
4 校 時	11:50～12:40	11:40～12:30
給食・休憩	13:00～13:30	12:30～13:15
清 掃	13:35～13:45	
5 校 時	13:55～14:45	13:20～14:10
6 校 時	14:55～15:45	14:20～15:10
集会・専門部会		15:20～15:45
終わりの会	15:50～16:00	15:50～16:00
下校・部活動	16:00～	16:00～

〈完全下校の時刻表〉

期間	下校時刻
4 月上旬～9 月上旬	18 時
9 月上旬～10 月初旬	17 時 30 分
10 月初旬～11 月中旬	17 時
11 月中旬～1 月中旬	16 時 45 分
1 月中旬～2 月中旬	17 時
2 月中旬～2 月下旬	17 時 15 分
2 月下旬～3 月下旬	17 時 45 分

5. P T A組織図



6. 教育研究について

研究テーマ

主題 主体的に学びを深める生徒の育成

副題 「教科の特質をふまえた質の高い課題の設定」

キーワード：主体的な学び、課題設定、協働学習、

1 研究主題について

(1)「主体的に学びを深める」とは

自分自身との対話のなかで考えをまとめ、それを自分以外の「他者」との関係において、ともに協調しながら課題を解決し、互いに理解し合う関係性を作り上げていく過程

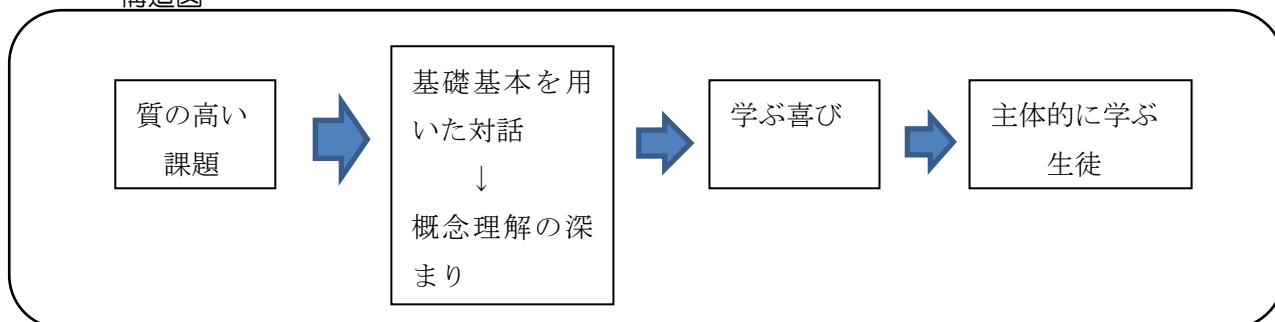
(2)「質の高い課題」とは

- ①基礎・基本を活用して教科の求める思考力・判断力・表現力を高める課題
- ②その結果、基礎・基本が定着する課題
- ③協働学習を効果的に使って対話が深まる課題。

(3)研究仮説

基礎・基本の深い理解に通じる、教科の特質をふまえた質の高い課題を設定すれば、より一層主体的に生徒が学ぶようになるであろう

構造図



教科の授業において、基礎・基本の深い理解に通じる「質の高い課題」を設定し、生徒の協働学習を行うようにすれば、生徒と課題、生徒と生徒の対話を通して、基礎基本の定着が図られ、思考力・表現力・判断力の育成ができる。そして、教科の本質につながる概念理解が深まり、生徒は、「学ぶよろこび」を感じることができる。この過程を繰り返すことで、生徒は教科の学習に対して深い興味関心をもち、主体的に学ぶようになると考えられる。

4. 研究計画

4・5月	研究体制づくり 年間研究計画、研究主題・副主題の確認 教科部会 授業研究会
5・6月	授業研究会 一次案内 公開授業者の決定
7・8月	授業研究会 研究会内容の決定 研究紀要原稿作成 職員研修会
9・10月	授業研究会 研究紀要原稿検討 二次案内 学習指導案作成
11・12月	11月9日(金)研究発表会 研究発表会の反省
1・2・3月	授業研究会 本年度の成果と課題 次年度の取組決定

7. 教育実習

A. 実地教育

教育者は人格的な資質、学歴と教育技術、さらには教育実践力を兼ね備えていることが望まれる。実地教育は、このような資質と能力を学校教育の実践に即して修得するものであり、次のことを目的としている。

〔実地教育の目的〕

- ①教育実践を実地に体験して、教育者としての使命を認識し、実践意欲を高めること。
- ②講義・演習等で学習した知識や技術を、実地に応用・展開して研鑽するとともに、その体験をさらに学習に生かすこと。
- ③学校教育の目的と内容を実地に即して認識し、指導方法・技術を修練すること。
- ④子供の発達段階、個性及び生活態度を具体的に理解するとともに、教育者としての人格・態度について自ら修養すること。

本学の特色ある教育実習として、中学校では下記のような教育実習を行っている。

(1) 実地教育Ⅰ（学校観察実習）

〔目 的〕 実地教育体系の意義を学び、中学校の教育概要と実践について理解し、見学・参加の実習を通して教育者となる意欲と心構えを培う。

〔実地方法〕 中学校教諭普通免許状取得希望者に対して、大学院の5月頃、2日間にわたって行われる実習である。実地教育の意義について自覚し、その全体的な課題について展望し、自己の実習課題を設定する。それから教育の実際について、見学・参加の実習を行う。

(2) 実地教育Ⅷ（中学校教育実習）

〔目 的〕 初等教育実習をふまえて中学校教育全般について実習し、中学校教育に関する基本的な実践指導力を習得する。特に、教科指導について指導力を養い、教育者としての資質を啓培する。また、理数系教員養成としての特別プログラムの大学院生も含む。

〔実地方法〕 中学校教諭普通免許状取得希望者に対して、大学4年次、大学院2年時の5～6月頃、3週間にわたって行う実習である。基本的には第1週目は、教材研究あるいは授業の観察、さらに教員の講和等を通じて、中学校の実態、生徒の実態、学級の実態等について理解を深めるとともに教壇実習に着手する。第2、3週目は、教科や領域での教壇実習を中心に行い、教科指導、道徳や特別活動での教育実践力を養う。

B. メンタリング実習

〔目的〕

専門職大学院の教育実践高度化専攻の院生に対して行う実習である。目的は、高度な実践的学修を通して優れた実践的指導力を備え、同僚や若年教員に対して指導的役割を果たし得るメンター教員としての資質・能力を育成することである。

〔実地方法〕

5～6月頃、学部実習生の実地教育Ⅷの実習にあたる附属学校教員の実習指導に観察者として参加し、実習指導に当たるメンター(附属学校教員)が行う指導助言の様子を観察する。それを通して実習指導計画の企画や立案、実習運営の円滑な推進や管理、学部実習生への指導・助言、研鑽意欲を高めるカンファレンス等の観察・指導補助を通して、メンタリングを体験的に学修する。

8. 大学授業（学校サポート体験学習）

【学校サポート体験学習とは】

兵庫教育大学附属学校園での教育活動に対して学生がボランティアとしての自発的・計画的な支援・協力的な活動をすることです。

【学校サポート体験学習は次のように位置づけられる】

①兵庫教育大学の一環であり、第2学年以降に受講が可能な学校サポート体験学習Ⅰ、第3次以降に受講が可能な学校サポート体験学習Ⅱ、第4年次以降に受講が可能な学校サポート体験学習Ⅲの3種類がある。

②学校サポート体験学習Ⅰを終えると次年度以降にⅡを、Ⅱを終えると次年度以降にⅢを受講することができる。その際には、学校サポート体験学習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを有効に関係づけることができる。

【目的】

教育現場では、専門的知識の活用、指導方法の改善、教育実践力・専門性が求められており、教職専門性の確立が今後大きな位置をしめる。学校教育実践では臨床現場を体験し、その実践方法を教師から批判的に学び、自ら考え工夫して指導方法や実践方法を習得することを目的にする。

学生は自らの課題意識に基づき活動に参加し、その経験を省察することを通して、幅広く教職に関する職務内容や学校運営のあり方等を理解し、その専門性の向上を図ることをねらいとする。

【方法】

学校サポート学習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの選択科目であり、履修した学生だけが体験学習を行う。学生は、大学での授業の空き時間を利用して活動する。学生は、主として活動する学級に配属され、自ら設定した課題解決に向けて、教育の場で有意義な活動を経験する。

【附属中学校での内容】

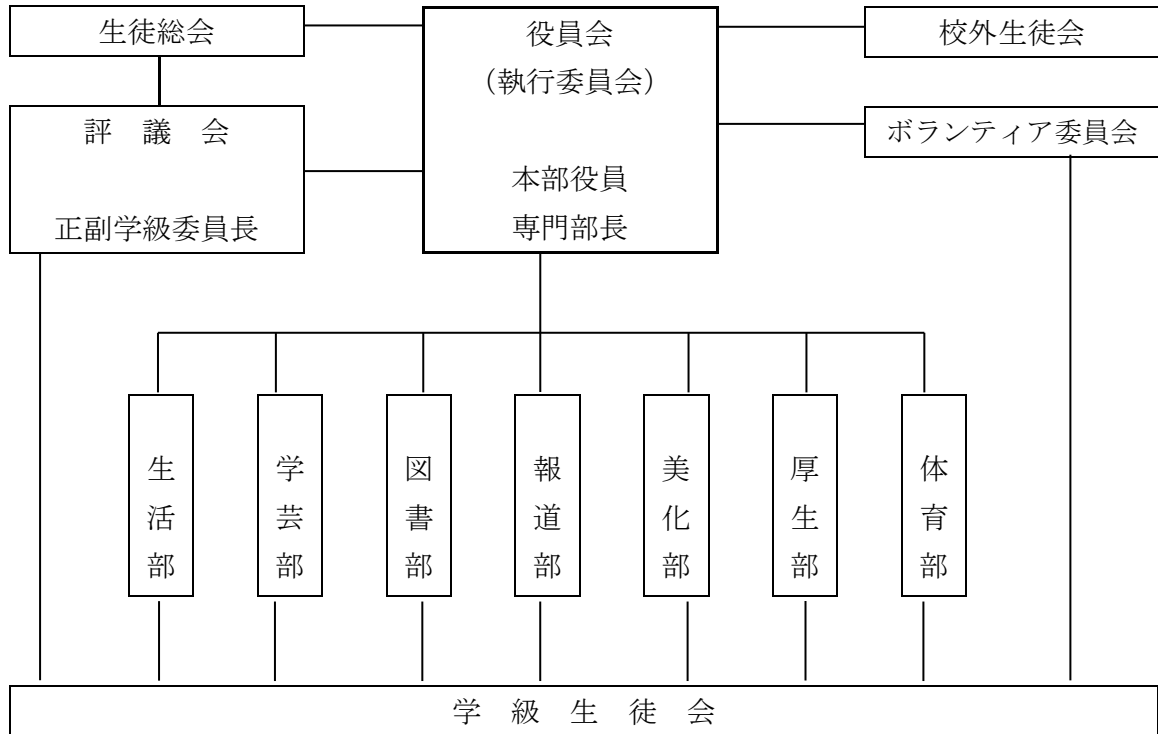
- ①各種行事（体育祭、友嬉祭、研究発表会など）運営への支援
- ②部活動指導への支援
- ③学校環境・学級環境の整備への支援
- ④生活指導・学習指導への支援
- ⑤その他

9. 生徒会活動

(1) ねらい

- ① 生徒会の自主的な自治活動を通じて、附属中学校の生徒としての自覚と誇りを高める。
- ② 生徒全員の協力によって、よりよい校風を築く。
- ③ 健全な社会人としての人格を養成する。

(2) 生徒会組織



(3) 役員会

- ・ 会長（1名）、副会長（2名）、書記（1名）、会計（1名）、専門部長（7名）で構成する。
- ・ 任期は1年間とし、選挙時期は12月とする。
- ・ 任務については生徒会会則第7章25条により、生徒会の運営計画・反省をはかるとともに評議会への上程議案を審議する。

(4) 評議会

- ・ 各学級の正・副委員長で構成する。
- ・ 委任については、生徒会会則第6章18条により各学級、専門部会及び役員会により上程された議案を審議する。

(5) 専門部会

- ・ 学級の専門部員と専門部長で構成する。
- ・ 会則第8章30条により、活動計画を立てて評議会、総会に提出する議案をつくり、総会及び評議会で議決された事項を実行する。

(6) 役員会、評議会及び専門部会は、会則により開催する。

(7) 学期ごとに各専門部を中心として活動を行う週を設ける。

10. 学校年間計画一覧

平成24年度年間計画一覧											
4 月			5 月			6 月			7 月		
1 日			1 火 ○			1 金 ○	↓		1 日		
2 月	辞令・職員会議		2 水 ○	実地Ⅷオリ		2 土			2 月 ○		
3 火	職員会議 全学職員会議		3 木	憲法記念日		3 日			3 火 ○		
4 水	職員研修		4 金	みどりの日		4 月 ○			4 水 ○	壮行会	
5 木	学年会		5 土	こどもの日		5 火 ○			5 木 ○		
6 金			6 日			6 水 ○	進路説明会		6 金 ○	総体(午後)	
7 土			7 月 ○	個人懇談①		7 木 ○	↓		7 土	総合体育大会	
8 日			8 火 ○			8 金 ○	実地教育Ⅷ終了		8 日	(予備日)	
9 月 ○	始業式		9 水 ○			9 土	陸上競技大会		9 月	代休(予備日)	
10 火 ○	入学式		10 木 ○	↓		10 日			10 火 ○		
11 水 ○			11 金 ○	総会準備		11 月 ○			11 水 ○		
12 木 ○	生徒会入会式		12 土 ○	参観・PTA総会		12 火 ○			12 木 ○		
13 金 ○	避難訓練		13 日			13 水 ○	心肺蘇生法講習会		13 金 ○		
14 土			14 月	代休		14 木 ○			14 土		
15 日			15 火 ○	生徒総会		15 金 ○	PTA運営委員会②		15 日		
16 月 ○			16 水 ○	実地教育Ⅰ		16 土			16 月	海の日	
17 火 ○			17 木 ○	実地教育Ⅰ		17 日			17 火 ○		
18 水 ○			18 金 ○	三附属連携会議		18 月 ○			18 水 ○	学年レク(各2H)	
19 木 ○			19 土			19 火 ○			19 木 ○		
20 金 ○	PTA運営委員会①		20 日			20 水 ○			20 金 ○	終業式	
21 土			21 月 ○	実地教育Ⅷ開始		21 木 ○			21 土	東播大会	
22 日			22 火 ○			22 金 ○			22 日	東播大会	
23 月 ○			23 水 ○			23 土			23 月	夏季休業日	
24 火 ○	修学旅行		24 木 ○	↓		24 日			24 火		
25 水 ○	1・2年校外学習		25 金 ○			25 月 ○			25 水		
26 木 ○	↓		26 土			26 火 ○	期末テスト		26 木		
27 金 ○			27 日			27 水 ○	期末テスト		27 金		
28 土			28 月 ○			28 木 ○	期末テスト		28 土		
29 日	昭和の日		29 火 ○			29 金 ○			29 日		
30 月	振替休日		30 水 ○	3年課題テスト		30 土			30 月		
31 日			31 木 ○	↓		31 火			31 金	夏季休業日終了	

Ⅱ 各教科等 年間指導計画



国語科
社会科
数学科
理科
音楽科
美術科
保健体育科
技術・家庭科
英語科
道徳・人権
総合的な学習の時間
特別活動
キャリア教育

第1学年国語科年間指導計画

(研究課題)「論理的に思考し、表現する生徒の育成を目指して」
(学年目標)「目的や意図に応じ、内容や要旨を的確にとらえて読み、構成を考えて読み、思いをわかりやすく伝えながら話し合う態度を育てる。」

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法	
4	5	風の五線譜	詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。(C(1)ア)	詩の意味を考え、言葉を丁寧に声に出し、間を取って音読する。(C(2)ア)	詩に込められた意味を捉え、丁寧に音読したり、読み方を工夫して群読したりしている。	相互評価	
		話し方はどうか	話し方について知り、声に出して文章を読む。(A(1)ウ) (C(1)ア)	気象情報を音読し、話す速さをつかみ、話の表情を豊かにする練習をする。(A(2)ア) (C(2)ア)	話すときの適切な速度や話の表情について理解し、例文を適切に音読している。	観察 自己評価	
詩の心―発見の喜び		詩を読み味わい、自分のものの見方を広げる。(C(1)オ)	三編の詩の内容を捉え、音読して読み味わうとともに、文章の要点を理解する。(C(2)ア)	詩に込められた作者の思いや情景を捉え、詩の表現について気づいたことを挙げている。	観察 ノート		
小さな発見を詩にしよう		言葉を選び、表現を工夫して、詩を仕上げる。(B(1)エ) (伝・国イ(オ))	詩の題材を見つけ、言葉を選び、表現を工夫して詩を創作する。(B(2)ア)	書いた下書きを読み返し、語句の使い方や表現を工夫して詩を仕上げている。	観察 ワークシート		
音声の働きや仕組み		音声の働きや仕組みについて理解する。(伝・国イ(ア))	学習材を読み、音声の働きや音声を作り出す仕組みを理解する。	音声の働きや仕組み、音節、イントネーション、アクセントなどについて理解している。	ワークシート		
言葉の単位		言葉の単位について理解する。(伝・国イ(エ))	課題に取り組み、言葉の単位を知る。	文節や単語などの言葉の単位について理解している。	ペーパーテスト		
6	7	人物の思いをとらえる	遠い山脈	場面の様子や登場人物の思いに注意して作品を読み取り、自分のものの見方を広げる。(C(1)ウ) (C(1)オ)	作品を読み味わい、少年の思いを想像して老人に伝えたいことをまとめる。(C(2)ア)	人物の言動や場面の様子を描いた表現から老人と少年の思いを捉え、老人に伝えたいことをまとめている。	ワークシート
			さんちき	場面の様子や登場人物の思いに注意して作品を読み取り、自分のものの見方を広げる。(C(1)ウ) (C(1)オ)	作品を読み味わい、将来の三吉の思いを想像して書く。(C(2)ア)	人物の言動や場面の様子を描いた表現から三吉と親方の思いを捉え、将来の三吉の思いをまとめている。	ワークシート
			漢和辞典の使い方	漢和辞典の使い方を理解する。(伝・国ウ(ア)(イ))	学習材を読み、漢和辞典の使い方について理解する。	漢字を探すときの三通りの方法について理解している。	観察
			文の成分 連文節	文節の働きや文節どうしの関係について理解する。(伝・国イ(エ))	課題に取り組み、文の成分や連文節について理解する。	五種類の文の成分や連文節について知り、文節の働きや文節どうしの関係を理解している。	ペーパーテスト
			聞き取って整理しよう	相手の話をしっかりと聞き、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。(A(1)エ)	相手の話をメモを取りながら聞き、自分の考えとの共通点や相違点に注目し、整理する。(A(2)ア)	相手の話を正確に聞き、必要に応じて質問して自分の考えとの共通点や相違点を整理している。	ワークシート
9	文章の構成や書き方を学ぶ	オオカミを見る目	文章の構成を捉え、内容を読み取り、筆者の文章の書き方について自分の考えを持つ。(C(1)イ) (C(1)エ)	段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、文章の書き方についての自分の考えを発表する。(C(2)イ)	文章の構成を捉え、内容を要約し、文章の書き方のよいところを挙げている。	観察 ワークシート	
		つなが言葉・指し示す言葉	つなが言葉や指し示す言葉の働きについて理解する。(伝・国イ(エ))	課題に取り組み、つなが言葉や指し示す言葉の働きについて理解する。	つなが言葉や指し示す言葉の働きについて理解する。	ペーパーテスト	
		図表を使って伝えよう	「私」を説明するための文章を書く手順を理解し、文章を構成する。(B(1)ア) (B(1)イ)	手順に従って文章や図表を組み合わせ「『私』の説明文」を書く。(B(2)イ)	わかりやすい段落構成や図表を考えて説明文を書いている。	観察 作品	
		碑	本の中から紹介したい部分を見つける。(C(1)カ)	紹介したい本を決め、紹介カードを作る。(C(2)ウ)	目的に合わせて引用する部分を選び、紹介カードにまとめている。	作品	
1	古典の世界に出会う	伊曾保物語	古典に対する興味や関心を持ち、古文に読み慣れる。(C(1)ウ) (伝・国イ(イ))	音読を通して古文の読み方に慣れ、内容を正確に読み取る。(C(2)ア)	歴史的仮名遣いに注意して古文を音読し、古文のリズムに親しむとともに、内容を捉えている。	観察 相互評価	
		竹取物語	古文を読み味わい、作品に描かれた世界と現代とのつながりを考える。(C(1)オ) (伝・国イ(ア))	音読・暗唱を通して古文を読み、古語の意味を確認して、登場人物の心情を読み取る。(C(2)ア)	歴史的仮名遣いや古語の意味に注意して音読し、現代人にも通じる人間の心の在り方について意見を述べている。	観察 ワークシート	
		矛盾	漢文特有のリズムに読み慣れ、故事成語について理解する。(C(1)ア) (伝・国イ(ア))	漢文のリズムに読み慣れ、内容を読み取るとともに、故事成語を使った短文を作る。(B(2)ア)	音読して漢文特有のリズムに親しむとともに、他の故事成語を使って短文を作っている。	発表 観察	
		音読み・訓読み	漢字の音読みと訓読みについて理解する。(伝・国ウ(ア)(イ))	「漢字の音読み」「漢字の訓読み」を読み、音訓の違いを理解する。	漢字の音読みと訓読みを理解し、音訓の区別をする。	ワークシート	

0		単語の分類	単語の分類の仕方について理解する。(伝・国イ(エ))	各品詞の特徴や働きについて理解する。	単語の分類の仕方や十種類の品詞の特徴を理解している。	ペーパーテスト
		分かりやすく紹介しよう	分かりやすい話の構成について考え、聞き取りやすい話し方を工夫して話す。(A(1)イ)(A(1)ウ)	全体と部分、事実と考えの関係に注意して、「身近な大人に尋ねたこと」をクラスの友だちに紹介するスピーチをする。(A(2)ア)	話の各部分を分かりやすく組み立て、事実と考えを区別し、声の大きさや話す速さなどに注意してスピーチをしている。	スピーチ相互評価
		月夜の浜辺	詩の情景や心情を捉え、朗読する。(C(1)ア)	詩の中の言葉に即して情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。(C(2)ア)	詩に描かれた情景や心情が表現できるように、工夫した朗読をしている。	相互評価
11	事実と意見を読み分ける	脳の働きを目で見てみよう	文脈の中における語句の意味に注意して、要旨を捉えるとともに、脳の働きについて考える。(C(1)イ)(A(1)オ)	語句の意味を的確に捉え、要旨をまとめるとともに、脳の働きについて考えたことを話し合う。(A(2)イ)	語句の意味を文脈の中で正確に理解し、文章の要旨をまとめるとともに、脳の働きについて考えたことや知りたいことを発表している。	ワークシート
		漢字の部首	漢字の部首やその意味を理解する。(伝・国ウ(ア)(イ))	「形の変化」を読み、部首の形と呼び名について理解する。	部首の意味や形の変化、紛らわしい部首の区別をする。	ワークシート
		名詞	名詞の種類について理解する。(伝・国イ(エ))	練習問題により、名詞の種類や成り立ちについて理解を深める	五種類の名詞について理解している。	ペーパーテスト
		根拠を明確にして書こう	説得力のある根拠を明確に示して意見文を書き、互いに読み合うことで意見の説得力を確かめ合う。(B(1)ウ)(B(1)オ)	明確な根拠を示すうえでのポイントを確認、意見文を書き、読み合うことで互いに意見を交流する。(B(2)ア)	具体的な根拠を明確に示して意見文を書き、互いの意見文を読み合い、根拠に説得力があるか確かめ合っている。	作品
12	自分を見つめる	少年の日の思い出	場面の展開や描かれた人物、情景に着目して作品を読み深め、構成の工夫について自分の考えを持つ。(C(1)エ)(A(1)オ)	人物や情景を描いた表現に着目して作品を読み深め、作品の構成の工夫について話し合う。(A(2)イ)	人物や情景の描写に着目して主人公の思いを捉え、作品の構成について気づいたことを発表している。	観察ワークシート
		語の意味と文脈	語の多面的な意味と、文脈の働きについて理解する。(伝・国イ(イ)(ウ))	例文により、語の多面的な意味と文脈の働き、多義語について理解する。	文脈の中で語の多面的な意味をとらえ、区別して使っている。	ワークシート
		漢字の成り立ち	漢字の成り立ちを理解する。(伝・国ウ(ア)(イ))	六種類の漢字の成り立ちについて理解する。	漢字の成り立ちや性質により六種類に分類している。	ワークシート
		案内や報告の文章を書こう	必要な情報を選び出し、分かりやすい構成でまとめる。(B(1)イ)	手順に従って、合唱コンクールの案内や結果報告の記事を書く。(B(2)ウ)	文章やメモから必要な情報を選び出し、掲載媒体の形式に応じて分かりやすい構成でまとめる。	作品相互評価
		コンビニ弁当十六万キロの旅	情報の調べ方・集め方を身につけ、必要な情報を読み取る。(C(1)カ)	情報カードの元となる本を決め、手順に従って情報カードを作る。(C(2)イ)	調べてみたいことを決めて情報を探し、分かったことを情報カードにまとめている。	作品
1	視野を広げる	ニュースの見方を考えよう	ニュースの見方について自分の考えを持ち、目的に応じて情報を選択して用いる。(C(1)オ)(C(1)カ)	文章の内容を読み取り、グループで実際にニュースを編集したうえで、ニュースの見方について考えを持つ。(C(2)イ)	ニュースの見方について考えたことを挙げており、目的に応じて写真と文を選択し、ニュースを編集している。	観察相互評価
		新しい常用漢字	常用漢字について理解する。(伝・国ウ(ア)(イ))	常用漢字表や新しい常用漢字について理解する。	常用漢字表について知り、様々な種類の新しい常用漢字を理解している。	ワークシート
		連体詞・副詞・接続詞	連体詞・副詞・接続詞の種類や働きについて理解する。(伝・国イ(エ))	連体詞・副詞・連体詞をそれらの働きによって区別し、それぞれの種類を理解する。	連体詞・副詞・接続詞の種類や働きを理解している。	ペーパーテスト
		話し合いで理解を深めよう	グループで互いの体験や考えを出し合って整理し、話の方向を考えて自分の考えを話す。(A(1)ア)(A(1)オ)	一つのテーマについて体験や考えを出し合って整理し、話の方向を捉えて、相手の考えを受けて自分の考えを話す。(A(2)イ)	各自の体験や考えを出し合って共通点を見つけて整理し、相手の話を受けて自分の考えを話している。	観察自己評価
		鑑賞して良さを表現しよう	鑑賞文やキャッチコピーが的確で印象深いものになるように表現を磨く。(B(1)エ)	表現を磨くためのポイントを確かめ、人に薦めたい歌について伝えたい内容を考えてCDジャケットを作る。(B(2)ア)	作品の良さを伝えるために鑑賞文の構成を考え、キャッチコピーの言葉の選ぶ方などを工夫して表現している。	作品
		木	詩に表れているものの見方を捉え、自分の考え方を広くする。(C(1)オ)(A(1)エ)	言葉の意味を捉え、この詩に表れていているものの見方について気づいたことを話し合う。(A(2)ア)	この詩に表れているものの見方を捉え、自分が気づいたことを発表している。	ワークシート
		トロッコ	文学作品を読み、情景描写などの表現の効果について考える。(C(1)エ)	「トロッコ」の様々な情景描写の表現効果について気づいたことを話し合い、これまでに読んだ名作について紹介する。(C(2)ウ)	情景や人物の様々な描写の表現効果について、気づいたことをを挙げています。	ワークシート

第2学年国語科年間指導計画

(研究課題) 「論理的に思考し、表現する生徒の育成を目指して」
(学年目標) 「目的や意図に応じ、論理展開に着目して読み、構成を工夫して書き、考えの違いを比較しながら話し合う態度を育てる。」

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法		
4	5	思いを伝える	木とともに 人とともに	詩に込められた心情を捉え、読み方を工夫して音読する。（C(1)ア）	情景や心情を的確に捉え、それを生かして詩の音読の発表をする。（C(2)ア）	詩に描かれた情景や心情を捉え、どんな言葉にどんな気持ちを込めて読んだらよいかを考えて音読している。	生徒同士の相互評価	
			伝えたいと思うから	心情を表すさまざまな言葉に注意して、筆者の主張を捉える。（C(1)ア）	心情を表す表現を見つけて主張を捉え、考えを交流する。（C(2)ア）	心情を表すさまざまな言葉に注意して、「呼び言」の体験に基づく筆者の主張を捉えている。	観察・ワークシート	
			短歌を楽しむ	短歌の鑑賞文を交流し、互いの発表を検討して自分の考えを広げる。（A(1)オ）	短歌の鑑賞文を交流し、互いの発表を聞いて意見を述べる。（A(2)ア）	鑑賞文を聞いて、意見交換をして、自分の考えを広げている。	観察・ワークシート	
			短歌のリズムで表現しよう	自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。（B(1)ウ）	題材となるメモをもとに、表現の仕方を工夫して、短歌を作る。（B(2)ア）	短歌のリズムを意識しながら、自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作っている。	作品	
			敬語	敬語の種類や使い方について理解して、話したり聞いたりする。（A(1)オ）（伝・国イ(ア)）	敬語を使うべき日常の場面を想定し、模擬会話を行う。（A(2)ア）	尊敬語・謙譲語・丁寧語という敬語の種類や、それらの使い方について理解して、話したり聞いたりしている。	生徒の自己評価・観察	
	6	情報を比較する	字のない葉書 卒業ホームラン	2つの作品の読み比べを行い、共通点や相違点を見つけ、自分の考えを持つ。（C(1)ア）	2つの作品の読み取りから得た情報の比較をする。（C(2)ウ）	2つの作品を読み比べ、作品に描かれた人物像や読み取れるテーマの共通点・相違点について、自分の考えを明らかにしている。	ワークシート	
			聞き取って吟味しよう	問題意識を持って相手の話を聞き、自分の考えと比較する。（A(1)エ）	事実と考えとを聞き分けたり、相手の考えを吟味しながら聞いたりする。（A(2)ア）	事実と考えとを聞き分けるとともに、問題意識を持って相手の考えと根拠を吟味し、自分の考えと比較している。	生徒同士の相互評価	
			食の世界遺産 白川郷一受け継がれる合掌造り	2つの作品の読み比べを行い、それぞれの文章の書き方の特徴を捉え、自分の書き方の工夫に生かす。（B(1)ウ）	2つの作品の読み比べから得た書き方の工夫に生かし、テーマに沿って文章を書く。（B(1)ア）	2つの作品の読み比べから書き方の工夫を捉え、自分の考えを効果的に表現している。	作品・観察	
	7	語感を磨く	類義語・対義語	類義語と対義語について理解して、文脈の中で使い分ける。（B(1)エ）（伝・国イ(ア)）	類義語や対義語の意味の違いを理解して、文を作る。（B(2)ア）	類義語と対義語について理解し、語感を磨き、文脈の中で正しく使い分けている。	ワークシート	
			用言の活用	用言の活用形の種類や、活用の仕方について、グループで活用表を作ること、理解を深める。（A(1)オ）（伝・国イ(エ)）	グループで活用表を作り、活用の種類や活用の仕方について考えたことを発表する。（A(2)ア）	用言の六種類の活用形や、活用の仕方について理解している。	ペーパーテスト	
	9	10	時空をこえて	枕草子	筆者の表現上の特徴を効果的に用いて、自分の季節感や美意識を文章で表現する。（B(1)ウ）（伝・国ア(イ)）	当時の人々に共通の美意識について確認し、表現上の効果に注意して、自分の季節感を文章に表す。（B(2)ア）	筆者の季節に対する感じ方や、表現上の特徴を捉えて、自分の季節感を文章に表している。	作品・観察
				徒然草	随筆に表れた筆者のものの見方や考え方を捉える。（C(1)ウ）（伝・国ア(イ)）	作品に描かれた人物の言動や思い、それらを踏まえた筆者の考えを読み取る。（C(2)イ）	描かれた人物に対する筆者の考えを捉えるとともに、その人物の人物像を想像している。	ワークシート
平家物語				場面や状況を読み取り、当時の武士の生き方や心情について、互いの発表を検討して自分の考えを広げる。（A(1)オ）（伝・国ア(イ)）	表現の特徴に注意して古文を朗読し、場面の状況や登場人物の心情を読み取り、互いの発表を聞いて意見を述べる。（A(2)ア）	与一の置かれていた状況や気持ちを捉えるとともに、当時の武士の生き方について読み取り、意見交換をして、自分の考えを広げている。	観察・ワークシート	
漢詩				表現の特徴を捉え、繰り返し朗読して漢詩の世界を楽しむ。（C(1)ア）（伝・国ア(ア)）	朗読・暗唱を通して漢詩を味わい、漢詩に描かれている情景・心情や、表現上の特徴を捉え、交流する。（C(2)ア）	漢詩の形式を理解し、対句などの特徴的な表現に注意して朗読・暗唱している。	発表・観察	
説得力のある提案をしよう				資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。（A(1)ウ）	グループごとに提案を決めて、資料や機器を効果的に生かして、プレゼンテーションをする。（A(2)ア）	グラフや表、写真などを取り入れて資料を作成し、機器を活用したり資料提示のタイミングを工夫したりしている。	発表・生徒同士の相互評価	
落葉松				詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。（C(1)ア）	表現の仕方について、グループで考えを交流し、朗読を発表する。（C(2)ア）	詩に描かれた情景や心情を捉え、五七調の文語詩のリズムを感じ取りながら朗読している。	発表・観察	

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法
11	論証を吟味する	恥ずかしい話	筆者の論の進め方の工夫を捉える。（C(1)ウ）	筆者の論の進め方を捉える。また、抽象的な語句に注意して、文章の内容を読み取る。（C(2)イ）	段階を踏んで結論を導く文章構成を捉えるとともに、論の進め方の工夫について気づいたことを挙げている。	ワークシート
		反対意見を想定して書こう	意見が効果的に伝わるように、根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んだりする。（B(1)ウ）	課題について、立場を決めて、反対意見を想定した意見文を書く。（B(2)イ）	自分の主張に説得力を持たせるために、根拠を具体的に記述したり、他の立場への的確な反論を盛り込んだりしている。	作品・生徒同士の相互評価
		同音異義語 同訓異字	同音異義語・同訓異字について理解して、文脈に応じて正確に使い分ける。（B(1)エ）（伝・国ウ（ア）（イ））	同音異義語・同訓異字について理解して、自分で適切な文を作成する。（B(2)ア）	同音異義語・同訓異字について理解して、文脈に応じて正確に使い分けたり、自分で適切な文を作成したりしている。	ワークシート
12	わかりやすく伝える	走れメロス	作品を読み深めるための課題を自己設定して、根拠を明確にしながら自分の考えをまとめる。（C(1)ウ）	自己設定した課題について、具体的な描写や文章展開を根拠として引用しながら、自分の考えをまとめる。（C(2)イ）	具体的な描写や文章展開を根拠として作品を読み深めて、自分の考えを分かりやすくまとめている。	ワークシート・観察
		依頼状やお礼状を書こう	書いた手紙を読み返し、語句や文の書き方などに注意して推敲する。（B(1)エ）	依頼状やお礼状を書き、それ読み返して、よりよい手紙となるように推敲する。（B(2)ウ）	手紙文を読み返し、手紙の形式や、伝える情報の漏れ、言葉遣いの適切さなどに注意して推敲している。	作品・観察
1	情報化社会に生きる	情報検索で開ける世界	書籍やインターネットを使って情報を集め、それらの情報の特徴について考える。（C(1)オ）	辞書やインターネット、新聞などを活用して得た情報を比較する。（C(2)ウ）	書籍やインターネットで集めた情報を比較して、それぞれのメディアの特徴について気づいたことを挙げている。	ワークシート
		話し合いで考えを広げよう	さまざまな情報手段を使って討論のテーマを決め、自分たちの提案をまとめる。（A(1)オ）	辞書やインターネット、新聞などを効果的に活用して情報を得、討論のテーマを設定し、提案をまとめる。（A(2)ア）	多様な情報手段を活用して話題を見つけ、テーマを設定したうえで、根拠を固め、質問や反論を予想して提案をまとめている。	生徒の自己評価・観察
		いきいきと描き出そう	風景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。（B(1)ウ）	俳句から想像を膨らませて物語を創作する。（B(2)ア）	場面の風景をいきいきと、五感に訴えるように描き出すとともに、会話文や行動の描写から人物の心情が伝わってくるように書いている。	作品
	広がる世界	わたしが一番きれいだったとき	心情が読み取れる言葉に注意して詩を朗読する。（C(1)ア）	各連で繰り返される言葉に込められた思いを考えながら詩を朗読する。（C(2)ア）	それぞれの連の言葉から心情を読み取るとともに、各連で繰り返される言葉に込められた思いを捉えている。	発表・ワークシート
		坊っちゃん	文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。（C(1)エ）	主人公と清の行動や人柄、考え方についてどう考えるか、話し合う。（C(2)イ）	主人公と清の人物像を捉え、感じたことや考えたことを挙げている。	ワークシート・観察
		本で世界を広げよう	複数の本を読んで、比べながら考えをまとめ、紹介をする。（C(1)オ）	複数の本を読み比べて、考えをブックマークメモにまとめ、紹介をしている。（C(2)ウ）	調べてみたいテーマを決めてさまざまな情報を比較し、まとめている。	発表・ワークシート
	3					

第3学年国語科年間指導計画

(研究課題)「論理的に思考し、表現する生徒の育成を目指して」

(学年目標)「目的や意図に応じ、論理展開を的確に捉えて読み、優れた表現を取り入れながら書き、考えの違いを評価しながら話し合う態度を育てる。」

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法
4	5	生命は	詩の意味や効果的な表現を捉え、読み方を工夫して音読する。（C（1）ア）	表現の仕方について批評し、それを生かして詩の音読をする。（C（2）ア）	詩に込められた意味や効果的な表現を捉え、文末表現などに応じて読み方を工夫しながら音読している。	発表
		言語の有限性と無限性	対比された言葉に注意して、筆者の主張を捉える。（C（1）ア）	「言語」と「映像」の対比に注意して、筆者の主張を捉える。（C（2）イ）	「言語」と「映像」など、対比された言葉に注意して、筆者の主張を捉えている。	ノート
俳句の読み方、味わい方		俳句の良さを評価してまとめる。（C（1）ウ）	「俳句五句」から一句を選び、その句の良さを評価して、鑑賞文をまとめる。（C（2）ア）	「俳句五句」から一句を選び、読み取ったことや想像したこと、表現の工夫など、その句の良さを評価して鑑賞文にまとめている。	作品	
俳句を作って句会を開こう		俳句を作って互いに読み合い、作品の良さを評価する。（B（1）エ）	作った俳句を読み合って評価する。（B（2）ア）	俳句を作って互いに読み合い、情景や心情の表し方、表現の新鮮さなど、作品の良さを見つけて評価している。	相互評価	
言葉の移り変わり		言葉の変化について理解する。（伝・国イ（ア））	学習材を読んで、言葉の変化について理解する。適宜、漢字を確認する。	音声の変化、文法の変化、語彙の変化など、言葉の変化について理解している。	ペーパーテスト	
熟語の構成・熟字訓		熟語の構成や熟字訓について理解する。（伝・国ウ（ア））	「熟語の構成」「三字熟語」「熟字訓」を読んで、熟字訓について理解し、「課題」に取り組む。	二字熟語と三字熟語の構成や、熟字訓について理解している。	ペーパーテスト	
文学作品を読み味わう		形	場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。（C（1）ウ）	古典作品「松山新介の勇将中村新兵衛が事」と読み比べ、「形」の内容や表現の特徴を捉えたうえで、この小説の工夫や魅力についてまとめる。（C（2）ウ）	「形」の人物像や場面展開、表現の仕方などの特徴を見つけ、その工夫や魅力を評価してまとめている。	ワークシート
		風の唄	場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わう。（C（1）ア）	場面や登場人物の設定の仕方、人物の考えや心情を捉えて作品を読み味わう。（C（2）ア）	東真や映子などの人物の設定に注意して、場面ごとの人物の思いを捉えている。	ノート
		四字熟語	四字熟語の構成について理解し、さまざまな四字熟語を知る。（伝・国イ（イ））	「四字熟語」を読んで、四字熟語の構成について理解し、「課題」に取り組む。	さまざまな構成の四字熟語を知り、数字を含むものや故事成語であるものについても理解している。	ペーパーテスト
		聞き取って評価しよう	聞き取ったことをさまざまな観点から評価して、自分の考えや表現に生かす。（A（1）ウ）	手順に従って、複数の意見や、スピーチを聞いて評価する。（A（2）ア）	複数の意見や、スピーチを聞いて、さまざまな観点から評価し、自分の考えをまとめている。	相互評価
6	7	絶滅の意味	人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。（C（1）エ）	「考えを深める」設問に取り組み、人間社会と自然との関わりについて自分の意見をまとめる。（C（2）イ）	「現代の絶滅」を引き起こしてきた人間社会の在り方と、生態系の維持との関係について、自分の意見をまとめている。	ノート
		形がきまった言い方・慣用句	形がきまった言い方や慣用句について理解する。（伝・国イ（イ））	学習材（P69～70）を読んで、形がきまった言い方や慣用句について理解する。	連語や慣用句など、形がきまった言い方について理解している。	ペーパーテスト
		送り仮名	送り仮名の付け方について理解する。（伝・国ウ（イ））	「活用のある語」「活用のない語」を読んで、送り仮名の付け方の原則と例外について理解する。	活用のある語と活用のない語について、送り仮名の付け方の原則と例外を理解している。	ペーパーテスト
編集して伝えよう―「日本文化」のガイドブック		読み手に合わせて、記事の内容や形式を工夫して書く。（B（1）ア）	グループでテーマを設定し、その中で個人の題材を決めて、「日本文化を外国人に紹介するためのガイドブック」を作る。（B（2）イ）	読み手が関心を持ちそうな内容を選び、興味深い記事になるように形式を工夫して書いている。	作品	
星の航海術―心の中に島が見えるか 本で世界を広げよう（異文化理解） 本の世界を楽しもう		さまざまな読み広げによって、知識を広げ、考えを深める。（C（1）オ）	読み広げ方について考え、読む本を探して発表し合ったり、実際に読んでみたりする。（C（2）ウ）	本の読み広げ方を考え、適した本を探している。	観察	

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法
9	10	万葉・古今・新古今	それぞれの和歌が詠まれた背景や作者の心情について考える。(伝・国ア (ア))	「万葉・古今・新古今」のそれぞれの和歌について、音読を通して和歌のリズムを味わい、和歌の意味を考え、和歌に詠み込まれた情景・心情を読み取る。	和歌のリズムに注意して音読するとともに、歴史的背景などに注意して、それぞれの和歌に込められた意味を捉えている。	ワークシート
		おくのほそ道	作品に込められた作者の思いを読み深める。(伝・国ア (ア))	「考えを深める」設問②に取り組み、「おくのほそ道」の構成の特徴やその効果について考えたことを話し合う。	文章と句が組み合わされていることの効果について気づいたことを挙げている。	ノート
		論語 古典の言葉を味わおう	古人の言葉をもとに人間の生き方について考える。(伝・国ア (イ))	印象に残った孔子の言葉についての自分の考えを文章にまとめる。	古人の言葉を引用しながら、人間の生き方などについて考えたことをまとめている。	作品
		紛らわしい漢字	形や音の似た、紛らわしい漢字に注意する。(伝・国ウ (イ))	「形・音の類似」を読んで、形や音の類似した漢字があることを知り、「課題」に取り組む。	形や音の似た漢字を識別している。	ペーパーテスト
		間違えやすい敬語	間違えやすい敬語に注意し、正しい敬語の使い方を理解する。(伝・国イ (ア))	学習材を読んで、間違えやすい敬語の使い方を知り、正しい敬語の使い方を理解し、「課題」に取り組む。	尊敬語と謙譲語の使い分けや敬語の使い過ぎなど、間違えやすい敬語の使い方に注意し、正しい敬語の使い方を理解している。	ペーパーテスト
		場面に応じて話そうー条件スピーチ	敬語を適切に使い、場の状況や相手に応じた話し方をする。(A (1) イ)	「課題」に取り組む、社会生活とつながりのある体験について、話す場面を想定してスピーチをする。(A (2) ア)	敬語を正しく使い、適切な言葉遣いで話すとともに、聞き手の様子に応じて、言い換えや補足など、理解を深めてもらう工夫をしている。	発表
11	11	初恋	表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。(C (1) ア)	七五調など、表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。(C (2) ア)	七五調の文語詩という表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読している。	発表
		テクノロジーとの付き合い方 テクノロジーと人間らしさ	文章を読み比べて、文章の内容について自分の考えを持つ。(C (1) エ)	人間はテクノロジーとどう付き合うべきかについて、自分の考えを書く。(C (2) イ)	読み比べたことを踏まえて、人間はテクノロジーとどう付き合うべきか、自分の考えをまとめている。〔	ノート
		和語・漢語・外来語	和語・漢語・外来語の特徴について理解する。(伝・国イ (イ))	和語・漢語・外来語の区別や、それぞれの特徴について理解する。	和語・漢語・外来語の区別や、それぞれの特徴について理解している。	ペーパーテスト
		間違えやすい言葉	読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉に注意する。(伝・国ウ (ア))	「読み間違えやすい言葉」「書き間違えやすい言葉」があることを知り、「課題」に取り組む。	読み間違えやすい言葉や書き間違えやすい言葉について理解している。	ペーパーテスト
		観察・分析して論じようー批評文	論理の展開を工夫したり、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。(B (1) イ)	チョコレートポスターA～Cを観察・分析して批評文を書く。(B (2) ア)	根拠を具体的に記述して、結論が明快に伝わるように論理の展開を工夫するとともに、資料を参考にしたり引用したりして生かしている。	作品
12	12	故郷	場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深める。(C (1) イ)	場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深める。(C (2) ア)	場面の展開と、個々の人物の特徴や人間関係の変化を捉えるとともに、「希望」について考えたことを挙げている。	ワークシート
		漢字いろいろ	いろいろな漢字を知り、言語生活を豊かにする。(伝・国ウ (イ))	「人名・地名でよく目にする漢字」「単位や数量を表す漢字」「特定の分野でよく目にする漢字」「その他の知っておきたい漢字・語句」についての「課題」に取り組む。	人名・地名でよく目にする漢字、単位や数量を表す漢字、特定の分野でよく目にする漢字など、いろいろな漢字について理解している。	ペーパーテスト
		何のために「働く」のか 本で世界を広げよう〈現代社会〉	読書のさまざまな目的を考え、読書生活を豊かにする。(C (1) オ)	読んできた本について整理し、読書の目的や動機について考え、読書生活をより豊かにするための読書計画を立てる。(C (2) ウ)	読書生活を振り返り、これまで読んできた本を整理して、これからの読書計画を立てている。	ノート

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法
1	2	「正しい」言葉は信じられるか	文章を読み比べ、構成や表現の違いについて考える。（C(1)ウ）	新聞記事を読み比べたり、書き換えたりすることを通して、構成や表現の違いから生まれる印象の違いについて考える。（C(2)イ）	新聞記事を読み比べたり書き換えたりして、構成や表現の違いについて考えたことを挙げている。	ワークシート
		新しい常用漢字	常用漢字について理解する。（伝・国ウ（ア））	「常用漢字表／複数の書き方がある漢字」を読んで、常用漢字表や新しい常用漢字について理解し、「課題」に取り組む。	常用漢字表について知り、さまざまな種類の新しい常用漢字を理解している。	ペーパーテスト
		文法のまとめ	文法的な性質の異なる語の見分け方を通して、文法の復習をする。（伝・国イ（イ））	文法的な性質の異なる語の見分け方を通して、文法の復習をする。また、「課題」に取り組む。	文節や単語、品詞や活用形などについて理解し、文法的な性質の異なる語を見分けている。	ペーパーテスト
		話し合いで問題を解決しようーチャート式討論	話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫する。（A(1)エ）	提示されている問題について、論点を整理しながらグループで討論する。（A(2)イ）	論点を明らかにし、議論の順序をチャートに整理するとともに、話し合いの方向を捉え、必要に応じて軌道修正している。	相互評価
		今の思いをまとめようー一時を超える手紙	中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめる。（B(1)ア）	手順を参考に「課題」に取り組み、「過去の人物」か「未来の自分」に宛てて手紙を書く。	中学校生活や将来について、自分の思いを見つめ直し、書きたい内容を絞って手紙にまとめている。	作品
		レモン哀歌	効果的な言葉の使い方に注意して詩を読む。（C(1)ア）	この詩の言葉で心に残ったところを挙げて、そこにどんな表現効果が感じられるかを話し合う。（C(2)ア）	詩の言葉で心に残ったところを挙げ、そこにどんな表現効果が感じられるかを指摘している。	ワークシート
		最後の一句 日本の名作を読もう	文学作品を読み、人間や社会について考える。（C(1)エ）	「いち」の最後の言葉についてどう考えるか、話し合う。（C(2)ア）	「いち」の最後の言葉をもとに、人間や社会について考えたことを挙げている。	ノート
3		楼蘭の夜	先人の生き方の根底にあった思いを受け止める。（C(1)エ）	筆者の生き方や思いについてどう考えるか、話し合う。（C(2)ア）	文章を読み、先人の生き方の根底にあった思いを受け止め、感想を述べている。	作品

第1 学年社会科年間指導計画

(研究課題) 資料を活用して社会的認識を深める言語活動の追究

(学年目標) ①地理的・歴史的な見方と考え方の基礎・基本、概念と技能を習得し、事象間の関連付けを多面的・多角的に考え、説明できる。②地図・写真等の資料の読み取り技能と資料を利用し表現する言語活動を重視する。

月	単 元	学習目標	言語活動	評価基準B	場面・方法
4	(地理) ●世界のさまざまな地域 第1章世界のすがた	●世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋の形状や分布、緯度と経度による位置の表し方を理解させる。 ●現在の世界が州や大陸およびそれらを区分したいくつかの地域でとらえられていることや、おもな国々の位置や国名知識を身につけてさせる。	●様々な世界地図が考案される理由や世界の地域構成、地域における気温の違いを緯度と経度を基に考察し、祖母過程や結果を文章や地図で適切に表現する。【思考・判断・表現】	●世界の地域構成について、大陸と海洋の形状や分布、また、おもな国々の名称と位置の知識を身につけるとともに、緯度や経度について理解しその知識を身につけている。【知識・理解】	小テスト ワークシート 発表
5	(歴史) ◆歴史の流れ ・歴史の流れをふり返ろう ・歴史をはかるものさし ◆古代までの日本 第1節人類の始まりと文明	◆小学校で学習した歴史上の人物・できごと・文化遺産について振り返ったりまとめたりする活動を通じて時代の区分や移り変わりに気づくとともに、歴史学習へ意欲を高める。 ◆人類の誕生・世界の古代文明や宗教のおこりについて理解させる。	◆小学校で学習した歴史上の人物・できごと・文化遺産など各時代の特色について考え、その過程や結果を適切に表現している。【思考・判断・表現】 ◆文明の特徴を自然や農業の等の条件と結びつけて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。【思考・判断・表現】 ◆宗教のおこりと広まりを文明のおこりと関連させて説明し、現在社会への影響についても考えている。【思考・判断・表現】	◆小学校で学習した歴史上の人物・できごと・文化遺産など各時代の特色に関する様々な資料を集め、有用な情報を適切に読みとり、図表や簡単な文章にまとめている。【技能】 ◆小学校で学習した歴史上の人物・できごと・文化遺産など各時代の特色に関心をもち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。【関心・意欲・態度】 ◆人類の誕生・世界各地の文明やおもな宗教のおこりについて理解している。【知識・理解】	ワークシート 発表 ノート点検
6	(歴史) 第2節日本の原始	◆日本列島での農耕の広まり、東アジア	◆日本における国家の形成、律令国家の確	◆東アジアの文明の影響を受けながら日本で	ワークシート

	時代 第3節日本の古代 国家の形成 第4節日本の古代 国家の展開	アの文明の影響を受けながら日本に国家が形成されたことを理解できる。 ◆大陸の文化や制度を取り入れながら国家のしくみが整えられ、天皇や貴族の政治が展開したことと、仏教の伝来とその国際的な影響を受けた文化が栄え、後に仮名文字などの文化の国風化が進展したことを理解できる。 ◆学習したことを活用して「古代の日本」を大観して、その特色を表現する。	立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素を持った文化と文化の国風化について、資料を集め適切に読み取っている。【技能】 ◆日常生活の中から日本の伝統文化を探し、暮らしにどのような影響を与えているか考える。【思考・判断・表現】	国家が形成され、天皇や貴族の政治が進展したことを理解している。【知識・理解】 ◆東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されたこと、天皇や貴族の政治が進展したこと、国際的な要素をもった文化と文化の国風化などの古代の日本に関する歴史的事象に対する関心を高め、古代までの日本の文化遺産を尊重しようとしている。 【関心・意欲・態度】	発表 ノート点検 定期テスト 小テスト
7	(地理) ●世界のさまざまな地域 第2章世界各地の人々の生活と環境	●地域で異なる自然環境の違いを写真や雨温図・統計資料からとらえさせる。 ●人々の生活と環境の関わりや、様々な条件の下で多様な生活を営んでいることを理解させるとともに、異なる文化を尊重する態度を身につけさせる。	●同じ地域における過去と現在の生活の比較から、その変容がどのような条件によるものか考察し、論述する。【思考・判断・表現】 ●世界各地の人々の生活の多様性について、自然的条件・社会的条件と関連づけた生活の様子とその変容を自分たちの生活と比較しながら考察し、その結果を表現する。 【思考・判断・表現】	●世界各地の人々の生活や環境が多様で、その暮らしが変化していくのは、自然的条件や社会的条件であることを理解している。【知識・理解】 ●世界的に広がるおもな宗教の分布の様子を主題図から、気候の違いを雨温図から読みとることができる。【技能】	課題テスト 夏季課題 小テスト ワークシート 発表
9 10	第3章世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	●世界の諸地域の自然環境・産業・生活・文化・歴史の背景などの特色を概観し、地図などを活用して、基礎的・基本的知識を身につけさせる。 ●世界の諸地域に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連づけな	●アジア州では経済が成長してきた理由を、ヨーロッパ州では国家間の統合が進められてきた理由を、アフリカ州では他国への依存からの脱却が進められてきた過程を、北アメリカ州ではアメリカ合衆国の産業が発達している理由を、南アメリカ州では環境問題と環境保	●地域の環境条件や他地域との結びつき、人間の営みなどからとらえた世界の諸地域の地域的特色を理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。【知識・理解】 ●収集した資料から世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択し、読みとったり、図表などに	定期テスト 小テスト ワークシート 発表 ノート点検

11		どの地理的技能をはぐくむ。	全の過程を、オセアニア州ではアジアとの結びつきを深めてきた理由を、それぞれ多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【思考・判断・表現】	まとめたりしている。 【技能】 ●世界の諸地域の地域的特色を理解するための適切な課題を設定し、意欲的に追究する。 【関心・意欲・態度】	
	第4章世界のさまざまな地域の調査	●調査活動や調査結果のまとめなどの様々な学習活動を通して、言語能力を高めさせる。 ●調査結果の分析や調査結果の発表の学習活動を通じて、地理情報の適切な処理方法や地理的技能を身につけさせる。	●世界の様々な地位または国の人々の暮らしの地域的特色について、その共通性や異質性など、多面的・多角的に考察し、なぜそのような多様な生活を営んでいるのかを論述や図表などで適切に表現している。 【思考・判断・表現】	●学習した地理的事象や日常の報道などによる話題などの地理的事象に関心を高め、設定した課題を意欲的に追究しようとしている。 【関心・意欲・態度】 ●調査結果の発表においてわかりやすく発表している。【技能】	定期テスト ワークシート 発表 ノート点検
12	(歴史) ◆中世の日本 第1節鎌倉幕府の成立	◆武家政治の特色について考え、武家政権の成立とその支配が全国に広まったという中世の特色を理解させる。 ◆元寇・日明貿易・琉球の国際的な役割について学習することを通じて、日本が東アジア世界と密接な関わりがあったことを認識させる。	◆鎌倉幕府や室町幕府（武家政権）の特徴を貴族の政治や平氏の政治と比べながら説明している。 【思考・判断・表現】 ◆元寇の戦いに参加した御家人の要求や鎌倉幕府の対応を理解した上で、鎌倉幕府がおとろえていった理由を元寇と関連づけて説明する。 【思考・判断・表現】	◆武家政権が成立し、支配が全国に広まったこと、東アジア世界と密接に関わっていること、武士の政治が展開する中で民衆の成長を背景にした社会や文化が生まれその文化が現在に結びつくものが見られることを理解する 【知識・理解】 ◆資料を読み取って、元軍と日本の武士との戦い方の違いや、御家人に恩賞（御恩）を要求したことを説明している。【技能】	課題テスト 小テスト ワークシート 発表 レポート 冬季課題
1	第2節元の襲来と鎌倉幕府のおとろえ				
2	第3節室町幕府と下剋上				
	第4節中世の文化	◆農業などの諸産業が発達したこと、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みが成立したこと、禅宗の文化的影響などから、民衆の成長を背景にした社会や文化が生まれたことを理解する。			
	(地理)	●日本の国土の位	●世界と日本、日本国	●「自然環境」・「人口」	小テスト

3	●日本のさまざまな地域 第1章日本のすがた 第2章世界から見た日本のすがた 1節世界から見た日本の自然環境 2節世界から見た日本の人口	置および領域の変化を多面的・多角的に考察させる。 ●経度の違いが私たちの生活にどのように影響するのか、標準時と時差のしくみをふまえて大観させる。 ●都道府県と県庁所在地の名称と位置を地図上で確実に身につけさせるとともに、地名への関心を高めさせる。 ●世界的な視野から見た日本の地域的特色や日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を「自然環境」・「人口」という観点からとらえる。	内の地域間を比較し関連づけて考察するとともに、日本の地域的特色について簡単な説明文にまとめるなど適切に表現する。 【思考・判断・表現】	の観点かについて、世界的な視野から見た日本の地域的特色や日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を理解するとともに、地域的特色を明らかにする視点や方法を身につけている。 【知識・理解】 ●日本の地域的特色を世界的な視野や日本全体の視野から学習するために、地球儀や各種地図・統計資料などの役割を理解して、適切に収集、選択、活用し、地図や図表などにまとめている。 【技能】	ワークシート レポート 発表
---	--	--	--	--	-------------------------------

第2 学年社会科年間指導計画

(研究課題) 資料を活用し、社会的認識を深める言語活動の追究

(学年目標) 歴史的事象をもとにしながら、時代の特徴を把握することができる

月	単 元	学習目標	言語活動	評価基準B	場面・方法
4	(歴史) 第1編歴史のとらえ方	● 小学校で学習した歴史上の人物や出来事・文化遺産について、ふり返ったりまとめたりする活動を通して、時代の区分や移り変わりに気づくことができる。 ● 年代の表し方や時代区分について基本的な内容を理解することができる。	・ 小学校の学習をふまえ、人物・できごと・文化遺産について、時代を代表すると考えた理由をまとめる。 【思考・判断・表現】	・ 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産など各時代の特徴について考え、その過程や結果を適切に表現している。 【思考・判断・表現】 ・ 時代区分と年代の表し方を理解している。 【技能】	課題テスト 小テスト 発表
5	第2編古代までの日本 ・ 人類の始まりと文明 ・ 日本の原始時代 ・ 日本の古代国家の形成 ・ 古代国家の展開	● 世界の古代文明や宗教のおこり、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解することができる。 ● 仏教の伝来とその影響など国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解することができる。 ● 学習したことを活用して、「古代までの日本」を大観し、その特色を表現することができる。	・ 旧石器時代と縄文時代のくらしの様子を図表などから比較してその特色を読み取り、文明の発達の経過を推測する。【思考・判断・表現】 ・ 律令国家における「税」のしくみを通して、人々のくらしを説明し、全国支配のしくみの変容について考える。 【思考・判断・表現】	・ 世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成され、天皇や貴族の政治が展開したことを理解し、身につけている。 【知識理解】 ・ 天皇や貴族の政治が展開していくなかで、国際的な要素をもった文化から国風文化になっていったことを理解し、身につけている。 【知識理解】	小テスト 発表 ノート点検 課題ワーク
6					
7	第3編中世の日本 ・ 鎌倉幕府の成立 ・ 元の襲来と鎌倉幕府のおとろえ ・ 室町幕府と下剋上 ・ 中世の文化	● 武家政治の特色について考え、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が全国に広まったという中世の特色を理解することができる。 ● 元寇、日明貿易、琉球の国際的な役割の学習を通して、	・ 貴族や寺社の荘園（寄進地系荘園）が増加した理由を考え、中世の土地制度の特徴を説明する。 【思考・判断・表現】 ・ 元寇の戦いに参加した御家人の要求や鎌倉幕府の対応を理解したうえで、鎌倉幕府がおとろえていった	・ 院政期、武士勢力がどのようにして政界に進出し、政権の基盤を確保したか理解している。 【知識理解】 ・ 鎌倉幕府（武家政権）の政治の特徴を、貴族の政治や平氏の政治と比べながら説明している。【思考・判断・表現】	定期テスト 発表 ノート点検 課題ワーク

		日本が東アジア世界と密接なかかわりがあったことを理解することができる。 ●農業などの諸産業が発達したことなどから、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解することができる。 ●学習したことを活用して、「中世の日本」を大観し、その特色を表現することができる。	理由を元寇と関連づけて考える。 【思考・判断・表現】 ・応仁の乱後の社会がどのように変化していったのかを、社会のようすと関連づけて考える。【思考・判断・表現】	・産業の発達にともない、どのようにして民衆は力を強めたのかを、図版や資料から意欲的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度】 ・武士の生活や考え方を反映した鎌倉文化と、禅宗の影響を受けた室町文化の特色や、中世の文化が現代の生活に根づいていることを理解している。 【知識理解】	
9					
10	第4編 近世の日本 ・中世から近世へ ・江戸幕府の成立と東アジア ・百姓・町人と産業の発達 ・幕府政治の改革と農村の変化 ・江戸時代の文化と学問	●織田・豊臣による統一事業を通して、日本の近世社会の基礎がつくられたことを理解することができる。 ●江戸幕府の政治の特色を考えさせ、その支配のもとに生まれた社会が、その後長く続いたことを理解することができる。 ●身近な事例を取り上げてその特色を考えることから、産業や交通が発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されたことに気づくことができる。 ●幕府の政治改革と政治のゆきづまりの原因について考えることができる。 ●学習したことを活用して、「近世の日本」を大観し、その特色を表現することができる。	・大名の配置図から、幕府が多くの領地をもつ外様大名を江戸から遠ざけ、幕府が主要な都市・港・鉱山を支配したことを読み取っている。 【技能】 ・江戸幕府が鎖国を行った理由を、キリスト教の布教による幕府の影響と外国との交際の独占の2点から考える。 【思考・判断・表現】 ・江戸時代の政治改革を比較しながら、その特徴を表にまとめている。【技能】	・新航路の発見は、ヨーロッパと他地域との交易を盛んにし、現代まで続く世界の一体化が始まったことを理解している。 【知識理解】 ・秀吉が太閤検地や刀狩によって兵農分離を進め、近世社会の基礎をつくっていったことを理解している。【知識理解】 ・江戸幕府が行った政策によって、武家政権による全国支配が確立したことを、中世社会と対比させながら説明している。 【知識理解】 ・江戸時代の自治や身分制を学び、それらが幕藩体制維持のため、利用されていたことを理解している。【知識理解】 ・江戸時代の政治改革の背景にある商品経済の広まりによる社会の変動や政治のゆきづまりを理解している。【知識理解】	課題テスト 夏季課題 小テスト 発表

11	第 5 編近代の日本と世界 第 1 章日本の近代化 ・欧米の発展とアジアの植民地化 ・近世から近代へ ・近代国家へのあゆみ	●欧米諸国が市民革命や産業革命によって近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解することができる。 ●新政府の改革の特色を考え、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことや、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ●立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日清・日露戦争などによって日本の国際的地位が向上したことを理解することができる。 ●日本で近代産業が発展し、近代文化が形成された原因や、それによって都市や農村の生活にどのような変化が生じたのかを理解することができる。 ●学習したことを活用して、「日本の近代化」を大観し、その特色を表現することができる。	・欧米諸国の海外への市場拡大の動きを背景に開国要求が行われたことをとらえ、開国した結果、貿易を通じて社会が混乱していったようすを資料をもとに説明する。 【思考・判断・表現】 ・新政府の政策や改革の特色について、資料をもとにとらえ、近代国家の基礎を整えるうえでそれらの政策や改革がなぜ必要であったかを考える。 【思考・判断・表現】 ・日清戦争とその結果について、日本・清・朝鮮・ロシアそれぞれの国の立場に立って説明する。 【思考・判断・表現】	・イギリスで起こった産業革命が欧米諸国のアジア進出を可能にしたことを理解している。 【知識理解】 ・攘夷から倒幕へと展開した過程を幕府側と倒幕側の立場からとらえ、その結果政治体制が大きく変化したことについて理解している 【知識理解】 ・政府がおし進めた地租改正や富国強兵政策などの近代化政策の目的や内容を理解している。 【知識理解】 ・新政府への不満が、国会開設の要求へとつながっていく過程を理解している。 【知識理解】 ・日本がロシアとの戦争に踏み切った理由を、日本にとっての朝鮮半島の重要性和ロシアの動きとを関連させて理解している。 【知識理解】	定期テスト 小テスト 発表 ノート点検 課題ワーク
12	・自由民権運動と国会開設 ・日清・日露の戦争と東アジアの動き ・近代日本の社会と文化				
1					
2	第 2 章二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と戦後の世界 ・大正デモクラシーの時代	●第一次世界大戦にかかわる世界の動きと日本の関連や、大戦後の国際平和に向けてどのような努力がなされたのかを考えることができる。 ●大正デモクラシーの時期の政党政治の発達、民主主義思想の普及、社会運動の展開について調べることができる。	・第一次世界大戦に参加した日本の意図を、二十一か条の要求を通して考えている。 【思考・判断・表現】 ・写真や資料から、民主主義の高まり、および民族運動が求める要求や目的を適切に読み取ろうとしている。 【技能】	・第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましとこの時期の日本の国民の政治的自覚の高まりを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 【思考・判断・表現】 ・写真や資料から都市化の進展と文化の大衆化が進んだことに興味をもっている。 【関心・意欲・態度】	定期テスト 小テスト 発表 ノート点検 課題ワーク
3					

第3学年社会科年間指導計画

(研究課題) 資料を活用し、社会的認識を深める言語活動の追究

(学年目標) 現代の社会事象に対する関心を高め、さまざまな資料をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断・表現する能力と・態度を育てる。

月	単 元	学習目標	言語活動	評価基準B	場面・方法
4	(歴史) ●二つの世界大戦と日本 ・世界情勢と大正デモクラシー ・日本がアジアで行った戦争	●二つの世界大戦と背景とその影響、我が国の社会の変化と政治・外交の動きを通し、国際強調と世界平和の大切さを理解させる。	・戦場となった沖縄で、多くの住民が犠牲になったさまざまな理由について理解し、沖縄平和学習成果を文章に表現する。【思考・判断・表現】	・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの我が国の政治・外交の動きなどについての関心を高め、意欲的に追究し、近代の特色をとらえようとし、国際協調の大切さを考えようとしている。 【関心・意欲・態度】	小テスト ワークシート 発表
5	●現代の日本と世界 ・戦後日本の成長と国際関係 ・これからの日本と世界	●戦後日本の民主化と再建の過程、高度経済成長や冷戦による国際社会の動きなどを通して、国民生活の向上や国際社会での我が国の役割を理解させる。	・戦後の改革について理解し、それによる社会の変化について考察する。 【思考・判断・表現】 ・高度経済成長について、資料をもとに、生活がどのように変化したかを考える。 【思考・判断・表現】	・新しい日本の建設についての関心を高め、意欲的に追究して現代の特色をとらえようとする。【関心・意欲・態度】 ・戦後の混乱や生活のようす、国民の努力に関する具体的な事例を調べたりまとめたりする活動を通して、国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力したことに気づき、現代の特色をとらえようとしている。【知識理解】	小テスト ワークシート 発表
6	(公民) 第1章私たちの生活と現代社会	●自分たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで、公民的分野への関心を高めるとともに、政治や経済、国際社会の学習の基礎的な見方や考え方を養い、これ以降の学習につなげる。	・様々な写真や統計資料などから、現代日本の特色や社会の変容などを適切に読み取っている。【技能】 ・日常生活の中から日本の伝統文化を探し、暮らしにどのような影響を与えているか考える。【思考・判断・表現】	・現代日本に見られる特色や現代社会における文化の意義や影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【思考・判断・表現】 ・社会生活における物事の決定の仕方やきまりの意義について、身近な生活と関連づけたり、現代社会をとらえる見方や考え方に基いてまとめたり、発表したりしている。 【思考・判断・表現】	ワークシート 発表 ノート点検

7	第2章人間の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障	●人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、追究させるとともに、法の意義を理解させる。 ●日本国憲法の基本原理を、社会の形成者としての立場から理解させ、個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気付かせる。	・日本国憲法に示された平和主義について、今日の日本における課題をもとに考察する。【思考・判断・表現】 ・具体的な事例から、「公共の福祉」による自由権の制約は、どの程度まで許されるのかを考え、表現する。【思考・判断・表現】	・人権思想の展開と日本国憲法の成立について、歴史的分野での学習内容を踏まえながら、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【思考・判断・表現】 ・国民主権と関連づけて、天皇の地位について理解する。 【知識理解】	課題テスト 夏季課題 小テスト ワークシート 発表
9					
	第3章現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治のしくみ ・地方の政治と自治	●議会制民主主義や住民自治の意義などについて考えさせる。また、国民の政治参加によって、よりよい民主政治が運営されていくことに気付かせ、良識ある主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。 ●国会を中心とする日本の民主政治のしくみや地方自治の基本的な考え方について理解させる。同時に、法の意義や法に基づく公正な裁判の保障について理解させる。	・現在の日本の選挙制度についてメリット・デメリットを理解し、効率・公正の観点からどのような選挙制度が望ましいか考える。 【思考・判断・表現】 ・裁判員制度についてその意義を考えるとともに、課題について考察する。 【思考・判断・表現】	・議院内閣制・政党政治など、今日の日本の政治システムの基本を理解できる。【知識理解】 ・国や地方公共団体の政治に関する新聞記事・法令・判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題などについて読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。【技能】	定期テスト 小テスト ワークシート 発表 ノート点検
10					
11	第4章わたしたちのくらしと経済 ・くらしと経済 ・生産と労働 ・価格の動きと金融	●経済活動が、人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを、身近な消費生活を通して理解させる。 ●国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている役割に気付かせ、	・将来の家計を予測することで、所得（収入）と消費（支出）について家計を通して考える。【思考・判断・表現】 ・公債の発行についてその意義と問題点について話し合ってみる。【思考・判断・表現】 ・20年後の暮らしを予	・消費者問題や労働、財政などについて、自分の現在及び将来の生活と密接にかかわっていることに気づき、調査活動や討論などに積極的に取り組んでいる。【関心・意欲・態度】 ・家計・企業・国の流れを概観し、税金・財政・民間の設備投資・賃金などと関連させ	定期テスト 小テスト ワークシート 発表 ノート点検
12	・国民生活と福祉				

		財政の役割について考えさせる。	測しながら、経済的な課題とその解決策を考える。 【思考・判断・表現】	て、市場経済のしくみの基本的知識を理解する。【知識理解】	
1	第5章地球社会とわたしたち ・国際社会と地球平和	●国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の拡大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させる。 ●人類の福祉の増大を図り、よりよい社会を築いていくために解決すべき問題としてどのようなものがあるか、一人ひとりに考えさせる。	・国際問題の内容を分類整理し、その背景にある原因を考える。 【思考・判断・表現】 ・国際紛争と日本国憲法の原則から行える国際貢献について自分の考えを発表する。 【思考・判断・表現】	・様々な統計資料や写真、新聞記事などから、国際社会の抱える課題を見いだし、世界平和の実現と人類の福祉の増大について様々な視点から考察するとともに、持続可能な社会の在り方について、様々な観点や立場から判断している。 【思考・判断・表現】	課題テスト 小テスト ワークシート 発表
2	・国際問題とわたしたち				
3					
	終章よりよい社会を目指して	●持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし、それを意欲的に探究させながら、自分の考えをレポートとしてまとめさせる。	・課題を、地理的分野と歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現する。【思考・判断・表現】	・課題の解決策を、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察している。【思考・判断・表現】 ・課題の探究を深めるにあたって、様々な資料を適切に収集、選択、活用している。【技能】	ワークシート レポート 発表

第1学年 数学科 年間指導計画

(研究課題) 数学的な表現力を高めるための課題設定の工夫および指導方法の工夫 (学年目標) 数学的な表現を用いて、自分の言葉で説明できる課題設定の工夫

章	節	項	学習目標	言語活動	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	評価
1章 正の数・負の数	1 正の数・負の数	1 0より小さい数	身のまわりの数を調べることなどから数の範囲を拡張し、正の数・負の数の意味を理解し、それを数直線上に表したり、数直線上に表された数を読みとったりすることができる。	身のまわりで使われるいろいろな数の中から、「－」のついた数を見だし、その意味について関心を高める。	○身のまわりの数から、0より小さい数があることに関心を持っている。	○0より小さい数まで数の範囲を拡張することができる。	○数直線上に表された正の数・負の数の読みとったり、正の数・負の数を数直線上に表したりすることができる。	○マイナス、プラス、正の数、負の数、自然数などの意味を理解している。	発表 授業ノート
		2 正の数・負の数で量を表すこと	互いに反対の性質をもつと考えられる量やある基準の量からの増減や過不足を、正の数・負の数を使って表すことができる。		○互いに反対の性質をもつ量や基準を決めたときの量を、正の数・負の数を使って表そうとしている。	○反対の性質をもつ量や基準を決めたときの量を、正の数・負の数を使って考えることができる。	○正の数・負の数を使って、反対の性質をもつ量や基準を決めたときの量を表すことができる。	○反対の性質をもつ量や基準を決めたときの量を表す数として、正の数・負の数が使われていることを理解している。	ト小テスト 発表 授業ノート
		3 絶対値と数の大小	絶対値の意味を理解し、不等号を使って2数の大小関係を表し、数直線を用いてある数より大きい数、小さい数を求めることができる。		○2数の大小関係を、不等号を使って表し、数直線を用いてある数より大きい数、小さい数を求めようとしている。	○数の大小関係を符号や絶対値に着目してまとめることができ、数直線を用いて、ある数より大きい数、小さい数の求め方を考えることができる。	○ある数の絶対値を求めたり、2数の大小関係を不等号を使って表したり、数直線を用いてある数より大きい数、小さい数を求めたりすることができる。	○絶対値の意味を理解し、ある数より大きい数、小さい数の求め方を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
	2 正の数・負の数の計算	1 正の数・負の数の加法、減法	正の数・負の数の加法と減法の意味を理解し、その計算ができる。	2数の和の符号と絶対値について、気づいたことをまとめ、理解を深める。	○正の数・負の数の加法、減法に取り組もうとしている。	○数直線をもとに加法の計算の仕方を考えたり、加法の計算に帰着させて、減法の計算の仕方を考えたりすることができる。	○簡単な正の数・負の数の加法、減法の計算ができる。	○正の数・負の数の加法、減法の計算や加法の交換法則、結合法則について理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		2 加法と減法の混じった計算	計算法則を使って、加法と減法の混じった式を手際よく計算できる。		○加法と減法の混じった式が加法だけの式に直せることに関心を持ち、計算法則を用いて計算しようとしている。	○減法を加法に直したり、計算法則を用いたりして、加法と減法の混じった式を手際よく計算する方法を考えることができる。	○加法と減法の混じった式を計算することができる。	○項、正の項、負の項の意味を理解し、加法と減法の混じった式を手際よく計算する方法を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		3 正の数・負の数の乗法、除法	正の数・負の数のかけ算とわり算の意味を理解し、その計算ができる。	負の数に負の数をかける計算を通して、今までの既習を用いて、自分のことばでまとめ説明する。	○正の数・負の数のかけ算、わり算に取り組もうとしている。	○正の数・負の数の乗法、除法の計算の仕方を考えることができる。	○簡単な正の数・負の数の乗法、除法の計算ができる。	○正の数・負の数の乗法、除法の計算について理解している。	活動観察 小テスト 発表 授業ノート

		4 乗法と除法の混じった計算	逆数を使うと除法を乗法に直せることや、乗法の交換法則、結合法則を使って、乗除の混じった計算ができる。	解答の誤りの部分を指摘し、説明することを通して解法への理解を深める。	○わる数の逆数をかけて除法を乗法になおすことや、交換・結合法則を使った乗法、除法の計算に取り組もうとしている。	○乗法と除法を統一的にみることが出来る。	○逆数や乗法の交換・結合法則を使って、乗除の混じった式の計算ができる	○逆数の意味や乗法の交換・結合法則を使って手際よく計算する方法を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		5 いろいろな計算	指数をふくむ計算や四則をふくむ式の計算ができる。	複数の解法を説明することを通して、状況に応じて最適な解法を選択する判断力を身につける。	○指数をふくむ計算や、四則をふくむ式の計算に取り組もうとしている	○四則をふくむ計算の順序を考えることができる。	○指数をふくむ式や四則をふくむ式の計算ができる。	○指数の意味や四則をふくむ式の計算の順序、分配法則を理解している。	活動観察 小テスト 発表 授業ノート
		6 数の世界のひろがり と四則計算	負の数を加えて新しく数の集合と定義し、四則計算の拡張をすることができる。		○数の範囲の拡張について考えようとしている。	○四則計算の可能性と数の範囲の関係について考えることができる。	○数の拡張こともなう四則計算の可能性を判断することができる。	○数の範囲による計算の可能性を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
2章 文字の式	1 文字を使った式	1 数量を文字で表すこと	画用紙の枚数とマグネットの個数などの数量の関係を、文字を使って表すことを通して、文字式が一般的に表されるよさを理解し、様々な数量を文字を使って式に表すことができる。	必要なマグネットの個数を考えることを通して、数量を一般的に表すことの必要性に気づく。	○画用紙の枚数とマグネットの個数の関係を文字式に表そうとしている。	○文字を使って、いろいろな数量を式に表すことを考えることができる。	○個数や代金などの数量を、文字を使って表すことができる。	○文字を用いることの必要性や意味を理解している。	発表 授業ノート
		2 文字式の表し方	文字式を書くときの約束に従って、いろいろな数量を文字式に表したり、文字式から数量を読み取ったりすることができる。		○文字式を書くときの約束に従って、数量を文字式で表したり、文字式から数量を読み取ったりしようとしている。	○文字式がどのような数量を表しているのかを考えることができる。	○文字式を書くときの約束に従って、数量を文字を使って表すことができる。	○文字式を書くときの約束を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		3 式の値	文字式の文字に数を代入し、式の値を求めることを通して、文字式の理解を一層深めることができる。		○文字に数を代入して、式の値を求めようとしている。	○文字に数を代入して求めた式の値から、文字式が表す数量の意味をとらえることができる。	○文字に数を代入して、式の値を求めることができる。	○代入する、文字の値、式の値の意味を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
	2 文字式の計算	1 文字式の加法、減	一次式の加法や減法の意味を理解し、加法や減法の計算ができる。	マグネットの個数を式に表す場面から、考え方に	○一次式の加法や減法の計算に取り組もうとしている。	○一次式の加法や減法の計算の仕方を考えることができる。	○一次式の加減の計算ができる。	○項、係数、1次の項、一次式の意味と一次式の加減	小テスト 発表

		法		よっていろいろな式の表し方があることを見いだす。				の計算の仕方を理解している。	授業ノート
		2 文字式と数の乗法、除法	一次式と数の乗法、除法の意味を理解し、乗法、除法の計算やかつこのついた式の計算ができる。		○一次式と数の乗法や除法の計算に取り組もうとしている。	○一次式と数の乗法、除法の計算の仕方を考えることができる。	○一次式と数の乗除の計算やかつこのある計算などができる。	○一次式と数の乗除の計算のしかたを理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		3 関係を表す式	等式と不等式の意味を理解し、数量の関係を等式や不等式に表すことができ、式が表す数量の関係を読み取ることができる。	単元の学習を振り返り、自分の考えをまとめることにより、文字を使った式の必要性和意味の理解を深める。	○数量の関係を等式や不等式に表そうとしている。	○具体的な場面で数量の関係を等式や不等式に表すことや式が表す数量の関係を読みとることができる。	○数量の関係を、等式や不等式に表すことができる。	○等式、不等式、左辺、右辺、両辺の意味を理解している。	活動観察 小テスト 発表 授業ノート
3章 方程式	1 方程式	1 方程式とその解	貯金箱の問題から、方程式とその解の意味、方程式を解くことの意味を理解する。また、天秤の図などから、等式の性質を理解し、等式の性質を使って、簡単な方程式を解くことができる。	てんびんの操作を通して等式の性質の理解を深め、それを用いて方程式を解くことができるよさを知る。	○硬貨と貯金箱の重さの関係から、硬貨の枚数を求めようとしたり、等式の性質を使って、簡単な方程式を解こうとしている。	○天秤の図をもとに、等式の性質を考えたり、等式の性質をどのように使えば、方程式が解けるかを考えたりすることができる。	○ある数が方程式の解であるかどうかを確かめることができ、等式の性質を使って簡単な方程式を解くことができる。	○方程式、方程式の解、方程式を解くことの意味と等式の性質を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		2 方程式の解き方	移項の意味を理解し、移項することによって方程式を解くことができる。また、方程式を解く手順をまとめ、いろいろな方程式を解くことができる。	話し合いを通して、方程式に応じて手際よく解くための工夫があることへの理解を深める。	○いろいろな方程式を解こうとしている。	○移項が等式の性質をもとにしているという見方ができ、方程式を解く手順を考えることができる。	○移項して方程式を解くことができ、方程式を解く手順に従って、いろいろな方程式を解くことができる。	○移項の意味、方程式を解く手順について理解している。	活動観察 小テスト 発表 授業ノート
		3 比と比例式	比の値、比例式の意味と比例式の性質を理解し、簡単な比例式を解くことができる。		○簡単な比例式を解こうとしている。	○比の値が等しいことを使って、比例式を解く方法を考えることができる。	○簡単な比例式を解くことができる。	○比の値、比例式、比例式を解くこと、比例式の性質を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
	2 方程式の利用	1 方程式の利用	方程式や比例式を問題解決に利用することができ、方程式を使って問題を解く手順をまとめることができる。	問題づくりを通して、方程式や解の意味、解の吟味の必要性などへの理解を深める。	○方程式や比例式を利用して、問題を解決しようとしている。	○方程式や比例式を利用して問題を解決し、その過程を振り返って考えることができる。	○問題の中の数量の関係を、方程式や比例式に表し、それらを利用して簡単な問題を解決することができる。	○方程式を使って問題を解く手順と比例式を使って問題を解決する方法を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
4章 変化	1 関数	1関数	いろいろな事象の中から、ともなって変わる数量を見つけたり、表やグラフ	具体的な事象の中にある2つの数量の関係に関心	○いろいろな事象の中から、ともなって変わる数量を見	○事象の中から、ともなって変わる数量を見いだすことがで	○ともなって変わる数量の関係を表やグラフに表すことができ、	○関数の意味と変域の表し方について理解している。	小テスト 発表

と対応			で変化のようすを調べたりすることができ、関数の意味と変域について理解することができる。	をもち、身のまわりからともなって変わる2つの数量を見つける。	つけようとして、表やグラフを使って変化のようすを調べたりしている。	きる。	変数xの変域を不等号を使って表すことができる。		授業ノート
	2 比例	1 比例の式	線香の燃え方の実験などから、比例の関係を見いだして文字を用いて式に表したり、その変化や対応のようすを表を使って調べたりすることができる。		○線香を燃やす実験で火をつけてからの時間と燃えた長さの関係から比例の関係を見つけようとしている。	○2つの数量関係に着目し、変化や対応から比例の関係をみいだすことができる。	○比例の関係を式に表すことができる。	○変数、定数、比例、比例定数の意味を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		2 座標	平面上の位置を表すために座標を負の数まで拡張し、座標平面に表された点の座標を読み取ったり、点を座標平面に表したりすることができる。		○座標平面に表された点の座標を読み取ったり、点を座標平面に表したりしようとしている。	○平面上の点の位置を表すために、負の数まで拡張した座標を考えることができる。	○座標平面に表された点の位置を読み取ったり、与えられた点を座標平面に表したりすることができる。	○x軸、y軸、座標軸、原点、座標、x座標、y座標の意味を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		3 比例のグラフ	比例の関係 $y=2x$ や $y=-2x$ などのグラフを考えることを通して、比例のグラフをかくことができ、比例のグラフの特徴についてまとめることができる。	比例の関係をグラフから読み取り、その特徴について説明する。	○xの変域を負の数にまで広げた比例のグラフをかこうとして、かいたグラフをもとにして、その特徴を調べたりしようとしている。	○比例のグラフの特徴を見いだすことができる。	○比例のグラフをかいたり、グラフから比例の式を求めたりすることができる。	○比例のグラフのかき方やグラフの特徴を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
	3 反比例	1 反比例の式	面積が 6cm^2 の長方形をいろいろつくることなどから、反比例の関係をみいだして式に表したり、その変化や対応のようすを表を使って調べたりすることができる。	具体的な事象の中にある2つの数量の関係から、反比例の関係をみいだす。	○面積一定の長方形の縦と横の長さの関係から、反比例の関係をみつけようとしている。	○2つの数量関係に着目し、変化や対応から反比例の関係をみいだすことができる。	○反比例の関係を式に表すことができる。	○反比例、比例定数の意味を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		2 反比例のグラフ	反比例 $y = \frac{6}{x}$, $y = -\frac{6}{x}$ のグラフを考えることを通して、反比例のグラフをかくことができ、反比例のグラフについてまとめることができる。	反比例の関係をグラフから読み取り、その特徴について説明する。	○反比例のグラフをかこうとして、その特徴を調べたりしようとしている。	○反比例のグラフの特徴を見いだすことができる。	○反比例のグラフをかいたり、グラフから反比例の式を求めたりすることができる	○反比例のグラフの特徴や双曲線について理解している。	小テスト 発表 授業ノート
	4 比例、反比例の利用	1 比例、反比例の利用	比例や反比例の関係を利用して、身のまわりの問題を解決することができる。	身のまわりの問題解決に比例や反比例の見方や考え方が活用できることに気づく。	○プリントの枚数やモビールの性質ならべなど身のまわりのことがらを比例や反比例の関係を利用して解決し	○身のまわりの事象を、比例、反比例の見方や考え方を通して考え、問題の解決に利用することができる。	○身のまわりの事象を比例、反比例の考え方をを用いて表現したり、処理したりすることができる。	○比例、反比例の関係が利用できる場面を理解している。	小テスト 発表 授業ノート

					ようとしている。				
5章 平面 図形	1 直線図 形と移動	1 直線と 角	友だちの家を見つける問題を通して、 小学校で学習してきた直線や角につい て、用語・記号を使ってまとめ、平面 図形の基礎となる直線と角についての 理解を一層深める。	操作活動を通して、既習 の内容をもとに、垂直、 直角を見いだす。	○友だちの家を見つける問題 を解決しようとし、そこに 現れる図形の性質に関する 垂直や平行、角などの用語 に関心を持つ。	○身のまわりにある図形を、直 線や角多角形などとみること ができる。	○垂直、平行な2直線や、辺の長 さや角の大きさが決まっている 三角形をかくことができる。	○線分、距離、垂直、垂線、 平行などの用語・記号を理 解している。	活動観察 小テスト 発表 授業ノ ート
		2 図形の 移動	平行移動、回転移動、対称移動の意味 を理解し、操作などを通して、それら の基本的な性質を見いだすことがで きる。	身のまわりから、図形の 移動でできているとみら れるものを見つけ、話し 合ったり、レポートにま とめたりすることを通し て理解を深める。	○平行移動、回転移動、対称 移動に関心を持ち、ある図 形を移動させた図をかこう としている。	○平行移動、回転移動、対称移 動の基本的な性質を、操作な どを通して見いだすことがで きる。	○ある図形を、平行移動、回転移 動対称移動した図をかくことが できる。	○平行移動、回転移動、対称 移動の意味とそれらの基本 的な性質を理解している。	活動観察 小テスト 発表 授業ノ ート
	2 基本の 作図	1 基本の 作図	3つの基本作図である垂直二等分線、 角の二等分線、垂線の作図の手順を理 解し、基本の作図ができる。	操作活動をとまなう問題 を通して、図形の性質が 実際の問題を解決するの に役立つことを知る。	○定規とコンパスだけを使っ て、垂直二等分線、角の二 等分線、垂線を作図しよう としている。	○ひし形の対角線の性質が垂直 二等分線、角の二等分線、垂 線の作図の根拠となっている ことに気づく。	○定規とコンパスだけを使って、 垂直二等分線、角の二等分線、 垂線の作図ができる。	○垂直二等分線、角の二等分 線、垂線の作図の手順を理 解している。	小テスト 発表 授業ノ ート
	3 円とお うぎ形	1 円とお うぎ形の性 質	弧や弦などの円に関する用語や円の接 線、おうぎ形やおうぎ形の中心角と弧 の長さ・面積との関係について理解す る。	当番表をつくる場面から 、円の等分には中心角が 関係していることを見い だし、中心角と弧の長さ、 面積の関係についての関 心を高める。	○円と直線の交わるようすや 、おうぎ形の中心角と弧の 長さ・面積との関係を明ら かにしようとしている。	○円が線対称な図形であること をもとにし、円の接線の性質 を考えたり、1つの円で中心 角の等しい2つのおうぎ形は 合同であることから、中心角 と弧の長さ・面積との関係を 考えたりすることができる。	○円の接線や、半径と中心角がわ かっているおうぎ形をかくこと ができる。	○円とおうぎ形についての 用語・記号や円の接線の性 質、おうぎ形の中心角と弧 の長さ・面積の関係などを 理解している。	小テスト 発表 授業ノ ート
		2 円とお うぎ形の計 量	小学校で学習した円やおうぎ形につい て、その周の長さと面積を文字を使っ て公式に表すことができ、その公式を 用いて周の長さや面積を求めることが できる。		○おうぎ形の弧の長さや面積 の公式を導こうとしたり、 弧の長さや面積を求めたり しようとしている。	○おうぎ形の弧の長さ、面積の 公式を円全体との比較から考 えることができる。	○おうぎ形の弧の長さや面積、中 心角を求めることができる。	○ π の意味や、円、おうぎ形 の周の長さと面積の公式 の意味を理解している。	小テスト 発表 授業ノ ート
6章 空間 図形	1 立体と 空間図形	1 いろい ろな立体	身近にあるいろいろな立体を観察する ことを通して、基本的な立体として、 角柱、円柱、角錐、円錐に分類整理し、 展開図や見取図を観察することなどか ら基本的な立体についての理解を深め る。	身のまわりのいろいろな 立体を観察し分類するこ とを通して、その立体の 特徴について考え、説明 する。	○身近な立体を観察・操作・ 分類整理しようとしてい る。	○立体を見取図や展開図で表し 、それをもとにしていろい ろな立体の特徴を考えることが できる。	○立体の見取図や展開図をかくこ とができる。	○角柱、円柱、角錐、円錐な どの用語や立体の見取図、 展開図について理解して いる。	小テスト 発表 授業ノ ート

			る。						
		2 空間内の平面と直線	鉛筆や下敷きなどを実際に操作したり、立体模型を観察したりすることを通して、空間における平面や直線の位置関係についての理解を深める。	三脚を使ってカメラを支えると安定するが、4本だとぐらつく理由を論理的に説明する。	○空間における平面や直線の位置関係を明らかにしようとしている。	○空間における平面や直線の位置関係を、平面上の2直線の位置関係や立方体の面や辺の位置関係をもとにして考えることができる。	○立体の辺や面について、その位置関係を指摘することができる。	○距離の意味や、空間における平面や直線の位置関係を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		3 立体のいろいろな見方	平面図形や線分が動いてできる立体とその性質について理解するとともに、立体の投影図を理解し、立体についての見方や性質を深める。	立方体の対角線の長さなどの空間図形の性質を予想し、投影図や展開図などを用いて調べ、説明する。	○身近な立体がどのように構成されているとみることができるか観察し、調べようとしたり、立体を投影図に表したりしようとしている。	○立体がどのように線分や平面図形を動かしてできる立体とみることができるか考えることができ、投影図を立体の性質を表す1つの方法としてみることができる。	○平面図形や線分を、ある条件のもとで動かしたときにできる立体の名称を指摘でき、立体を投影図に表したり、投影図で表された立体の名称を答えることができる。	○回転体や回転の軸、母線などの用語について理解し、投影図について理解している。	小テスト 発表 授業ノート
	2 立体の表面積と体積	1 立体の表面積	展開図をもとにして、柱体や錐体の表面積を求めることができる。	立体の表面積をどのようにすれば求めやすいか考える。	○立体の表面積を求めようとしている。	○立体の表面積を、展開図を用いて考えることができる。	○立体の表面積を求めることができる。	○表面積、底面積、側面積の用語と柱体、錐体の表面積の求め方について理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		2 立体の体積	面を平行に動かす見方や水を使った実験などから導かれる柱体や錐体の体積の求め方を理解し、実際に体積を求めることができる。	錐体の体積の求め方を、実験する活動を通して考える。	○立体の体積を求めようとしている。	○柱体の体積と比較して、錐体の体積の求め方を考えることができる。	○立体の体積を求めることができる。	○角柱、円柱、角錐、円錐の体積の求め方を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
		3 球の計量	実験などから導かれる球の表面積と体積の求め方を理解し、実際に球の表面積と体積を求めることができる。	球の表面積の実験の結果を、公式をもとにして説明する。	○球の表面積や体積の求め方を、模型を用いたり、実験などをしたりして、調べようとしている。	○実験結果をもとにして、球の体積の求め方を考えることができる。	○球の表面積と体積を求めることができる。	○球の表面積、体積の求め方を理解している。	小テスト 発表 授業ノート
7章 資料の活用	1 資料の傾向をとらえ説明しよう	1 度数分布	紙コプターの滞空時間と羽の長さの関係を考えることを通して、度数分布表やヒストグラム、相対度数などの必要性和意味を理解し、それらを用いて資料の傾向をとらえ、説明することができる。	紙コプターの羽の長さ滞空時間について、その傾向をとらえ、話し合ったり、まとめたりする活動を通して、資料の活用について理解を深める。	○度数分布表やヒストグラム、相対度数などに関心を持ち、資料の傾向を読み取り、説明しようとしている。	○問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料の傾向を読み取り、説明することができる。	○問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料を整理することができる。	○度数分布表やヒストグラム、相対度数などの必要性和意味を理解している。	活動観察 発表 授業ノート

		2 代表値と散らばり	代表値などの必要性和意味を理解し、代表値などを用いて資料の傾向をとらえ説明することができる。	資料の傾向を、どの代表値を用いてとらえたか、根拠も明らかにして説明する。	○代表値などに関心を持ち、それらを用いて資料の傾向をとらえ説明しようとしている。	○問題を解決するため、代表値などを 用いて、資料の傾向をとらえ説明することができる。	○問題を解決するため、代表値などを求めることができる。	○代表値などの必要性和意味を理解している。	発表 授業ノート
		3 近似値	有効数字や近似値、誤差の意味を理解するとともに、ある数値を有効数字を使って表すことができる。		○有効数字や近似値、誤差に関心を持ち、どのような場面で用いられているかを調べようとしている。	○有効数字を使って表すと、どこまでが意味のある数字かが分かるというよさを考えることができる。	○ある数値を有効数字を使って表すことができる。	○有効数字や近似値、誤差の意味を理解している。	発表 授業ノート
		4 調べたことをまとめ、発表しよう	身のまわりの課題などを取り上げ、それを解決するために必要な資料を収集・整理し、資料の傾向をとらえ説明することができる。	説明し合う活動を通して、友だちからの意見を聞き、課題設定から資料の傾向をとらえ説明するまでの一連の過程を振り返ったり、新たな課題を見いだしたりする。	○身のまわりから課題を見つけ、それを解決するために必要な資料を収集・整理して、資料の傾向をとらえようとしている。	○資料を整理して傾向をとらえ、ヒストグラムや代表値などを用いて、説明することができる。	○課題を解決するために、ヒストグラムや代表値などを用いて、整理することができる。	○課題を解決するために、ヒストグラムや代表値、相対度数などをどのように用いればよいかを理解している。	活動観察 発表 授業ノート

第2学年 数学科 年間指導計画

(研究課題) 数学的な表現力を高めるための課題設定の工夫および指導方法の工夫 (学年目標) 数学的な表現を用いて、根拠を明らかに筋道立てて説明できる課題設定の工夫

章	節	項	学習目標	言語活動	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	評価
1 章 式 の 計 算	1 式の計算	1 式の加法、減法	世界一周道路の課題を考えることを通して、式の計算の有用性を感じ、文字式に関するいろいろな用語の意味を理解する。また、簡単な多項式の加法、減法の計算ができる。		○世界一周道路の課題や、同類項をまとめる計算、多項式の加法、減法の計算に取り組もうとしている。	○多項式の加法、減法について、1年で学習した計算をもとにして、その計算のしかたを考えることができる。	○簡単な多項式の加法、減法の計算ができる。	○単項式、多項式、同類項などの用語の意味や多項式の加法、減法の計算のしかたを理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
		2 いろいろな多項式の計算	多項式と数の乗法、除法について理解し、乗法、除法の計算をしたり、式を簡単にしてから代入して、式の値を求めたりすることができる。		○多項式と数の乗法、除法の計算に取り組もうとしている。	○多項式と数の計算について、1年で学習した計算をもとにして、その計算のしかたを考えることができる。	○多項式と数の乗法、除法の計算や式を簡単にしてから式の値を求めることができる。	○多項式と数との乗法、除法の計算のしかたを理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
		3 単項式の乗法、除法	単項式どうしの乗法、除法について理解し、乗法、除法の計算や乗除の混じった計算ができる。	長方形の面積を2通りの式で表し、比較することを通して、単項式の積のきまりを見いだし、説明する。	○単項式どうしの乗法、除法の計算に取り組もうとしている。	○単項式どうしの乗法、除法について、1年で学習した計算をもとにして、その計算のしかたを考えることができる。	○単項式どうしの乗法、除法の計算や乗除の混じった計算ができる。	○単項式どうしの乗法、除法の計算のしかたを理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
	2 文字式の利用	1 文字式の利用	文字式を利用して、数量の関係や数の性質を説明したり、目的にあうように等式を変形したりすることができる。	2けたの数で、もとの数と十の位と一の位を入れかえた数の和や差についてのきまりを、話しあいを通して見いだし、文字式を利用して説明する	○数量の関係や数の性質を、文字式を使って明らかにしていこうとしている。	○数量の関係や数の性質を文字式を使って考え、説明することができる。	○数量の関係を文字式に表したり、目的に応じて等式を変形したりすることができる。	○数量の関係や数の性質を文字式で表し、説明することの必要性や意義を理解している	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
2 章 連 立 方 程 式	1 連立方程式	1 連立方程式とその解	アジの数あての課題を考えることを通して、2つの文字を含む等式から文字の値が求められることを知り、二元一次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。		○アジの数あての課題で、アジの数の関係等を等式を使って表そうとし、アジの数を求めようとしている。	○アジの数あての課題で、連立方程式を考え、その解の意味を考えることができる。	○値の組を連立方程式に代入して、連立方程式の解であるかどうかを確かめることができる。	○二元一次方程式とその解、連立方程式とその解の意味を理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
		2 連立方程式の解き方	連立方程式の解き方について理解し、加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。	連立方程式をどの方法で解くか、その見通しのもち方やそれぞれの解法の高さを話し合う。	○加減法や代入法によって、連立方程式を解こうとしている。	○加減法や代入法の共通点や相違点を考えることができる。	○加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。	○消去する、加減法、代入法の解き方を理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
	2 連立方程式の利用	1 連立方程式の利用	連立方程式を利用して、問題を解決することができる。		○連立方程式を利用して、問題を解決しようとしている	○連立方程式を利用して問題を解決し、その過程を振り返る	○問題の中の数量の関係を連立方程式に表し、それを利用して簡	○連立方程式を利用して問題を解く手順を理解して	ワークシート ・自己評価・

					る。	て考えることができる。	単な問題を解決することができる。	いる。	ペーパーテスト・活動観察
3 章 一 次 関 数	1 一次関数とグラフ	1 一次関数	水そうに水を入れるときの時間と水面の高さの関係を調べることなどを通して、一次関数の意味を理解し、身のまわりの事象の中から一次関数を見いだすことができる。	一次関数の表、式、グラフの相互の関連をまとめ、説明する。	○水そうに水を入れる事象の中から、一次関数を見つけようとし、表現しようとしている。	○1年で学習した比例の関係は、一次関数の特別な場合であるとみることができる。	○一次関数の関係を式に表すことができる。	○一次関数の意味を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 一次関数の値の変化	一次関数の値の変化を考察し、変化の割合について理解することができる。		○一次関数の変化の割合を求めようとしている。	○一次関数 $y=ax+b$ で、変化の割合と a の関係について考えることができる。	一次関数の変化の割合を求めることができる。	○一次関数の変化の割合について理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		3 一次関数のグラフ	一次関数のグラフの特徴を理解し、一次関数のグラフをかくことができる。		○一次関数をグラフに表そうとし、グラフの特徴を明らかにしようとしている。	○一次関数のグラフの特徴を、比例のグラフをもとに考えることができる。	○一次関数のグラフをかくことができる。	○一次関数のグラフの傾き、切片の意味とグラフの特徴を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		4 一次関数の式を求めること	一次関数のグラフから、その関数の式を求めることができる。		○与えられた条件から、一次関数の式を求めようとしている。	○一次関数のグラフで、傾きや切片、通る点などをもとに、その式を求める方法を考えることができる。	○一次関数の式を求めることができる。	○一次関数の式を求める方法を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	2 一次関数と方程式	1 方程式とグラフ	二元一次方程式のグラフを理解し、そのグラフをかくことができる。	二元一次方程式の解の値の組を座標とする点をとる活動から、二元一次方程式と一次関数の関係を見いだす。	○二元一次方程式のグラフをかこうとしている。	○二元一次方程式を y について解き、一次関数とみることで、そのグラフの特徴を考えることができる。	○二元一次方程式のグラフをかくことができる。	○二元一次方程式のグラフの意味とのかき方について理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 連立方程式とグラフ	連立方程式の解とグラフとの関係を理解し、2直線の交点を求めることができる。		○連立方程式の解とそのグラフの交点の関心を持ち、連立方程式を解いて、交点の座標を求めようとしている。	○連立方程式の解は、2直線の交点の座標になっているとみることができる。	○2直線の交点の座標を、連立方程式を使って求めることができる。	○連立方程式の解とグラフの交点との関係を理解している	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察

	3 一次関数の利用	1 一次関数の利用	事象の中から一次関数を見いだし、一次関数を用いて問題を解決することができる。	水温の変化や動点のようすを一次関数でとらえ、表、式、グラフを使って説明する。	○身のまわりの問題を一次関数を使って解決しようとしている。	○事象を一次関数とみなして、問題を解決することができる。	○身のまわりの事象を、一次関数の考え方をういて表現したり、処理したりすることができる。	○一次関数とみなして解決できる場面を理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
4章 図形の調べ方	1 平行と合同	1 角と平行線	観察、操作や実験を通して、対頂角の性質、平行線の性質、平行線になる条件について理解することができる。	平行線の性質や平行線になる条件をもとに、新たな性質を説明する。	○「対頂角は等しい」など、直観的にわかることがらを、すじ道を立てて説明しようとしている。	○「対頂角は等しい」などのことがらを、帰納的な推論や類推を用いて予想することができる。	○対頂角、同位角、錯角の大きさを求めることができる。	○対頂角、同位角、錯角の意味と対頂角の性質、平行線の性質、平行線になる条件を理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
		2 多角形の角	三角形の内角・外角の性質について理解し、多角形の内角の和や外角の和を求めることができる。	n 角形の内角の和を表す式から考え方を読みとり、説明することを通して、内角の和の多様な求め方の理解を深める。	○多角形の内角の和や外角の和などを求めようとしている。	○多角形の内角の和、外角の和を帰納的に考えることができる。	○三角形の内角や外角、多角形の内角の和・外角の和などを求めることができる。	○三角形の内角・外角の性質、多角形の内角・外角について理解し、それらを求める方法を理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
		3 三角形の合同	合同な図形の性質、三角形の合同条件について理解し、簡単な場合に三角形の合同条件を利用することができる。	三角形の決定条件をもとにして、合同な三角形をかくのに必要な条件を見つけ合う。	○2つの三角形がどんな場合に合同になるかを考えようとしている。	○2つの三角形が合同かどうかを、合同条件を用いて考えることができる。	○簡単な場合について、三角形の合同条件を用いて合同な三角形の組に分けることができる。	○合同な図形の性質や三角形の合同条件を理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
	2 証明	1 証明とそのしくみ	証明の意味と仮定から結論を導く証明のしくみについて理解することができる。	条件のもとで図をかき、そこから新たな図形の性質を見いだす活動を通して、仮定と結論の理解を深め、仮定から結論を導く方法を説明する。	○仮定から結論を導く証明のしくみに関心を持ち、証明のすじ道を調べようとしている。	○すでに正しいことがらを根拠にして、仮定から結論を導く証明のすじ道を考えることができる。	○仮定や結論などを記号を用いて表すことができる。	○証明の意味や、仮定、結論、証明のすじ道について理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
		2 合同条件を使った証明の進め方	三角形の合同条件を使って、簡単な図形の性質を証明することができる。	星形の5つの角の和が何度になるかを考え、まとめる活動を通して、根拠を明確にした証明の進め方を説明する。	○三角形の合同条件を使って、簡単な図形の性質を証明しようとしている。	○三角形の合同条件を使って証明する手順を考えることができる。	○図形の辺や角の関係などを、記号を用いて表すことができる。	○証明の進め方を理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
5章	1 三角形	1 二等辺三角形	観察、操作などを通して、図形の性質を見いだし、二等辺三角形の性質を証	名札立ての3つの足の部分でできる三角形が正三	○観察、操作などを通して、二等辺三角形の性質を見い	○二等辺三角形の性質を調べ、その証明について考えること	○二等辺三角形の性質やその逆などを記号を用いて表すことがで	○定義、頂角、底辺、底角、定理、逆の意味を理解して	ワークシート ・自己評価・

図形の性質と証明			明することができる。また、逆について理解することができる。	角形であることについて説明する。	だそうとしている。	ができる。	きる。	いる。	ペーパーテスト・活動観察
		2 直角三角形の合同	三角形の合同条件をもとにして、直角三角形の合同条件を導き、それを使って証明することができる。		○直角三角形の合同条件を使って証明しようとしている。	○三角形の合同条件をもとにして、直角三角形の合同条件を導き、それを使った図形の性質の証明を考えることができる。	○簡単な場合について、直角三角形の合同条件を使って合同な三角形の組に分けることができる。	○斜辺、直角三角形の合同条件を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	2 四角形	1 平行四辺形の性質	平行四辺形の定義と性質を理解し、それを使って平行四辺形の辺の長さや角の大きさを求めたり、図形の性質を証明したりすることができる。		○平行四辺形の性質を見つめようとしたり、それを証明したりしようとしている。	○平行四辺形の性質について考えることができる。	○平行四辺形の定義や性質を、記号を用いて表したり、辺の長さや角の大きさを求めたりすることができる。	○平行四辺形の定義と性質を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 平行四辺形になる条件	平行四辺形になるための条件を理解し、それを使って図形の性質を証明することができる。	いろいろな方法でかいた四角形が平行四辺形であることのわけをまとめ、平行四辺形になる条件の理解を深める。	○四角形の辺や角などがどのような条件になれば平行四辺形になるか考え、証明しようとしている。	○平行四辺形になる条件を平行四辺形の性質の逆として考えることができる。	○平行四辺形になる条件を、記号を用いて表すことができる。	○平行四辺形になる条件を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		3 長方形、ひし形、正方形	長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、四角形の包摂関係を理解することができる。	平行四辺形に条件を付け加えると、どんな四角形になるかを見いだす。	○長方形、ひし形、正方形が平行四辺形の性質をもつことに関心をもち、それぞれの性質をまとめようとしている。	○長方形、ひし形、正方形が平行四辺形の特別なものであるとみることができる。	○長方形、ひし形、正方形の定義やその性質などを記号を用いて表すことができる。	○長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、それらが平行四辺形の特別なものであることを理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		4 平行線と面積	平行線と面積の関係を理解し、それを利用することができる。		○ある図形と面積が等しい図形をかこうとしている。	○平行線と面積の関係について考えることができる。	○平行線と面積の関係をj用いて、面積が等しい三角形を見つけることができる。	○面積を変えずに図形の形を変える方法を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
6 章 確率	1 確率の意味	1 確率の意味	2枚の硬貨を投げたり、ペットボトルのふたを投げたりする実験などを通して、確率の意味を理解するとともに、その事象が起こる確率を考え、確率の必要性を理解することができる。	実験した結果から、起こりやすさについて、「確率」の用語を使って説明する。	○確率に関心をもち、実験等を通してある事象の起こりやすさを予想しようとしている。	○実験や調査結果をもとに、不確定な事象の起こりやすさの傾向について考えることができる。	○実験や調査結果の考察がしやすいように、図や表、グラフに表すことができる。	○確率の必要性和意味について理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察

	2 確率の求め方	1 確率の求め方	同様に確からしいことをもとにして、簡単な場合について確率を求めることができる。	くじ引きであたりをひく確率について、2人がひく場合をもとにし3人がひく場合にどうなるか、話し合いを通して考える。	○簡単な場合について、起こりうる場合を順序よく整理し、その確率を求めようとしている。	○同様に確からしいことがいえれば、実験をしなくても場合の数の割合として確率が求められることに気づくことができる。	○簡単な事象について、樹形図や表などを用いて、確率を求めることができる。	○同様に確からしいことの意味、確率の求め方、確率の範囲について理解している。	ワークシート ・自己評価・ ペーパーテスト・活動観察
--	-------------	----------	---	--	--	--	--------------------------------------	--	----------------------------------

第3学年 数学科 年間指導計画

(研究課題) 数学的な表現力を高めるための課題設定の工夫および指導方法の工夫 (学年目標) 数学的な表現を用いて、根拠を明らかに筋道立ててわかりやすく説明できる課題設定の工夫

章	節	項	学習目標	言語活動	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
1章 式の展開と因数分解	1節 式の展開と因数分解	1 式の乗法、除法	2けたの自然数の積のきまりを見つけることを通して、式の計算に関心を持ち、多項式と単項式の乗除の計算や多項式の展開ができる。	2けたの自然数の積のきまりを見いだし、文字式を使ってそれを説明する	2けたの自然数の積のきまりを見つけることを通して、式の計算に関心を持ち、多項式と単項式の乗除や多項式の展開に取り組もうとしている。	多項式と単項式の乗除の計算や多項式の展開のしかたを、既習の式の計算と関連付けて考えることができる。	多項式と単項式の乗除の計算や多項式の展開ができる。	多項式と単項式の乗除の計算のしかたや展開の意味、展開のしかたを理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 乗法の公式	$(x+a)(x+b)$ の展開、平方の公式、和と差の積の公式を使った式の展開ができる。	$(x+a)(x+b)$ とそれを展開した式を見比べて、一般的にいえることを見いだし、公式を導く。	乗法の公式を使った式の展開に取り組もうとしている。	$(a+b)(c+d)$ の展開や面積図をもとにして $(x+a)(x+b)$ の展開、平方の公式、和と差の積の公式を考えることができる。	乗法の公式を使って、式を展開することができる。	乗法の公式を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		3 素因数分解	数についての理解を深め、自然数を素因数分解することができる。		自然数を素因数分解しようとしている。	自然数を素因数分解するとき、分解の順序を変えても、整理すると結果は同じになることを確かめることができる。	自然数を素因数分解することができる。	因数、素数、素因数の意味と、素因数分解のしかたを理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		4 因数分解	因数分解の意味を理解し、共通因数を取り出したり乗法の公式を利用したりして、多項式を因数分解することができる。		式の因数分解に取り組もうとしている。	乗法の公式を利用して、式の因数分解のしかたを考えることができる。	共通因数を取り出したり、乗法の公式を利用したりして、多項式を因数分解することができる	因数、因数分解の意味と因数分解のしかたを理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	2節 式の計算の利用	1 式の計算の利用	これまで学んできた式の計算を利用して、数量の関係や図形の性質をとらえ説明することができる。	円のまわりの道の面積について考えたことをもとにして、円以外の図形ではどうなるかを考え、まとめることを通して、文字式を用いて説明する。	式の展開や因数分解を利用して、数量の関係や図形の性質をとらえ説明しようとしている。	具体的な場面で、式の意味をよみとったり、式を変形したりして、数量の関係や図形の性質を考えることができる。	問題を解決するために、式を展開したり、因数分解したりすることができる。	問題解決に、式の展開や因数分解が利用できることを理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		1 平方根	数の平方根の意味や根号を使った	方眼紙を使っているいろいろな	数の平方根を調べようとした	正方形の面積と一辺の長さの関	数の平方根を求めたり、平方根	平方根の意味、根号の意味と	ワークシ

2章 平方根	1節 平方根		表し方、平方根の大小など、平方根について理解することができる。	正方形をかき、面積を求める活動を通して、面積と辺の関係から、これまでに学んでいない新しい数があることを話し合う。	り、根号を使って表そうとしてりしている。	係から、新しい数を見いだしたり、面積の大小から平方根の大小関係を考えたりすることができる。	の大小を不等号を用いて表したりすることができる。	使い方を理解している。	ート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 平方根の値	数の平方根の値について理解し、電卓を用いてその近似値を求めることができる。		平方根の近似値を求めようとしている。	平方根の近似値の求め方を考えることができる。	数の大小関係を利用して、平方根の近似値を求めたり、電卓を用いて平方根の近似値を求めたりすることができる。	平方根の値と近似値の求め方について理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		3 有理数と無理数	有理数と無理数の意味を理解することができる。		有理数と無理数について関心を持ち、その性質や違いを調べようとしている。	有理数と無理数の性質や違いを考えることができる。	ある数が有理数か無理数かを見分けることができる。	有理数と無理数の意味とその性質や違いについて理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	2節 根号をふくむ式の計算	1 根号をふくむ式の乗法、除法	根号をふくむ式の乗法、除法や式の変形ができる。	縦 $\sqrt{2}\text{cm}$ 、横 $\sqrt{5}\text{cm}$ の長方形の面積を求めることを通して、 $\sqrt{\quad}$ のついた数の積のきまりを見いだす。	根号をふくむ式の乗法、除法の計算に取り組もうとしている。	根号をふくむ式の乗法や除法、分母の有理化などの変形を、平方根の意味にもとづいて考えることができる。	根号をふくむ式の乗法、除法や、有理化などの変形ができる。	根号をふくむ式の乗法、除法のしかたについて理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 根号をふくむ式の計算	根号をふくむ式の和と差や、根号をふくむ式の積の計算ができる。	$\sqrt{\quad}$ の中の数や10倍、100倍、 $\dots$ 、あるいは、0.1倍、0.01倍、 $\dots$ したときのきまりを話しあう。	根号をふくむ式の和と差や、根号をふくむ式の積の計算に取り組もうとしている。	根号をふくむ式の計算のしかたを、数の計算や文字式の計算と同じように考えることができる。	根号をふくむ式の和と差や、根号をふくむ式の積の計算ができる。	根号をふくむ式の和と差や、根号をふくむ式の積の計算について理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
3章 二次	1節 二次方程式	1 二次方程式とその解き方	カレンダーの問題を考えることを通して、二次方程式とその解の意味を理解し、平方根の意味にもとづいて	カレンダーの数の並び方について、2次の項をふくむ方程式を使って解決する問題を見い	平方根の意味にもとづいて、二次方程式を解こうとしている。	平方根の意味にもとづいて、二次方程式を解く方法を考えることができる。	平方根の意味にもとづいて、二次方程式を解くことができる。	二次方程式とその解の意味、平方根の意味にもとづく二次方程式の解き方について	ワークシート・自己評価・ペーパー

方程式			て二次方程式を解くことができる。	だし、話し合う。				理解している。	パート スト・活動観 察
		2 二次方程式の解の公式	二次方程式の解の公式を知り、それを使って二次方程式を解くことができる。		二次方程式の解の公式に関心を持ち、それを使って二次方程式を解こうとしている。	二次方程式の解の公式の導き方を考えることができる。	解の公式を使って、二次方程式を解くことができる。	二次方程式の解の公式の意味と解の公式を使った二次方程式の解き方について理解している。	ワークシート・自己評価・パート スト・活動観 察
		3 二次方程式と因数分解	因数分解を使って、二次方程式を解くことができる。	1 つの二次方程式をいろいろな解き方で解き、まとめることを通して、方程式に応じて解き方を使い分けることを説明する。	因数分解を使って、二次方程式を解こうとしている。	左辺を因数分解し、「 $A \times B = 0$ 」ならば、 $A = 0$ または $B = 0$ 」を使って、二次方程式を解く方法を考えることができる。	因数分解を使って、二次方程式を解くことができる。	因数分解を使った二次方程式の解き方を理解している。	ワークシート・自己評価・パート スト・活動観 察
	2節 二次方程式の利用	1 二次方程式の利用	二次方程式を利用して、問題を解決することができる。		二次方程式を利用して、問題を解決しようとしている。	二次方程式を利用して問題を解決し、その過程を振り返って考えることができる。	問題の中の数量を二次方程式に表し、その二次方程式を解くことができる。	二次方程式を利用して問題を解決する手順を理解している。	ワークシート・自己評価・パート スト・活動観 察
4章 関数 $y = ax^2$	1節 関数とグラフ	1 関数 $y = ax^2$	ボールが斜面をころがる実験などから、事象の中には $y = ax^2$ で表される関数関係があることを知り、その特徴を理解する。	ボールが斜面をころがるようすを観察する活動から、既習の関数との比較を通して、その新しい関数について説明する。	ボールが斜面をころがる実験から、一次関数では表せない関数があることに関心を持ち、その特徴を調べようとしている。	関数 $y = ax^2$ のとる値の変化や対応を表をつくって調べ、その特徴を考えることができる。	2乗に比例する関係を、式に表すことができる。	関数 $y = ax^2$ の意味とその特徴を理解している。	ワークシート・自己評価・パート スト・活動観 察
		2 関数 $y = ax^2$ のグラフ	関数 $y = ax^2$ のグラフとその特徴を理解し、関数 $y = ax^2$ のグラフをかくことができる。	$y = ax^2$ の a の値の違いから式とグラフの対応を判断し、説明する活動を通して関数 $y = ax^2$ のグラフの理解を	関数 $y = ax^2$ のグラフに関心を持ち、そのグラフをかこうとしている。	関数 $y = ax^2$ のグラフで、 a の値をいろいろとって、グラフの特徴を考えることができる。	関数 $y = ax^2$ のグラフをかくことができる。	放物線、放物線の軸、放物線の頂点の意味と関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解している。	ワークシート・自己評価・パート スト・活動観 察

				深める。					ト・活動観察
	2節 関数 $y=ax^2$ の値の変化	1 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域	グラフから、関数 $y=ax^2$ の y の増減を調べ、 x の変域から y の変域を求めることができる。	関数 $y=ax^2$ の値の変化について、一次関数を調べたと同じようにして調べ、その特徴を見いだす。	関数 $y=ax^2$ のグラフで、値の変化のようすに関心を持ち、 y の値の増減について調べようとしている。	関数 $y=ax^2$ について、 y の値の増減を、 a の値や x の範囲ごとに調べ、変化のようすを考えることができる。	関数 $y=ax^2$ について、 x の変域が与えられたとき、 y の変域を求めることができる。	関数 $y=ax^2$ について、 y の値の変化のようすを理解している。	ワークシート・自己評価・パートナー・活動観察
		2 関数 $y=ax^2$ の変化の割合	関数 $y=ax^2$ のとり値の変化の割合について調べ、一次関数との違いを明らかにする。		関数 $y=ax^2$ の変化のようすに関心を持ち、変化の割合を調べようとしている。	関数 $y=ax^2$ の変化のようすを表やグラフを使って観察し、変化の割合について考えることができる。	関数 $y=ax^2$ の変化の割合を、求めることができる。	関数 $y=ax^2$ の変化の割合について理解している。	ワークシート・自己評価・パートナー・活動観察
	3節 いろいろな事象と関数	1 関数 $y=ax^2$ の利用	身のまわりに関数 $y=ax^2$ と関わり深い事象があることを知り、 $y=ax^2$ の関係を利用して、問題を解決することができる。	自動車の制動距離を関数 $y=ax^2$ でとらえ、関数の特徴から、速度が速くなるにつれて制動距離がどうなるか話しあう。	身のまわりの事象の中から、関数 $y=ax^2$ の関係を見つけようとしている。	身のまわりの事象の中から、関数 $y=ax^2$ の関係を見いだし、その関係を利用した問題解決の方法を考えることができる。	関数 $y=ax^2$ の関係になっている事象を表・式・グラフに表したり、平均の速さを求めたりすることができる。	関数 $y=ax^2$ の関係が利用できる事象を理解している。	ワークシート・自己評価・パートナー・活動観察
		2 いろいろな関数	身のまわりの事象の中には、既習の関数ではとらえられない関数関係があることを理解し、それらを表やグラフを用いて考察する。	底が階段状の直方体の水そうに水を入れたときのように、すを表すグラフがどうなるか、理由も含めて話しあう。	身のまわりの事象の中から、関数関係を見つけようとしたし、調べようとしている。	身のまわりの事象の中から、関数関係を見いだし、表やグラフを用いて変化や対応のようすの特徴を考えることができる。	1つの式で表せない関数関係などを表やグラフに表すことができる。	身のまわりの事象の中には、既習の関数ではとらえられない関数関係があることを理解している。	ワークシート・自己評価・パートナー・活動観察
5章 図形と	1節 図形と相似	1 相似な図形	図形の拡大・縮小の意味をもとに、図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解することができる。	大きさの違う同じ形の図形をかくことを通して、拡大・縮小した図形ももとの図形で、線分や角について説明する。	形が同じで大きさが違う図形をつくることを通して、相似な図形に関心を持ち、その性質を調べたり、それを考えたりしようとしている。	相似な2つの図形を観察して、相似な図形の性質を考えることができる。	2つの図形が相似であることを、記号を使って表したり、相似比や対応する辺の長さを求めたりすることができる。	図形の拡大・縮小の意味をもとに、相似の意味、相似な図形の性質、相似比について理解している。	ワークシート・自己評価・パートナー・活動観察

相 似		2 三角形の相似条件	三角形の相似条件について理解し、簡単な場合に三角形の相似条件を利用することができる。	三角形の決定条件をもとにして、相似な三角形をかくのに必要な条件を見つけ合う。	三角形の相似条件に関心を持ち、2つの三角形がどんな場合に相似になるかを考えようとしている。	三角形の相似条件を、合同条件をもとにして考えることができる。	三角形の相似条件を使って、2つの三角形が相似かどうか判定できる。	三角形の相似条件を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		3 相似条件と証明	三角形の相似条件を使って図形の性質を証明することができる。	2枚の折り紙を重ねて置いたとき、重なっていない部分にできる三角形がどんな関係にあるかを見いだす。	三角形の相似条件を使って、図形の性質を証明しようとしている。	見いだした図形の性質などを、三角形の相似条件を用いて証明することができる。	図形の辺や角の関係をなどを、記号を用いて表すことができる。	相似条件を用いた証明の進め方を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	2節 平行線と線分の比	1 平行線と線分の比	平行線と線分の比に関する性質を見いだし、それを証明し、利用することができる。	ノートの横幅を3等分する線をひく方法を知り、なぜその方法で3等分できるかを考え、発表する。	平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしたり、それを証明したりしようとしている。	平行線と線分の比についての性質を、平行線の性質や三角形の相似条件を用いて考えることができる。	平行線と線分の比の性質を用いて、線分の長さなどを求めることができる。	平行線と線分の比の性質を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 中点連結定理	中点連結定理を理解し、それを使って辺の長さを求めたり、図形の性質を証明したりすることができる。		中点連結定理を使って、図形の性質を明らかにしようとしている。	中点連結定理を使って、図形の性質の証明を考えることができる。	中点連結定理を使って、簡単な場合について、辺の長さなどを求めることができる。	中点連結定理について理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	3節 相似な図形の計量	1 相似な図形の面積	相似な平面図形について、相似比と面積の比の関係を理解し、それを使って図形の面積を求めることができる。	図形をしきつめる活動を通して、相似比と面積比の間の関係を見いだす。	相似な図形の相似比と面積比の関係について調べようとしている。	相似な図形の相似比と面積比の関係を考えることができる。	図形の面積を、相似比と面積の比の関係を使って求めることができる。	相似な図形の相似比と面積比の関係を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察

		2 相似な立体の表面積・体積	立体の拡大・縮小の意味を知り、それをもとに立体の相似の意味と相似な立体の性質を理解する。また、相似な立体について、相似比と表面積の比、体積の比の関係を理解し、それを使って立体の表面積や体積を求めることができる。		相似な立体、その相似比と表面積の比及び体積の比の関数について調べようとしている。	相似な立体の相似比と表面積の比、体積の比の関数を考えることができる。	立体の表面積や体積を、相似比と表面積の比、体積の比の関数を使って求めることができる。	立体の相似の意味とその性質、相似比と表面積の比及び体積の比の関係を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	4節 相似の利用	1 相似の利用	相似な図形のいろいろな性質を、具体的な日常生活の場面や、数学的な問題解決の場面において活用することができる。	相似な図形の性質を活用し、影から校舎の高さを求める方法を話し合う。	相似な図形の性質を活用して、問題を解決しようとしている。	与えられた図形の中に相似な図形を見いだしたり、相似な図形とみなしたりして考えることができる。	相似な図形の性質を用いて図形の辺の比の関数などを求めることができる。	具体的な事象で相似な図形の性質が利用できる場面を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
6章 円の性質	1節 円周角と中心角	1 円周角と中心角	観察、操作や実験などの活動を通して、円周角と中心角の関数を見だし、その関数が証明できることを理解することができる。	角の大きさを求めるために、円周角の定理をどのように用いるかを説明する。	円周角と中心角に関心を持ち、それらの関数や性質を見いだそうとしたり、その証明にどのような図形の性質が用いられているのかを考えたりしようとしている。	円周角と中心角の関数や、同じ弧に対する円周角の関数について考えたり、その証明をよみ、どのような図形の性質が用いられているのかを考えたりすることができる。	円周角と中心角の関数や、同じ弧に対する円周角の性質などを記号を用いて表したり、円周角と中心角の関数を用いて、角の大きさを求めたりすることができる。	円周角の意味、円周角と中心角の関数及び同じ弧に対する円周角の性質の意味を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 円周角の定理の逆	観察、操作や実験などの活動を通して、円周角の定理の逆について理解することができる。		円周角の定理の逆が成り立つかどうかを調べようとしている。	異なるいくつかの点が、同じ円周上にある条件を考えることができる。	円周角の定理の逆を用いて、角の大きさを求めることができる。	円周角の定理の逆について理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	2節 円の性質の利用	1 円の性質の利用	円周角と中心角の関数や、円周角の定理の逆など、円の性質を具体的な場面で活用することができる。	円周上に5点をとってできる星形の図形について、その先端にできる5つの角の和が 180° になることを、円周角の定理を利用して説明する。	円周角と中心角の関数など、円の性質を用いて具体的な事象をとらえるに関心を持ち、問題を解決しようとしている。	与えられた図形の中に円を見いだしたり、日常生活の場面で対象を円とみなしたりして、円の性質を用いることで図形の性質などを考えることができる。	円外にある1点を通るその円の接線の作図など、円の性質を利用した作図ができる。	円外にある1点を通るその円の接線の作図など、円の性質が利用できる場面を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
7	1節 三平方	1 三平方の	観察や操作を通して三平方の定理	2つの正方形の面積の和に	三平方の定理に関心を持ち、直	直角三角形の3辺の長さの間に	三平方の定理を用いて直角三角形	三平方の定理の意味とその	ワークシ

章 三 平 方 の 定 理	方の定理	定理	を見だし、それが証明できることを理解する。また、三平方の定理とその逆の意味を理解する。	等しい正方形の1辺となる線分を考え、その理由を説明する。	角三角形の性質を調べようとしている。	成り立つ関係について、考えることができる。	の辺の長さを求めたり、三平方の定理の逆を用いて直角三角形であるかどうかを見分けたりすることができる。	逆の意味を理解している。	ート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
	2節 三平方の定理の利用	1 平面図形への利用	三平方の定理を平面図形の考察に利用して、正三角形の高さや弦の長さ、2点間の距離を求めるなど、具体的な場面で活用することができる。	$\sqrt{2}$ 、 $\sqrt{3}$ などを表す点の位置を求める方法を説明することを通して、無理数への理解を深める。	正三角形の高さ、弦の長さ、2点間の距離などが、直接測らずに三平方の定理を利用して求められることに興味をもち、定理を活用しようとしている。	長さを求める線分を1辺にもつ直角三角形に三平方の定理を用いて、平面図形の性質を考えることができる。	三平方の定理を用いて、正三角形の高さ、弦の長さ、2点間の距離などを求めることができる。	平面図形において、三平方の定理が用いられる場面を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 空間図形への利用	三平方の定理を空間図形の考察に利用して、直方体の対角線の長さや正四角錐の高さ、体積を求めるなど、具体的な場面で活用することができる。	高い建物や山から見わたせる範囲について調べ、レポートにまとめる。	実際には見えない直方体の対角線の長さや正四角錐の高さなどが、三平方の定理を利用して求められることに興味をもち、定理を活用しようとしている。	長さを求める線分を1辺にもつ直角三角形に三平方の定理を用いて、空間図形の性質を考えることができる。	三平方の定理を用いて、直方体の対角線の長さや正四角錐の高さなどを求めることができる。	空間図形において、三平方の定理が用いられる場面を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
8 章 標 本 調 査	1節 標本調査	1 標本調査	標本調査の必要性和意味、標本抽出の意味と方法を理解し、標本調査の結果から母集団傾向を推測することができる。	様々な調査について考えることを通して、すべてを調べることが適切でない調査があることを話し合う。	標本調査に関心をもち、母集団の傾向について考えようとしている。	母集団から偏りなく標本を抽出する方法について考えることができ、標本調査の結果から母集団の傾向について考えることができる。	標本調査の結果を表やグラフなどを用いて表現することができる。	標本調査の必要性和意味、無作為抽出の方法を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察
		2 標本調査の活用	簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ、説明することができるとともに、身近な問題の解決のためにどのような標本調査すればよいかを考え、調査結果について説明することができる。	身近な問題の解決のために、どのような標本調査をすればよいかを考え、調査結果について説明する。	標本調査を行い、母集団の傾向をとらえることに興味をもち、身近な問題の解決に標本調査を生かそうとしている。	身近な問題の解決のために、標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することができる。	身近な問題を解決するために、標本調査を行ない、その結果を表やグラフなどを用いて表現することができる。	標本調査の方法や手順を理解している。	ワークシート・自己評価・ペーパーテスト・活動観察

第1学年理科年間指導計画

学習の目標

観察・実験を通し、器具類の基礎的な扱いに慣れるとともに、自然を調べていこうとする態度を育成する

学習の方法(言語活動)

観察や実験の考察を通して自分の意見をまとめて発表する。また、班で意見交換を行う。実験・観察のレポートを作成する。

学習の評価

評価規準

- 学習内容に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる。
- 観察・実験を正確にまた安全に取り組んでいる。
- 植物の体のつくりやはたらきについて理解している。
- いろいろな気体や水溶液、物質の性質について理解している。
- 光や音の性質について理解し、光や音による現象について説明できる。
- 大地のはたらきによって起こっている現象について説明できる。

評価方法

- 授業への参加態度
- ノートやファイルの記録
- 発言のようす
- 学習用具の準備や宿題の提出
- 実験レポート
- 定期テスト、課題テスト

年間の学習計画

月	学習する単元	学習内容
1 学 期	・花のつくりとはたらき ・根や茎のつくりとはたらき ・葉のつくりとはたらき ・植物のなかま分け ・いろいろな物質とその性質	・いろいろな花の観察を行い、花の基本的なつくりの特徴と花のはたらきを理解する。 ・いろいろな植物の根と茎の観察を行い、基本的なつくりの特徴と植物体内の物質の移動について理解する。 ・葉の観察を行い、葉のつくりの特徴と光合成について理解する。 ・花や根・茎・葉の観察から、それらを相互に関連づけて考察し、植物が体の特徴に基づいて分類できることを見いだす。 ・身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べ、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだすとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身につける。
	・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質の状態とその変化 ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象 ・大地が火をふく	・気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の特性、気体を発生させる方法や捕集法などの知識・技能を身につける。 ・水溶液の中では溶質が均一に分散していることを理解する。また、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。 ・状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを理解する。また、物質は融点や沸点を境に状態が変化することや沸点の違いによって物質の分離ができることを理解する。 ・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。また、凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きとの関係を見いだす。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ、音の大きさや高さは発音体の振動のしかたに関係すること、および音は波として空気中をおよそ 340m/s の速さで伝わることを見いだす。 ・物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見だし、力は大きさと向きによって表されることを理解する。また、圧力、水圧、大気圧についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があること、水や空気の高さと関係があることを理解する。 ・さまざまな火山の活動から、それらの活動の様子はマグマの性質が深く関係していることを考察させるとともに、マグマからできる火成岩の特徴を理解する。
2 学 期	・大地がゆれる ・大地は語る	・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解するとともに、記録の整理により地震のゆれの伝わり方を見いだす。また、震央・震源の分布をプレートの動きと関連づけて理解する。 ・岩石や化石から、地層が堆積した時代や当時の環境を推測し、地層のつき方や重なり方の規則性を理解する。また、大地の変動が断層や地形として記録されていることに気づき、これら大地の変動を統合的に把握する。

第2学年「理科A」年間指導計画

学習の目標

観察・実験を通して得られた結果をもとに自然の法則を見いだそうとする態度の育成。

学習の方法(言語活動)

課題を提示することで、自分で考え、グループで話し合い意見を出し合ってまとめ発表する。
また、実験・観察内容のレポートを作成する。

学習の評価

評価規準

- 学習内容に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる。
- 観察・実験を正確にまた安全に取り組んでいる。
- 実験・観察の予想をし、結果をまとめ考察をしている。
- 生物の体のしくみやはたらきについて理解し細胞単位で説明できる。
- 電流の正体について理解し、電子の動きについて説明できる。
- 大気の様子によって起こっている現象について説明できる。

評価方法

- 授業への参加態度
- ノート、ファイルの記録
- 発言のようす
- 学習用具の準備や提出物
- 実験レポート
- パフォーマンステスト
- 定期テスト、課題テスト

年間の学習計画

月	学習する単元	学習内容
1 学 期	・生物の体をつくる細胞	・生物の細胞観察を行い、生物の体が細胞からできていることや細胞のつくりの特徴を見いだす。
	・生命を維持するはたらき	・消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを結果と関連付けてとらえ、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。
	・感覚と運動のしくみ	・動物が刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連付けてとらえる。
	・動物のなかまと生物の進化	・脊椎動物の特徴を比較、整理し脊椎動物がいくつかの仲間に分類できることや無脊椎動物の特徴を見いだす。現存の生物および化石の比較などをもとに、生物の進化を見いだす。
2 学 期	・電流の性質	・回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見だし、実験器具の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。
	・電流の正体	・日常生活と関連付けながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見だし、真空放電の実験から電流の正体について理解する。
	・電流と磁界	・日常生活と関連付けながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解し、直流と交流の違いを捉える。
3 学 期	・空気中の水の変化	・地球上の水はさまざまな状態で存在することや空気中の水の変化について理解する。
	・大気の動きと天気の変化	・大気状態を観測させたりして、天気との関係を見いだす。また、日本付近の気団や大気の動き方の規則性と関連付けながら天気の変化を捉える。
	・大気の動きと日本の四季	・地球規模の大気の動きが温度差と関係して起こる自然現象であることを理解する。また、大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解させる。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連付けながら、日本の四季の天気の特徴と生じるしくみを理解する。

第2学年「理科 B」年間指導計画

学習の目標

状態変化や化学変化など物質の変化を、物質をつくる粒子のようすと関係づけて粒子モデルで示し、そのモデルを用いて物質の変化を説明する。

学習の方法(言語活動)

物質の性質や変化について仮説を立て、その仮説を実験や観察を通して検証し、その結果をグループ活動を通して解釈し、説明する。

学習の評価

評価規準

- 意欲的に実験を行ったり、考えを表現したり、説明したりすることができる。
- 物質の変化などを、粒子モデルで示すなど微視的な視点で捉え、説明できる。
- 実験器具を正しく扱い、安全に実施することができる。
- 実験結果などをわかりやすく表現できる。
- 学習内容を理解できる。

評価方法

- 授業への参加態度
- ノートやファイルの記録
- 発言のようす
- 学習用具の準備や宿題の提出
- 実験レポート
- 定期テスト、課題テスト

年間の学習計画

学期	学習する単元	学習内容
1 学 期	物質をつくる粒子 (4 時間)	すべての物質は、原子や分子からできていることや原子や分子の性質などの特徴について知る。
	物質の性質(6 時間)	物質の燃焼や電気伝導について考え、微視的な視点でこれらの現象を捉える。
	状態変化(4 時間)	物質の状態変化について、微視的に捉えそのようすを粒子モデルで示し、その変化について粒子モデルで説明する。
2 学 期	密度(3 時間)	物質の密度について考え、微視的な視点で密度を説明する。
	水溶液の性質 (5 時間)	物質の水への溶解を粒子モデルで示し、水溶液の性質などの特徴を粒子モデルで説明する。
	蒸溜(2 時間)	液体から純粋な物質を取り出す方法を知り、この方法を粒子モデルで説明する。
	再結晶(2 時間)	水溶液から溶質を取り出す方法を知り、この方法を粒子モデルで説明する。
	気体の性質(2 時間)	様々な方法で気体を発生させ、それらの気体の性質を確かめる。
3 学 期	化学変化(7 時間)	いろいろな化学変化を行い、これらの変化を粒子モデルで示すとともに、化学反応式で表す。また、化学変化における規則性を微視的な視点で説明する。

第3学年「理科 A」年間指導計画

学習の目標

知識を体系化し、自然との共生のあり方など、多面的に考えようとする態度の育成。

学習の方法(言語活動)

提示された課題に対し、自分の考えをまとめ、グループで話し合いをし、意見をまとめて発表する。

学習の評価

評価規準

- 学習内容に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる。
- 観察・実験を正確にまた安全に取り組んでいる。
- 実験結果や考察を自分なりの考えを持ってまとめている。
- イオンについて理解し電池や中和についてイオンを用いて説明することができる。
- 学習内容を理解している。

評価方法

- 授業への参加態度
- ノートやファイルの記録
- 発言のようす
- 学習用具の準備や宿題の提出
- 実験レポート
- 定期テスト、課題テスト

年間の学習計画

月	学習する単元	学習内容
1 学 期	・水溶液とイオン	・水溶液に電流を通す実験を行い、水溶液には電流を通すものと通さないものがあることを見いだす。 ・電気分解の実験より、イオンの存在を見だし、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。 ・電池の実験を行い、電池は化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づくとともに、イオンのモデルを用いて電池の原理を説明する。
	・酸・アルカリと塩	・酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いだす。
2 学 期	・地球の運動と天体の動き	・電離の様子をイオンのモデルを使って説明する。 ・中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると水と塩ができることを見いださせるとともに、中和反応をイオンのモデルを使って説明する。
	・太陽系の天体	・太陽や星の日周運動は、地球の自転によって起こることを理解する。 ・季節によって見ることのできる星座が違ったり、太陽が1年を通して星座の間を動く運動は、地球の公転によって起こる年周運動であることを理解する。 ・季節による太陽の南中高度や昼の長さの変化は、地球が地軸を傾けたまま自転しながら公転しているためであることを理解する。 ・太陽系の天体の特徴を知るとともに、惑星の動きや見え方、月の満ち欠けと日食・月食について理解する。
3 学 期	・恒星の世界	・太陽の特徴を知るとともに、太陽系は銀河系に属すること、銀河系の外には別の銀河が多数存在することを理解する。

第3学年「理科 B」年間指導計画

学習の目標

知識を体系化し、自然との共生のあり方など、多面的に考えようとする態度の育成

学習の方法(言語活動)

実験・観察の結果から、自分の考えをまとめ、話し合い活動を行う。
実験・観察内容のレポートを作成する。
単元のまとめを自分の言葉で関連づけて整理する。

学習の評価

評価規準

- 学習内容に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる。
- 観察・実験を正確にまた安全に取り組んでいる。
- 実験・観察の結果をまとめ考察をしている。
- 学習内容を理解している。
- 学習内容を自分の言葉でまとめることができる。

評価方法

- 授業への参加態度
- ノートやファイルの記録
- 発言のようす
- 学習用具の準備や宿題の提出
- 実験レポート
- 定期テスト、課題テスト

年間の学習計画

月	学習する単元	学習内容
1 学期	・生物の成長	・細胞のつくりを振り返り、細胞分裂の観察を行わせて、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて理解する。
	・生物のふえ方と遺伝	・無性生殖と有性生殖の特徴をまとめ、生物がふえていくとき染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わること、そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。
	・力のつり合いと合成・分解	・実験を通して2力がつり合う条件を見だし、2力のつり合いを理解させる。また、作図によって合力や分力を求めることができるようにする。
	・力と物体の運動	・記録タイマーやストロボ写真をもとに、物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につけ、物体にはたらく力と運動との関係を理解する。
2 学期	・仕事とエネルギー	・仕事の量の求め方、仕事の原理を理解する。また、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと物体の高さや質量、速さとの関係について理解する。映像等の資料を通して力学的エネルギーが保存されることを理解する。
	・いろいろなエネルギーとその移り変わり	・身のまわりにあるいろいろなエネルギーに気づき、エネルギーの変換や、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。
	・エネルギー資源とその利用	・人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知るとともに、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性に気づく。
3 学期	・自然界のつり合い	・微生物のはたらきを調べ、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを理解する。
	・人間と環境	・学校周辺の身近な自然環境について調べ、人間の生活が自然環境及ぼす影響と、自然環境を保全することの重要性を理解する。
	・自然と人間のかかわり	・日本の自然について、既習事項を振り返り、自然からの恵みと災害についての理解を深める。自然現象の監視や防災・減災などについても調べ、自然との共生のあり方について考える。
	・科学技術と人間	・さまざまな科学技術の利用によって人間の生活が豊かで便利になったことに気づく。

平成 2 4 年度 兵庫教育大学附属中学校 音楽科年間指導計画【第 1 学年】

(研究課題)「協働学習の手法を取り入れた我が国の伝統音楽の鑑賞及び創作活動における思考力・判断力・表現力の育成」
(学年目標)「音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、基礎的な表現の技能を身につける。」

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法
4	しっかりと声を出そう	校歌	自分の声について知り，発声について理解する。(A（1）ア)		音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 音楽を形づくっている要素が知覚でき，どのように歌うかについて思いや意図を持っている。② 音楽表現をするために必要な技能を身につけている。③	観察
	小学校のおさらい	覚えているかな				
	リコーダーに親しもう	楽器の基礎リコーダー	リコーダーの基礎的な表現技能を身につける。(A（2）イ)		基礎的な奏法を身につける学習に主体的に取り組もうとしている。① 基礎的な奏法を生かして，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。② 曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて演奏している。③	観察
	混声合唱へのステップーへ音譜表の理解とパートの役割ー	パフ	変声について理解し，へ音譜表との関わりを理解する。(A（1）ウ)		へ音譜表との関係や声部の役割に関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 声部の役割，全体の響きを感じ取りながら音楽表現を工夫して，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。② 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけて歌っている。③	観察 ワークシート
	旋律のまとまりと構成	主人は冷たい土の中に マイ・メロディー	リズムや旋律などの音楽を形づくっている要素を知覚する。音楽の構成を理解して，表現を工夫する。(A（1）ウ) (A（3）ア)	協働学習によって旋律をどのように創作するか意見交流をする。(A（3）イ)	リズムや旋律のまとまりに関心をもち，それらを生かした音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① リズムや旋律のまとまり，それらの働きが生み出す曲想を感じながら，どのように歌うか，旋律をどのようにつくるかについて思いや意図をもっている。② 音階の特徴を生かし，まとまりや変化を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて旋律をつくって，記譜している。③	観察 作品提出
7	情景と音楽のかかわり	春	楽曲の雰囲気や味わいを支えている諸要素を知覚する。(B（1）ア)	音楽のよさや美しさを言葉で説明する。(B（1）ア)	音楽を形づくっている要素の働きや，それらと曲想との関わりについて関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って，言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。④	ワークシート ペーパーテスト
	混声合唱へのステップーさまざまな曲想の表現ー	Let's search for tomorrow 各クラスの合唱曲	音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして，表現を工夫する。(A（1）ウ)	歌詞の内容を味わってそれを音楽表現に生かすことができる。(A（1）ア)	歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 音楽を形づくっている要素を知覚し，歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。② 歌詞の内容を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。③	観察 歌唱テスト
11	物語を歌で表現する芸術	魔王	曲想の変化をもたらし音楽を形づくっている要素を知覚しながら味わって聴く。(B（1）ア)	場面の描写や心情の変化を言葉で説明することができる。(B（1）ア)	詩と音楽が一体となっている歌曲の表現効果に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 歌詞に表されている場面の描写や登場人物の心情の変化と旋律や強弱，伴奏の変化との関わりを感じ取って，情景をイメージしながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。④	ワークシート ペーパーテスト
12	詩と音楽とのかかわり	浜辺の歌 赤とんぼ	歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って歌唱表現を工夫する。(A（1）ア)	歌詞の内容を味わってそれを音楽表現に生かすことができる。(A（1）ア)	歌詞の内容や曲想に関心をもち，音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 歌詞の内容とリズム，旋律の動き，形式などの音楽を形づくっている要素が生み出す曲想を感じ，言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。② 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。③	ワークシート ペーパーテスト

2	言葉と歌声とのかわり	日本の民謡	言葉の特性とその発声との関わりを理解する。(B (1) ウ)	言葉の特性とその発声との関わりを言葉で説明することができる。(B (1) ウ)	日本の民謡のもつ音楽の特徴とその多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 日本各地の民謡のもつ声や音楽の特徴を知覚・感受し、文化的な背景と関連付けながら味わって聴いている。④	ワークシート
3	日本の伝統音楽	六段の調 巢鶴鈴慕	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、日本の伝統音楽の多様性を感じ取る。(B (1) ウ)	音楽を形づくっている要素や構造について言葉で説明することができる。(B (1) ウ)	楽器の音色や奏法の特徴、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 楽器の音色や奏法の特徴、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。④	ワークシート ペーパーテスト

平成 2 4 年度 兵庫教育大学附属中学校 音楽科年間指導計画【第 2 学年】

(研究課題)「協働学習の手法を取り入れた我が国の伝統音楽の鑑賞及び創作活動における思考力・判断力・表現力の育成」
(学年目標)「多様な音楽に対する理解を深め、表現の豊かさや美しさを感じ取り、創意工夫しながら表現する能力を高める。」

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法
4	歌詞の内容と音楽とのかかわり	夢の世界を翼をください	歌詞の内容や曲想の変化を味わいながら表現を工夫する。(A (1) ア)	歌詞を味わい、言葉の特性を生かし、それを音楽表現に生かす。(A (1) ア)	その曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 主旋律と他の旋律、二つの声部、強弱、等その変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、それらを生かして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。②	観察 ペーパーテスト
5		夏の思い出	声部の役割や曲想の変化を味わいながら表現を工夫する。(A (1) ウ)		歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。③	
	リズム作りを楽しむ	Play ! Rhythm	音符、休符についておさらいし、リズムの特徴を理解する。(A (3) ア)	リズムをシラブルに変えて発音することで理解を深める。(A (3) イ)	リズムに関心を持ち、創作する活動に主体的に取り組もうとしている。① リズムの特質や雰囲気を感じながら、シラブルや手拍子でどのように表現するか思いや意図を持っている。② リズムを表現するための必要な技能を身につけている。③	作品提出 実演
6	リコーダーを楽しむ	虹の彼方に	楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏する。(A (2) イ)		楽器の特徴に関心を持ち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。① 全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するか思いや意図を持っている。② 楽器の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な技能を身につけている。③	観察
7	日本の音楽の特徴について知る	歌舞伎「勧進帳」 文楽「野崎村の階段」	長唄や義太夫節による音色や音の重なりの特徴(声や三味線)について学習し、西洋の音楽との相違(発声やテクスチュア)について知る。(B (1) ウ)	学習したことを言語化させ、グループで意見の交流を図る。互いの意見を認め合いながらコミュニケーション能力の伸長を図る。(B (1) ア)	我が国の伝統音楽の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、根拠を持って批評するなどして、音楽のよさや美しさを感じて聴いている。④	ワークシート ペーパーテスト
9	混声合唱の深まり	心の中にきらめいて 各クラスの合唱曲	歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かして表現を工夫しよう。(A (1) ア, イ, ウ)	歌詞を味わい、言葉の特性を生かし、それを音楽表現に生かす。(A (1) ア)	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心を持ち、合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 速度とその変化、主旋律と他の旋律、各声部のかかわり方、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。② 歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。③	観察 歌唱テスト
10						
11	箏を弾いてみる	楽器の基礎「箏」	「箏」の楽器の構造や仕組みについて知る。(A (2) イ)		楽器の特徴、基本的な奏法に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。① 基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。② 必要な技能を身につけて演奏している。③	観察
12	旋律の創作にチャレンジ	箏による旋律創作	簡単な旋律を演奏することで、平調子や楽調子の音階について学習する。その上で「箏」による簡単な旋律を創作する。(A (3) ア)	協働学習によって旋律創作への抵抗をなくす。(A (3) イ)	音階の特徴に関心を持ち、それらを生かして旋律をつくり学習に主体的に取り組もうとしている。① 音楽を形づくっている要素を知覚し、音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのようにつくるか思いや意図をもっている。② 音階などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて旋律を作っている。③	作品提出
1						

2	聞き比べてみよう	「六段の調」	創作活動の前後で聴き方にどのような変化があったか比較し、確認させる。（B（1）ア）	活動の前後で聴き方にどのような変化があったか比較し、確認させる。（B（1）ア）	音楽を形づくっている要素や構造と、曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している④	ワークシート
3	音楽の構成の仕方を理解する	フーガト短調 交響曲第5番ハ短調	旋律の表れ方や声部のかかわり方、音楽の構成の仕方を理解し、鑑賞する。（B（1）ア）	根拠を持って批評することで、音楽のよさや美しさを味わう。（B（1）ア）	音楽を形づくっている要素や構成、全体のまとまり曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 楽器の音色や反復、形式などを知覚し、曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠を持って批評するなどして味わって聴いている。④	ワークシート ペーパーテスト

平成 2 4 年度 兵庫教育大学附属中学校 音楽科年間指導計画【第 3 学年】

(研究課題)「協働学習の手法を取り入れた我が国の伝統音楽の鑑賞及び創作活動における思考力・判断力・表現力の育成」
(学年目標)「音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。」

月	単元名	教材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動（学習指導要領との対応）	評価規準	評価方法
4 5	歌詞の内容や曲想の変化を味わって	花 早春賦 上を向いて歩こう	歌詞の内容や曲想の変化を味わいながら表現を工夫する。(A（1）ア) 声部の役割や曲想の変化を味わいながら表現を工夫する。(A（1）ウ)	歌詞を味わい、言葉の特性を生かし、それを音楽表現に生かす。(A（1）ア)	その曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 主旋律と他の旋律、二つの声部、強弱、同主調転調、とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、歌詞の内容や曲想を味わい、それらを生かして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。② 歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。③	観察 ペーパーテスト
6	声部の役割や音楽の構成を生かして	大きな古時計	声部の構成を理解し、リコーダーアンサンブルによる表現を工夫する。(A（2）ウ)		楽器の特徴に関心を持ち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。① 声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するか思いや意図を持っている。② 楽器の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な技能を身につけている。③	観察 実技テスト
7		ボレロ 組曲「展覧会の絵」	音楽の構成を理解し、聴き深める。(B（1）ア、イ)	根拠を持って批評する活動から自分にとっての価値を述べる。(B（1）ア)	声部の役割と全体の響きとのかかわり、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 楽器の音色、リズムパターン、二つの主題、楽曲全体の強弱の変化、音楽全体の構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。④	ワークシート ペーパーテスト
9 10	混声合唱の深まり	大地讃頌 各クラスの合唱曲	歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かして表現を工夫する。 (A（1）ア、イ、ウ)	歌詞を味わい、言葉の特性を生かし、それを音楽表現に生かす。(A（1）ア)	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心を持ち、合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 速度とその変化、主旋律と他の旋律、各声部のかかわり方、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。② 歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。③	観察 歌唱テスト
11 12 1	総合芸術に親しもう	歌劇「アイダ」より 歌舞伎「勧進帳」	物語の進行を理解し、音楽と舞台が一体となって表現される総合芸術に親しむ。(B（1）イ、ウ)	根拠を持って批評する活動から自分にとっての価値を述べる。(B（1）ア)	音楽の特徴と他の芸術との関連、諸外国の様々な音楽の特徴、音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。① 声や楽器の音色、拍の表れ方や拍子、物語などと対応する速度・旋律・強弱・構成、旋律と伴奏のかかわり方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽の特徴と他の芸術との関連付け、諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。④	ワークシート ペーパーテスト
2 3	卒業式に向けて	旅立ちの日に 手紙	歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かして表現を工夫する。 (A（1）ア、ウ)	歌詞を味わい、言葉の特性を生かし、それを音楽表現に生かす。(A（1）ア)	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心を持ち、合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。① 主旋律と他の旋律、各声部のかかわり方、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解している。② 歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。③	観察

第1学年美術科年間指導計画

(研究課題)「生徒の視点を生かした課題設定を通して」
 (学年目標)「楽しい美術の活動を通して、感性や基礎的能力を培い、創造的な表現能力と鑑賞能力を育てる」

月	題材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動	評価規準	評価方法
4	中学校美術と ドローイング	中学校の美術を理解する。 線や形のちがいを意図を持って表現することを学ぶ。(A1、A3、B鑑)	線表現のちがいを説明する。	線や形に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。① 意図や思いを持って線表現を工夫している。② 線や形の変化のちがいを表現している。③ 自他の表現のよさを味わおうとする。④	観察 スケッチ 自己評価
5	植物の魅力と 水彩画	植物から感じ取ったイメージや形、色彩の特徴を生かして表現することで、自然物と造形との関わりと水彩画の基礎を学ぶ。(A1、A3、B鑑)	植物の特徴を説明したり、個々の表現のちがいやよさを説明する。	植物の持つ美しさに気づき、自分なりの表現をしようとする。① 植物の観察を通して、形や色の特徴を考えて、自分なりに表現に生かそうとする。② 植物を観察し、形や色の特徴を考え、自分なりに工夫して表現しようとする。③ 自他の表現のよさを味わおうとする。④	観察 作品発表 自己評価
6	文字の魅力と レタリング	基本的な書体の特徴を知り、明朝体で氏名を描くことを学ぶ。自分の思いや伝えたい内容が相手に分かりやすく印象に残るよう、文字や形や色彩、構成などを工夫して表現する。(A2、A3、B鑑)	基本的な書体の特徴や活用を説明する。	文字の形の美しさやメッセージに興味を持ち、レタリングする。① 伝達するのに効果的な文字の形や構成を工夫する。② 基本的な文字をもとに、効果的に伝達する文字をレタリングし、まとめている。③ 基本的な文字の美しさや視覚的なメッセージを見つけている。④	観察 スケッチブック 作品 自己評価
7	楽しく伝える	見たり使ったりする人の立場や気持ちを考えデザインに表すことを通して、それらは豊かなコミュニケーションを生み出すことを学ぶ。(A2、A3、B鑑)	伝えることを、どんな意図や方法で表現するか説明する。	楽しく伝える表現に関心を持ち、主体的に表現する① 感性や想像力を働かせて、表現の構想を練る。② 造形感覚を働かせ、表現方法を身に付け、創意工夫して表現している。③ 楽しく伝える表現の造形的なよさや美、作者の意図や表現の工夫などを感じ取っている。④	観察 ワークシート 作品 相互評価 自己評価
9	色彩の発見 (色の三要素と性質)	色の三要素と性質の基本を知り、それを生かして平面構成する。(A2、A3、B鑑)	身近な色彩について考え、互いに説明できる。	身の回りの色に興味を持ち、色の性質や感情の関係を理解しようとする。① 暮らしの中から色の性質や感情の関係を発見することができる。② 色の三要素や性質、色の感情などについて、体験を通して味わい理解することができる。③ 文化や生活に息づく色の魅力を味わうことができる。④	観察 ワークシート ペーパーテスト
10	偶然の効果を 生かして (モダンテクニック)	基本的なモダンテクニックを理解し、イメージを広げて、その技法や偶然を生かして表現する。(A2、A3、B鑑)	偶然を生かした手法の方法を互いに説明できる。	偶然がつくり出す不思議な形や色彩、地肌の面白さなどを感じ取ろうとしたり、材料や用具の新たな生かし方を工夫しようとする。① 偶然性や新たな表現方法から発想し、作品として構想している。② 積極的にモダンテクニック等の手法を試み、それらの手法を手掛かりにして、それらの手法を手がかりにして、自分なりの作品にまとめている。③ 作品を鑑賞し、自分のイメージを生かし、偶然がつくり出す不思議な形や色彩、地肌の面白さを感じ取ることができる。④	観察 ワークシート 作品 自己評価 相互評価
11					
12	技法を生かした 構成の魅力	自然物を単純化して、構成美の要素を生かして平面にデザインする。(A2、A3、B鑑)	作品に活用されている構成美の要素を説明できる。	技法を生かした視覚的な構成に興味を持ち、積極的に表現する。① いろいろな構成を考え、工夫しイメージを練っている。② テーマに合わせて効果的な構成を表現している。③ 友達の作品の表現の違いやねらいを感じ取り、他者の作品のよさを見つけている。④	観察 ワークシート 作品 自己評価
1	カレンダーをつくる	誕生月のイメージを考えて図案をデザインし、日付や曜日の文字をレイアウトする。(A2、A3、B鑑)	柔軟な発想で誕生月のイメージを言葉で考え、発表する。	コンピュータの活用に興味を持ち、グラフィック的な表現に意欲的に挑戦する。① 柔軟に思考しイメージを拡げることができる。② 誕生月に相応しい方法を創意工夫して表現する。③ 自他の表現方法のよさやちがいに気づき、味わう。④	観察 ワークシート 作品 相互評価

第2学年美術科年間指導計画

(研究課題)「生徒の視点を生かした課題設定を通して」

(学年目標)「楽しい美術の活動を通して、コミュニケーションを豊かにし、創造的な表現能力と鑑賞能力を伸ばす」

月	題材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動	評価規準	評価方法
6	4 身近なものを 見つめて描く	基本的な形や明暗、質感を工夫して表現する。（A1、A3、B鑑）	素描の要素を説明する。	素描に興味を持ち、意欲的に取り組む。① 構図やどを考える。対象の持つ形や明暗、質感の表現方法を工夫して表現する。③ 素描の要素を客観的に鑑賞する。	観察 作品 テスト 自己評価
	5 言葉や材料からイメージを広げて作る	言葉や材料から発想し、手作りのものをつくり出す（A2、A3、B鑑）	言葉によるイメージマップで考える	素材のおもしろさに興味を持つことができる。① 言葉や素材から発想をもとに形を試行錯誤しながら、いろいろ考えることができる。② 主題に則し、素材を生かしながら工夫し、楽しく表現できる。③ 友だちの作品を評価したり、自他の表現を振り返ることができる。④	観察 スケッチブック 作品 自己評価
	7 ルネッサンスの美術	ルネサンスの美術や作家について学び、現代との結びつきを考える（B鑑）	ルネサンスの作家やその時代の特徴を互いに言葉で考える	西洋の美術の歴史的な流れや、ルネサンスの美術に興味を持ち、意欲的に学習する。① 時代的背景を考えてルネサンスの美術をまとめる。② ルネサンスの美術に即した模写を工夫して制作することができる。③ それぞれの作家の考え方や生き方に共感を持ち、そのよさを鑑賞することができる。④ 民族や時代を超えて優れた才能や人間性に触れ、味わうことができる。④	観察 ワークシート 作品 自己評価 ペーパーテスト
	名画を遊ぶ	名画やその作家について理解を深め、新たなイメージの作品をつくり出す。（A1、A3、B鑑）	名画の特徴的な表現方法を説明できる	名画やその作家、時代に興味をもち、意欲的に制作する。① 名画をもとにユーモアやウィットに富んだ発想をし、効果的な構図や構成を自分なりに工夫する。② 名画をもとに効果的な表現方法で、自分なりに名画をつくり、表現する。③ 作家や時代性について理解する。④ 多様な表現を認め、自他の作品のよさを味わう。④	観察 ワークシート 作品 相互評価 自己評価
10	9 科学的に見つめて作る	科学的に考えて、自分のイメージを拡げて、創造的なものをつくり出す（A2、A3、B鑑）	自分のイメージを言葉で拡げる	素材の感触や、造形上の効果を味わい、音を出す造形の楽しさを味わおうとすることができる。① 材料からの発想をもとに色や形、音の出る仕組みを豊かに構想できる。② 制作のプロセスを理解し、表現上の特徴と音の出る仕組みを理解して楽しく制作することができる。③ 素材の持つ感触や造形上の効果や音色を感じ取ることができるとともに、他の作品のよさを味わうことができる。④	観察 ワークシート 作品 自己評価 相互評価 ペーパーテスト
	11 材料にいのちを	材料からイメージし、特徴を生かした作品をつくる（A2、A3、B鑑）	発想をイメージ化して言葉で考える	身近なものの形や材料に興味がわき、そこから新しいイメージを生み出そうとする。① 身近なものの形や材料からイメージし、新たないのちを作品に吹き込むことができる。② ある形から新しいイメージを広げ、素材の特徴を生かしながら、自分らしい新しい作品としてまとめることができる。③ 作家や友達がつくった作品を鑑賞し、そこに込められた思いを理解する。・自他の作品の工夫を理解し、そのよさを大切にできる。④	観察 ワークシート 作品 自己評価 相互評価
1	「伝える」をつくる ーアニメーション	伝えようとする目的や内容をもとに、アニメーションで表現する（A2、A3、B鑑）	つくった意図を説明する	動画に興味を持ち、意欲的に取り組もうとする。① 伝えようとする目的や内容をもとにして、ストーリーや動きなどの構想を練る。② ソフトの活用方法を工夫し、ユーモアやウィットのある独自なものにしようとする。③ 視覚伝達の楽しさを仲間と共有し、動きや色や形の造形的な効果を生かして表現することができる。③ メッセージが他者に効果的に伝わる方法を試行錯誤しながら、制作することができる。③ 自他の作品を鑑賞し、目的をふまえてそのよさを味わう。④	観察 相互評価 ワークシート 作品 自己評価

2						
	3	文化遺産を守る	普遍的な価値を持つ文化遺産を次の世代へ残す役割について理解し、その保存や修復について学ぶ。(B鑑)	文化遺産を守る役割を説明する	世界遺産や文化財に関心を寄せ、保存や修復に興味を持つ。① 保存や修復について理解し、その方法を考える。③ 保存や修復について理解し、	観察 ワーク シート 自己評価
		2年生のまとめ	1年間の美術の制作や活動を振り返り、まとめをする。(B鑑)	1年間の振り返りを発表する	自他の作品のよさに関心を寄せることができる。① 1年間をふり返り、自他の作品の表現意図を理解し、作品のよさや違いを見つけることができる。④	観察 ワーク シート

第3学年美術科年間指導計画

(研究課題)「生徒の視点を生かした課題設定を通して」
 (学年目標)「楽しい美術の活動を通して、豊かに発想力や独創的な表現能力、鑑賞能力を高める。」

月	題材名	学習目標（学習指導要領との対応）	言語活動	評価規準	評価方法
4	だまされる楽しさ —錯覚を利用した不思議な世界—	錯視や錯覚による不思議な世界に興味を持ち、透視図法や投影図法を用いるなどして、不思議な世界をつくり出す。 (A1、A3、B鑑)	錯視の楽しさを相互に言葉で伝える	想像を広げ表現することに関心を持つ。① 体験や夢、想像や感情などの心の世界などを基に、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。② 感性や造形感覚などを働かせて、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、創造的に表現している。③ 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わっている。④	スケッチ 観察 自己評価
5					
6	素材を生かしてつくる	多様な素材を生かして、組み合わせ、身の回りで使用できるものを表現する	いろいろな素材の生かし方を言葉で相互に考える	いろいろな素材のおもしろさに興味を持つことができる。① 素材を生かした形などを試行錯誤しながら、多様に考えることができる。② 自分で主題を設定し、素材を生かしながら工夫した表現ができたか。③ 自他の作品の素材を生かした表現のよさを味わい、認めることができたか。④	観察 ワークシート 作品 自己評価
7	ピカソと現代美術	ピカソの作品や時代的な特性について理解を深め、現代とのつながりについて考える	作者の作品や時代の感想を説明する	ピカソやその作品に関心を寄せる。① ピカソやその時代について理解し、世界平和や現代とのつながりについて考える。④	観察 ワークシート 自己評価 ペーパーテスト
9	箱の中の不思議な世界	素材を生かして、自分のイメージから箱の中に不思議な世界を表現する (A2、A3、B鑑)	イメージマップや自分の世界を言葉で表現する	いろいろな素材や形の特性やおもしろさに興味を持つことができる。① 素材を生かした形などを試行錯誤しながら、多様に考えることができる。② 自分で主題を設定し、素材を生かしながら工夫した表現ができたか。制作の主題にそって、試行錯誤しながら制作し、独自の表現でまとめることができる。③ 自他の作品の表現の違いやねらいを感じ取り、自他の作よさをいろいろな視点から見つけている。④	観察 ワークシート 作品 自己評価
10					
11					
12	タイムメッセージ (美術と異文化理解)	それぞれの国や地方の多様な美術文化を理解し、作品を通して、相互理解を図る (B鑑)	世界の文化交流を言葉で考える	異なる風土や文化の中から生まれる表現の多様性に関心を持つ。① 様々な国や地域の作品から美術の多様性を考えることができる。② それぞれの国や地域の作品の特色を生かして表現することができる。③ 様々な国や地域の作品を鑑賞し、異文化間の相互理解の大切さを知ることができる。④	観察 ワークシート 相互評価 自己評価 作品
1	卒業メモリアルをつくる	テーマから抽象的な形を考えて、卒業記念に相応しい七宝焼きをつくる (A2、A3、B鑑)	卒業の感謝の気持ちを文書でも表現する	先輩の作品に関心を持ち、卒業制作のイメージを広げ、制作に意欲を持っている。① テーマを考え、柔軟な発想をして、工夫した構成を考えることができる。② テーマから柔軟な発想をして、試行錯誤しながら下図を描くことができる。② 色や形・素材・技法の効果を考えて、工夫した七宝制作ができる。③ みんなの成果や作品の造形的な効果を味わい、つくることのよさを感じている。④	観察 ワークシート 作品 相互評価 自己評価
2					
3	3年間のまとめ	3年間の美術の制作や活動を振り返り、まとめをする。 (B鑑)	3年間の振り返りを発表する	自他の作品のよさに関心を寄せることができる。① 3年間をふり返り、自他の作品の表現意図を理解し、作品のよさや違いを見つけることができる。④	観察 ワークシート

第 1 学年保健体育科年間指導計画

(研究課題)「自らの課題を見つけ解決しようとする生徒の育成」
ーより高い課題を追求できる指導方法を求めてー
(学年目標)○保健体育の学習習慣・規律の確立を図る。
○自己の能力に応じて運動の楽しさや喜びを味わう。
○心と体を一体としてとらえ、健康・安全に留意して運動することができる態度を育てる。

※言語活動を促す内容については、下線部分として表示する。

単元・教材名 (保健)	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		健康・安全への関心・意欲・態度	健康・安全についての思考・判断		健康・安全についての知識・理解	
心身の機能の発達と心の健康	①体のはたらきと発育・発達とは、年齢とともに進み、また、思春期には、内分泌のはたらきによって生殖にかかわる機能が成熟することを理解する。 ②中学生の時期の知的機能や情意機能、社会性の発達の変化を理解するとともに、心身の調和と心の健康について理解する。	・心身の機能の発達や、心の健康などについて、自分の経験や、資料などをもとに、課題を見つけようとしている。 ・心身の機能の発達や、心の健康などについて、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとしている。 ・ <u>心身の機能の発達や、心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自分の意見を発表しようとしている。</u>	・心身の機能の発達や心の健康などについて、自分の知識や経験等をもとに、問題点を見つけることができる。 ・心身の機能の発達や心の健康などについて、資料などを元に予想したり、整理したりすることができる。 ・心身の機能の発達や、心の健康などについて、学習したことを日常生活に当てはめることができる。		・年齢に伴う身体の各器官の発達の傾向や性差、個人差などがあることを知っている。 ・思春期に起こる心身の変化や思春期の生殖機能の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを知っている。 ・心の健康を保つため、心身の調和を保つことの大切さや欲求やストレスに適切に対処する方法を知っている。	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己評価
健康と環境	①体は、環境の変化に対してある程度まで適応できることを理解する。 ②快適で能率のよい生活をおくるための環境条件について理解する。 ③空気や飲料水は、衛生的な基準に適合させる必要があることを理解する。 ④廃棄物の種類や処理のしかたについて理解する。	・健康と環境とのかわりについて資料を見たり、自分の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとしている。 ・教師や仲間と共に活動したり、教科書などの資料を読んだりして課題の解決に取り組み、課題について調べようとしている。 ・教科書などの資料を元に、 <u>自分の考えや意見をまとめ、発表しようとしている。</u>	・健康と環境について、自分の日常生活等を振り返り、問題点を見つけることができる。 ・健康と環境について、自分の経験や資料などを元に、予想したり、整理したりすることができる。 ・健康と環境について学習したことを日常生活に当てはめることができる。		・人間の健康と環境と深くかわりあって成立しており、身体と環境に対する適応能力があることを知っている。 ・人間の生命の維持と健康と密接なかわりのある空気・飲料水の条件について知っている。 ・心身の健康を保持増進するため、生活に伴って生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があることを知っている。	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己評価
(体育理論)	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		運動の関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解	
運動やスポーツの多様性	①運動やスポーツは多様であることを理解できるようにする。	・運動やスポーツが多様であることをについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツが多様であることをについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。		・ <u>運動やスポーツの必要性和楽しさについて、言ったり書き出したりしている。</u> ・ <u>運動やスポーツへの多様なかわり方について、言ったり書き出したりしている。</u> ・ <u>運動やスポーツの学び型について、言ったり書き出したりしている。</u>	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己評価
(体育) 体づくり運動	①体まぐしの運動や体力を高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・体まぐしのねらいである「心と体の関係に気付く」、「体の調子を整える」、「仲間と交流する」ことを踏まえて、課題に応じた活動を選んでいる。 ・関節や筋肉の働きに合った合理的な運動の行い方を選んでいる。 ・狙いや体力に応じて効率よく高める運動例やバランスよく高める運動例の組み合わせを見付けている。 ・仲間と協力する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。		・ <u>体づくり運動の運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</u> ・体づくり運動の行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・運動の計画の立て方について、 <u>理解したことを言ったり書き出したりしている。</u>	体育実技全般に授業後「体育学習カード」に記入させ、言語活動の評価を付する。 ・観察 ・ワークシート ・生徒の自己評価
器械運動 跳び箱運動・マット運動	①跳び箱運動・マット運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。	・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よい演技を認めようとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・健康・安全に留意している。	・学習する技の合理的な動き方のポイントを見付けている。 ・課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した技から「はじめなかーおわり」などの構成に適した技の組み合わせ方を見付けている。 ・ <u>仲間と学習する場面で、仲間のよい動きなどを指摘している。</u> ・仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。	・マット運動では、回転系や巧技系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。	・器械運動の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・器械運動に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価

単元・教材名	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		運動の関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解	
(体育) 陸上競技 短距離走・リレー・長距離走	①自己の能力に適した課題をもって短距離走・リレー・長距離走の運動を行い、その技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができるようにする。 ②互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また練習場などの安全を確かめ健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。 ③自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。	・陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・技術を身に付けるため運動の行い方のポイントを見付けている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と努力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習や競争場面に当てはめている。	・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることができる。 ・長距離走では、ペースを守り一定の距離を走ることができる。	・陸上競技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・陸上競技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
水泳 クロール・平泳ぎ	①クロール・平泳ぎの運動について、記録に向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。 ②水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 ③水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に留意している。	・泳法を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面に当てはめている。	・クロールでは、手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。	・水泳の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
球技 (ネット型) バレーボール (ゴール型) サッカー (ベースボール型) ソフトボール	①ネット型・ゴール型の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 ②球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・ボール操作やボール持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・自己やチームの課題を見付けている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。	・ゴール型では、ゴール前での攻方を展開するためのボール操作と空間に走り込むなどの動きができる。 ・ネット型では、空いた場所をめぐる攻方を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 ・ベースボール型では、攻方を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。	・球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・ゲーム分析表 ・グループノート ・生徒の自己評価
武道 剣道	①剣道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。 ②剣道では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻方を展開することができる。	・剣道の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。	・技を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面に当てはめている。	・剣道では、打ったり受けたりするなどの攻方を展開するための相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。	・武道の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・ <u>武道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</u> ・技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・武道に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の行い方について学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
ダンス 現代的なリズムのダンス	①ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通した交流ができるようにする。 ②現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。 ③ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 ④ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よさを認め合おうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発展の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。	・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。	・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。 ・表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・ゲーム分析表 ・グループノート ・生徒の自己評価

第 2 学年保健体育科年間指導計画

- (研究課題)「自らの課題を見つけ解決しようとする生徒の育成」
ーより高い課題を追求できる指導方法を求めてー
- (学年目標) ○仲間とともに活動の仕方を考えたり、工夫することによって、運動の課題の解決を図る。
○運動技能を高め、勝敗を競ったり、仲間と協力して課題を解決した喜びなどを実感させる。
○傷害の防止に努め、危険を予測したり、安全に運動を行う態度を培う。

※言語活動を促す内容については、下線部分として表示する。

単元・教材名 (保健)	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		健康・安全への関心・意欲・態度	健康・安全についての思考・判断		健康・安全についての知識・理解	
健康と環境	①体は、環境の変化に対してある程度まで適応できることを理解する。 ②快適で能率のよい生活をおくるための環境条件について理解する。 ③空気や飲料水は、衛生的な基準に適合させる必要があることを理解する。 ④廃棄物の種類や処理のしかたについて理解する。	・健康と環境とのかかわりについて資料を見たり、自分の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとしている。 ・教師や仲間と共に取り組んだり、教科書などの資料を読んだりして課題の解決に取り組む課題について調べようとしている。 ・教科書などの資料を元に、自分の考えや意見をまとめ、発表しようとしている。	・健康と環境について、自分の日常生活等を振り返り、問題点を見つけることができる。 ・健康と環境について、自分の経験や資料などを元に、予想したり、整理したりすることができる。 ・健康と環境について学習したことを日常生活に当てはめることができる。		・人間の健康は環境と深くかかわって成立しており、身体は環境に対する適応能力があることを知っている。 ・人間の生命の維持や健康に密接な関係のある空気・飲料水の条件について知っている。 ・心身の健康を保持増進するため、生活に伴って生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があることを知っている。	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己 評価
傷害の防止	①交通事故や自然災害による傷害は、人的要因や環境要因がかわって発生し、その傷害の多くは、安全な行動、環境の整備によって防止できることを理解する。 ②応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防ぐことができることを理解する。	・傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・傷害の防止について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ・傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。		・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・交通事故などによる傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・応急処置について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己 評価
(体育理論)	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		運動の関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解	
スポーツの効果と安全	①運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	・運動やスポーツの意義や効果などについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの) 活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツの意義や効果などについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。		・運動やスポーツが心身に及ぼす効果について、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、言ったり、書き出したりしている。 ・安全な運動やスポーツの行い方について、言ったり書き出したりしている。	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己 評価
(体育) 体づくり運動	①体づくりの運動や体力を高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・体づくりのねらいである「心と体の関係に気付く」、「体の調子を整える」、仲間と交流すること」を踏まえて、課題に応じた活動を選んでいる。 ・関節や筋肉の働きに合った合理的な運動の行い方を選んでいる。 ・狙いや体力に応じて効率よく高める運動例やバランスよく高める運動例の組み合わせを見付けている。 ・仲間と協力する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。		・体づくり運動の運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・体づくり運動の行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・運動の計画の立て方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	体育実技全般に授業後『体育学習カード』に記入させ、言語活動の評価に付する。 ・観察 ・ワークシート ・生徒の自己 評価
器械運動 鉄棒・平均台	①鉄棒・平均台について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。	・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よい演技を認めようとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・健康・安全に留意している。	・学習する技の合理的な動き方のポイントを見付けている。 ・課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した技から「はじめ～なか～おわり」などの構成に適した技の組み合わせ方を見付けている。 ・仲間と学習する場面で、仲間のよい動きなどを指摘している。 ・仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。	・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 ・平均台運動では、体操系やバランス系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。	・器械運動の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・器械運動に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己 評価

単元・教材名	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		運動の関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解	
(体育) 陸上競技 ハードル走・走り高跳び・走幅跳	①ハードル走、走り高跳び、走幅跳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ②陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 ③陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習や競争場面に当てはめている。	・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを超すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。	・陸上競技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・陸上競技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
水泳 背泳ぎ・バタフライ	①背泳ぎ・バタフライの運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。 ②水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 ③水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に留意している。	・泳法を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面に当てはめている。	・背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・水泳の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
球技 (ネット型) 卓球・バドミントン (ゴール型) バスケットボール(ベースボール型) ソフトボール	①ネット型・ゴール型の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 ②球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・ボール操作やボール持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・自己やチームの課題を見付けている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。	・ゴール型では、ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走り込むなどの動きができる。 ・ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 ・ベースボール型では、攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。	・球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・ゲーム分析表 ・グループノート ・生徒の自己評価
武道 剣道	①剣道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。 ②剣道では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開することができる。	・剣道の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。	・技を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面に当てはめている。	・剣道では、打ったり受けたりするなどの攻防を展開するための相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。	・武道の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・ <u>武道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</u> ・ <u>技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</u> ・武道に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の行い方について学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
ダンス 創作ダンス	①ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなと踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通した交流ができるようにする。 ②ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 ④ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よさを認め合おうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発展の場で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。	・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊るための動きができる。	・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。 ・表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・ゲーム分析表 ・グループノート ・生徒の自己評価

第 3 学年保健体育科年間指導計画

(研究課題)「自らの課題を見つけ解決しようとする生徒の育成」
ーより高い課題を追求できる指導方法を求めてー
(学年目標)○運動における競争や共同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。
○生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための基礎を培う。

※言語活動を促す内容については、下線部分として表示する。

単元・教材名 (保健)	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		健康・安全への関心・意欲・態度	健康・安全についての思考・判断		健康・安全についての知識・理解	
健康な生活と病気の予防	①健康な生活と病気の予防について理解を深めることができる。	・健康な生活と病気の予防について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・健康な生活と病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・健康な生活と病気の予防について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ・健康な生活と病気の予防について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。		・健康の成り立ちと病気の発生要因について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・生活行動・生活習慣と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・感染症の予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・保健・医療機関や医薬品の有効利用について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・個人の健康を守る社会の取り組みについて理解したことを言ったり、書き出したりしている。	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己評価
(体育理論)	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		運動の関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解	
文化としてのスポーツ	①文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。	・文化としてのスポーツの意義について、(意見を交換したり、自分の考えを発表したりするなどの) 活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	・文化としてのスポーツの意義について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明している。		・現代生活におけるスポーツの文化的意義について、言ったり書き出したりしている。 ・国際的なスポーツ大会などが果たす文化的意義や役割について、言ったり書き出したりしている。 ・人々を結びつけるスポーツの文化的な働きについて、言ったり書き出したりしている。	・観察 ・ワークシート ・生徒の自己評価
(体育) 体づくり運動	①体づくりの運動や体力を高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・体づくりのねらいである「心と体の関係に気付く」、「体の調子を整える」、仲間と交流すること」を踏まえて、課題に応じた活動を選んでいる。 ・関節や筋肉の働きに合った合理的な運動の行い方を選んでいる。 ・狙いや体力に応じて効率よく高める運動例やバランスよく高める運動例の組み合わせを見付けている。 ・仲間と協力する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。		・体づくり運動の運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・体づくり運動の行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・運動の計画の立て方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	体育実技全般に授業後『体育学習カード』に記入させ、言語活動の評価を付する。 ・観察 ・ワークシート ・生徒の自己評価
球技 (ゴール型) バasketボール・サッカーから1選択 (ネット型) バレーボール・バドミントン・卓球・テニスから1選択	①ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への進入などから攻防を展開することができる。 ②ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレーを大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・互いに助け合い 教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ・仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切な関わり方を見付けている。 ・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・球技を継続して楽しむための自己に合った関わり方を見付けている。	・ゴール型では、ゲーム前への進入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 ・ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。	・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・ゲーム分析表 ・グループノート ・生徒の自己評価

単元・教材名	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		運動の関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運 動 の 技 能	運動についての知識・理解	
(領域間選択) 水泳・陸上競技から1選択 (水泳) クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ(個人メドレー)	①それぞれの運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。 ②水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 ③水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・互いに助け合い、教え合おうとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保している。	・選択した泳法について、自己の改善すべきポイントを見付けている。 ・自己の課題に応じて、適切な練習方法を選んでいる。 ・仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・水泳を継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。	・クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。	・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・水泳に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
	(陸上競技) 短距離走・リレー・長距離走・ハードル走・走り高跳び・走幅跳	①それぞれの運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 ②陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 ③技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自分の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・自己の課題に応じた運動の行い方の改善すべきポイントを見付けている。 ・自己の課題に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択に関して指摘している。 ・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・陸上競技を継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。	・短距離走・リレーでは、中間層走へのつながりを滑らかにするなどして速く走ることができる。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。	・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・陸上競技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
	器械運動・ダンスから1選択 (器械運動) 跳び箱運動・マット運動・鉄棒・平均台	①それぞれの運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。 ②器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 ③器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・学習する技の合理的な動き方のポイントを見付けている。 ・課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した技から「はじめなかーおわり」などの構成に適した技の組み合わせ方を見付けている。 ・仲間と学習する場面で、仲間のよい動きなどを指摘している。	・マット運動では、回転系や巧技系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 ・平均台運動では、体操系やバランス系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。	・器械運動の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・器械運動に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価
(ダンス) 現代的なリズムのダンス・創作ダンス	①ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。 ②現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。 ③ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 ④ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よさを認め合おうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。 ・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発展の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。	・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表現したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊るための動きができる。	・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。 ・表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・ゲーム分析表 ・グループノート ・生徒の自己評価

単元・教材名	学 習 目 標	評 価 規 準				評価方法
		運動の関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運 動 の 技 能	運動についての知識・理解	
ソフトボール・剣道から1選択 (球技) (ベースボール型) ソフトボール	①ソフトボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 ②ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開する。	・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。	・ボール操作やボール持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・自己やチームの課題を見付けている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。	・ベースボール型では、攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。	・球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。	・観察 ・ゲーム分析表 ・グループノート ・生徒の自己評価
(武道) 剣道	①剣道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。 ②剣道では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開することができる。	・剣道の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。	・技を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身に付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面に当てはめている。	・剣道では、打ったり受けたりするなどの攻防を展開するための相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。	・武道の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 ・武道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・武道に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の行い方について学習した具体例を挙げている。	・観察 ・個人カード ・生徒の自己評価

保健体育科 年間指導計画

学期		1 学期												2 学期												3 学期										
月		4 月			5 月			6 月			7 月			9 月			10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月				
週		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第 1 学年	1				理論③スポーツの多様性			保健⑤心身の発達と心の健康								体 つ く り ③				保健⑥心身の発達と心の健康・健康と環境												武道⑨ 剣道 球技：ベース ボール型⑨ ソフトボール				
	2	体づくり⑦		陸上競技－ 1 ⑧ 短距離・リレー			球技：ネット型⑧ バレーボール				水泳⑧ クロール・平泳ぎ			器械運動⑩			陸上競技－ 2 ⑩ 長距離走						球技:ゴール型 ⑩			ダンス⑨現代的な リズムのダンス										
	体力テスト		器械運動⑩											陸上競技－ 2 ⑩ 長距離走						球技:ゴール型 ⑩			ダンス⑨現代的な リズムのダンス													
	3																						跳び箱・マット			サッカー										
第 2 学年	1			理論③スポーツの課題と安全			保健⑦健康と環境									体 つ く り ③	保健⑫傷害と防止													武道⑨ 剣道 球技：ベース ボール型⑨ ソフトボール						
	2	体づくり⑦		陸上競技－ 3 ⑧ ハードル走			球技：ネット型⑧卓 球・バドミントン				水泳⑧ バタフライ・背泳ぎ			器械運動⑧			陸上競技－ 4 ⑧			球技：ゴール型⑧				ダンス⑨創作ダン ス												
	集運動・新体力テス ト		器械運動⑧											陸上競技－ 4 ⑧			球技：ゴール型⑧				ダンス⑨創作ダン ス															
	3																						鉄棒・平均台			走高跳・走幅跳			バスケットボール							
第 3 学年	1			理論③文化としてのスポーツ			保健⑦健康な生活と病気の予防									体 つ く り ④			保健⑪健康な生活と病気の予防											球技：ネット型⑨バレー ボール・バドミントン・ 卓球・テニス 選択Ⅱ⑬ (球技：ベースボール型、 武 道) ソフトボール・剣道						
	2	体づくり⑦集運動 ・新体力テスト		球技：ゴール型⑩バスケットボール・サッカー			選択Ⅰ－ 1 ⑧ 水泳・陸上競技			選択Ⅰ－ 2 ㉔ 器械運動・ダンス								球技：ネット型⑨バレー ボール・バドミントン・ 卓球・テニス																		
			選択Ⅰ－ 2 ㉔ 器械運動・ダンス								球技：ネット型⑨バレー ボール・バドミントン・ 卓球・テニス																									
	3																																			

第1学年 技術・家庭科 技術分野 年間指導計画

- (研究課題)「ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し判断する能力と態度を育てる。」
- (学年目標)「ものづくり活動の中で、基礎的な材料加工技術を身につけ、生活を改善するために必要な機能をもった作品の製作を行い、技術を適切に評価し判断する能力と態度を養う。」

月	単元名	指導項目	指導要領	学習目標	言語活動	評価規準	評価方法
4	ガイダンス	オリエンテーション	A（1）	・「技術」とは何か、身の回りにある「技術」を探し、理解する。 ・3学年間の技術の学習内容を知る。		・環境保全や人間生活の向上のために、技術をどのように活用すべきか考えようとしている。 ・これからの技術のあり方について考えようとしている。	ワークシート 自己評価シート 活動観察
		生活や産業の中で利用されている技術	A（1）	・生活の中で技術の果たす役割について調べ、考える。 ・技術と環境・エネルギー・資源との関係に関する知識を身につけ、技術のあり方について理解する。		・材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報の4内容が技術・家庭科技術分野において学習することであることを説明できる。	ワークシート 自己評価シート 活動観察
5	先行導入題材	材料の特徴と使用方法（木材・金属・プラスチック）	A（2）	・身の回りの製品に使われている材料について考える。 ・各材料に関する実験を行う中で、安全に配慮する。また、実験結果を予想したり、実験のやり方を見直すことができ、結果をまとめることができる。 ・製品の設計時に必要な材料の性質や機能に関して理解する。	・実験などの班活動の中で、自分の役割分担を理解し、安全かつ効率的にコミュニケーションをとりながら作業を行う。	(関) 木材、金属、プラスチックなどの、材料の特徴について興味をもって調べようとしている。 (工) 繊維方向に違いによって強度が違ふことの理由や、木材が乾燥すると変形する理由を考え、工夫している。 (技) 安全に配慮しながら実験を行うことができる。 (知) 製品に用いる材料の特徴と使用方法に関する知識を身につけている。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト
6		材料の加工（木材・金属・プラスチック）	A（3）	・加工技術に関心をもち、目的や条件に応じて、工具や機器を適切に活用する。 ・材料の特徴と加工の目的に応じて、工具の仕組みを生かした使い方を工夫する。 ・2段ラックの製作に対して適切な加工方法を選択する。 ・加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みについて理解する。	・班の中での役割分担や工作機械の使用をする中でコミュニケーションをとりながら協力して作業する。	(関) けがき、切断、穴あけの加工に意欲的に取り組んでいる。 (工) 正確に加工するために、材料を固定したり、姿勢や工具の持ち方を工夫している。 (技) 行う加工に応じて工具を使った安全な使用ができる。 (知) 工具の特徴を説明でき、作業方法のポイントを説明することができる。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 製作品
7		材料の加工（組立て・仕上げ）	A（3）	・効率的な組立てと仕上げに対して関心を持ち、作業効率が上がるように組立てや仕上げの方法を工夫する。 ・組立てや仕上げに関する知識を身につけ、工具の仕組みについて理解し、自分が製作する2段ラックの目的に合った仕上げができる。	・製作品や製作活動を振り返って、自己評価することができる。製作品の活用レポートを作成し、発表することができる。	(関) 仮組立において問題点を見つけ、改善した後に組立て、塗装を丁寧に行おうとしている。 (工) 組立ての順序を考え工夫し、木片に研磨紙を巻くなどの作業に対する効率を考えることができる。 (技) 接合方法にしたがい、正確に材料を接合し、やすりがけや塗装を適切に行うことができる。 (知) 接合方法の特徴と、作業の方法および工具を理解し、作業の行いやすさを考えて、組立て順序を説明できる。 (知) 塗装による仕上げの利点について説明できる。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 実技テスト 製作品
9 10		製品の構想と設計（機能と構造、表示方法、製図）	A（3）	・身の回りの生活を向上させるための製作品を構想することに関心をもち、製作するために必要なことを図で表示する。 ・使用目的や使用条件に即した製作品を構想し、その設計について工夫し創造する。 ・目的とする製作品を設計することができる。 ・製品の構想の表示方法に関する知識を身につけ、設計時に必要な材料の性質や機能・	・自分の設計した製作品の特徴や工夫を説明し、構想を相互評価することができる。	(関) 製図の役割を考え、自分の構想の中の不都合な点を修正して、最終的な構想をまとめ、図に表示しようとしている。また、製作に必要な作業の手順を考え、部品表・工程表を仕上げようとしている。 (工) 製作品の使用目的や材料の特徴にあわせて機能や構造を工夫している。 (技) 製作品の使用目的に適した材料を	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 実技テスト 製図作品

11 12	自由製作題材			構造について理解する。		選択し、構想を等角図やキャビネット図によって表示することができる。 (知) 製作品の構造をじょうぶにする方法や材料の特徴と利用方法、製作品の設計に必要な手順や構想の表示に関する知識を身につけている。	
		製作品の製作(材料の加工)	A(3)	- 自分の設計した製品の目的や条件に応じて、材料の加工において工具や機器を適切に活用しようとしている。 - 正しい部品加工の方法を理解し、工具の仕組みをいかした使い方を工夫している。 - 製作の目的と製作品に用いる材料に適した加工を行うことができる。 - 加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みについて理解している。	班の中での役割分担や工作機械の使用をする中でコミュニケーションをとりながら協力して作業する。	(関) 製作に使用する工具や機器の種類や用途、その仕組みや使用方法を調べ、活用しようとしている。 (工) 切削加工を行うために、工具の選択を工夫し、のこぎりであれば切断面を確認しながら、のこぎりびきの方法を工夫している。 (技) 加工の目的や条件に応じて、より適切な工具を選択し、その使い方を工夫している。また、さしがねや直角定規を使い、部品検査ができる。 (知) 加工の目的や材料に適した加工法、工具の仕組みと効果的な使用方法との関係、製作品に適した加工工程と加工技術に関する知識を身につけている。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 実技テスト 製作品
		製作品の製作(組立て・仕上げ)	A(3)	- 強度や安全面から材料の使い方を考えようとしている。 - 作業効率が上がるように組立てや仕上げの方法を工夫している。 - 材料や目的に合った組立てと仕上げができる。 - 組立てや仕上げに関する知識を身につけ、製品に合った作業を理解している。	班の中での役割分担や工作機械の使用をする中でコミュニケーションをとりながら協力して作業する。	(関) いろいろな接合方法を体験し、その特徴をまとめ、自分の製作品の検査を慎重に行おうとしている。 (工) 自分の製作品に適した接合方法を考え、工具のしくみをいかした使い方を工夫している。 (技) 釘や木ねじと接着剤を使って、材料を傷つけずに部品の接合、製作品に適した塗装や表面処理の方法を選択し、製品を仕上げることができる。 (知) 釘接合や木ねじ接合の違いやその方法、組立てる途中の検査の目的と、それ以後の調整や修正の方法を説明できる。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 製作品
3		まとめ	A(3)	自分の作品の評価を行い、レポートによる発表資料を作成し、効果的に発表することができる。	製作品や製作活動を振り返って、自己評価することができる。製作品を紹介する発表活動の中で意見交換をすることができる。	生活を改善するための製作品の製作という目的をどのように達成することができるか、客観的に判断し、レポートにまとめ、他者に正確に伝えることができる。	製作品評価シート 発表資料

第2学年 技術・家庭科 技術分野 年間指導計画

- (研究課題)「ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し判断する能力と態度を育てる。」
- (学年目標)「コンピュータ等の基本的な操作方法を身につけ、情報の安全な活用方法を身につけるとともに、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し判断する能力と態度を養う。」

月	単元名	指導項目	指導要領	学習目標	言語活動	評価規準	評価方法
4	応用ソフトウェアを使って情報をまとめ発表しよう	コンピュータの仕組みと情報処理	D (1)	・コンピュータやソフトウェアの活用に意欲的に取り組む。 ・コンピュータやソフトウェアの操作を工夫して行う。 ・コンピュータやその周辺機器、ソフトウェアに関して違いを説明できる。	・コンピュータやソフトウェアの操作方法について相互に教えあいながら活動する。	(関) 身の回りのコンピュータに関心をもち、ハードウェアとソフトウェアの違いについて調べ、課題を解決するために効果的に利用しようとしている。 (工) 情報の管理を工夫しコンピュータの操作の手順を考えることができる。 (技) 機器の操作、文字の入力を正しく行い、ソフトウェアを用いた基本的な操作ができる。 (知) 各機能・装置の役割について正しく理解し、ハードウェアとソフトウェアの役割について説明できる。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト
5 6		応用ソフトウェアを使う	D (1) (2)	・わかりやすく発表するための資料づくりをする中で、さまざまな情報を効果的にまとめようとしている。 ・表計算処理ソフトやプレゼンテーションソフトの機能をいかし、創意工夫しながら作成する。 ・応用ソフトウェアの基本的な操作法を説明できる。	・エネルギー変換に関する発表資料を、指定された条件のもと作成している。	(関) いろいろな応用ソフトウェアについて関心をもち、その特徴と利用方法を調べ、機能を選び、利用しようとしている。 (工) 作業に応じたソフトウェアを選択することができる。 (工) ソフトウェアの機能を選び情報の内容がわかるように情報の表示方法を考え、表の作成や表現方法を工夫している。 (技) 目的に応じたスライドや表示効果の選択し、表の作成や数値データをもとに、計算処理やグラフの作成ができる。 (知) ソフトウェアの必要性について、例をあげながら説明できる。 (知) 使用するソフトウェアの特徴と使用方法、目的に合った資料内容の加工の方法について説明できる。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 製作品
7		ネットワークのしくみと利用	D (1)	・情報活用能力を身につけようとしている。 ・インターネットを利用して情報を検索することができ、ネットワークやWeb ページの構造や特徴を説明できる。 ・著作権や個人情報の保護の重要性について説明できる。	・情報社会の一員として自身の行動をモラルを踏まえ考えることができる。	(関) 現代社会における情報の有用性と危険性に気づき、情報を適切に活用しようとしている。 (工) 情報通信ネットワークを使って、必要とする情報を収集するために、キーワードの用い方を工夫し、その方法について考えている。 (技) 自らの課題に対して、必要な情報が含まれる Web ページを効率的に検索することができる。 (知) コンピュータネットワークやWeb ページの仕組みを説明できる。 (知) 情報社会の便利さと問題点、不正利用の防止について説明できる。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 実技テスト
9 10	エネルギーの変換を利用した製作品をつくろう	エネルギーの変換と利用	B (1)	・生活に使用されているエネルギーに関心をもち、エネルギーの変換方法やその利用について考えようとしている。 ・エネルギーの変換と利用に関してわかりやすくまとめ、発表することができる。 ・エネルギーの変換方法や、環境とのかかわりに関して説明できる。	・班の中での役割分担や工具の使用をする中でコミュニケーションをとりながら協力して作業する。	(関) 熱、光、風などのエネルギーの変換方法や発電方法の特徴について関心を持つことができる。 (工) 生活の中でのエネルギーの利用について、自分なりの問題意識を持ち、生活の中でのエネルギー利用に関して班の生徒と協力して内容をまとめるこ	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト

11 12						とができる。 (技) 身近な生活場面で、エネルギーを変換・制御し、利用している機器について、どのようなことを行っているか、教科書やハンドブック、インターネット等を使って調べることができる。 (知) 代表的なエネルギーの変換方法の種類や利用方法について理解し、動きを伝えるしくみの目的が説明できる。 (知) 技術の発達と環境問題のかかわりに関して説明できる。	実技テスト
		電 気 機 器 の 安 全 な 使 用 方 法	B (1)	- 電気機器を安全に使用しようとする意識を持ち、その使用方法を考えることができる。 - 電気機器の適切な保守点検ができ、その方法を説明できる。	班の中での役割分担や工具の使用をする中でコミュニケーションをとりながら協力して作業する。	(関) 電気による事故にはどのようなものがあるか調べ、その危険性について関心を持つことができる。 (工) 身近な生活の中での電気による事故を防ぐための工夫ができ、電気機器を安全に使用方法を考え、発表することができる。 (技) 電気による事故が起きないように許容電流の計算をすることができ、テスターを用いて絶縁・導通試験ができる。 (知) 電気による事故の原因を知り、機器の定格表示、電気による事故を防止するしくみ（ヒューズやろう電しゃ断器等）について説明できる。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 実技テスト 製作品
		電 気 エ ネ ル ギ ー を 利 用 し た 製 作 品 の 製 作	B (2)	- 製作の中で各部品や組立ての作業に対して関心を持ち、目的の仕事や動作をさせるために構造や仕組みを考え、製作することができる。 - 製作品におけるエネルギーの変換方法や仕組みについて理解している。	班の中での役割分担や工具の使用をする中でコミュニケーションをとりながら協力して作業する。	(関) エネルギーの変換を利用した製作品を考え、製作を丁寧に行うことができる。 (工) 製作品が目的の動きをしない場合にその原因を追究し、製作品の検討及び修正をしている。 (技) 目的とする働きを想定して製作品の構想をまとめ、製作に必要な材料を準備し、製作品の組み立てや配線ができる。 (技) テスターを用いて電気回路の点検ができる。 (知) 電気エネルギーを変換する電気回路の仕組みや、製作品の作業手順や組み立ての方法などについて理解している。	ワークシート 自己評価シート 班活動シート 活動観察 提出物 期末テスト 製作品
3		まとめ	B (1)	自分の作品の評価を行い、レポートによる発表資料を作成し、効果的に発表することができる。		製作品の目的をどのように達成することができたか、客観的に判断し、レポートにまとめ、他者に正確に伝えることができる。	製作品評価シート 発表資料

第3学年 技術科年間指導計画

(研究課題) 1年生、2年生の研究テーマと同様

(学年目標) 現代社会で利用されている計測制御の仕組みとその活用方法を知るとともに生物育成に関する技術を適切に評価し判断する能力と態度を養う。

月	単元名	教材名	学習目標 (学習指導要領との対応)	言語活動 (学習指導要領との対応)	評価規準	評価方法
10	プログラムによる計測・制御	計測・制御の仕組みを知ろう	計測・制御の仕組みが利用されている例について調べる。	身近な生活の中で計測・制御の仕組みが利用されている例を挙げ発表をする。	身近な生活の中で計測・制御が利用されている例を説明しようとしている。	発言、活動、ワークシート、発表
		計測・制御システムを調べよう	計測・制御システムの基本的な仕組みについて知る。	センサやコンピュータ、アクチュエータなどシステムを構成するものと、その中での情報の流れについて具体的に説明する。	計測・制御システムを構成する要素の機能と役割や流れについての知識を身に付けている。	ワークシート、ノート、レポート、
		プログラムの役割と機能を知ろう	プログラムの役割と機能を知る。 コンピュータに処理をさせるプログラムを作るための基本的な情報処理の手順について知る。	簡単なプログラムの例を挙げ発表をする。 動作の手順を順次、分岐、反復をフローチャートで示してグループで発表会を行う。	コンピュータに処理をさせるプログラムの役割とその機能についての知識を身に付けている。 順次、分岐、反復などの基本的な情報処理の手順と、それぞれの処理の利用例についての知識を身に付けている。	発言、活動、ノート、発表 ワークシート、ペーパーテスト、フローチャート
11	プログラムによる計測・制御	簡単な計測・制御をしよう	計測・制御をする目的や条件を考え、プログラムを作成する。	センサから得られる情報と、そのときに必要な制御の動きとの関係をフローチャートに表し、自分の考えを整理し文章に書く。	計測・制御の目的や条件を明確にし、社会的、環境的および経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果と比較・検討したうえで、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	フローチャート、プログラム
12						
1	生物を育てる技術の特徴	生物を育てる技術とわたしたちの生活	生徒の自由な発想の中から生物を育てる技術を見つけさせる。	何のために生物を育てているのか話し合い、発表する。	生物を育てる技術が私たちの生活とどのようにかかわっているかに興味を持ち、調べようとしている。	アイディア発見シート
		植物を育てる技術を知ろう	植物を育てるための管理技術と環境条件を調整する技術を調べる。	それぞれの生物育成には、どのような条件が必要か要点をまとめて発表する。	実際の生物と関連付けながら、光、大気、温度、水などのいろいろな環境条件が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。	発言、活動、ワークシート、レポート
2	生物を育てる計画・管理と評価	生物の育成計画を立てよう	生物の成長に合わせた育成計画を立てる。	それぞれの育成計画についてグループで意見交換する。	生物の育成に必要な条件を明確にし、環境、経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討したうえで、管理作業などを決定している。	発言、活動、ワークシート、レポート
		生物の成長に合わせた管理作業をしよう	育成する生物の各成長段階において、条件に合わせた、活動ができる。	育成する生物の成長の変化やそれに伴う具体的な対応について図や写真、そして文章でまとめる。	育成する生物の各成長段階における肥料、管理作業、必要な資材、用具、設備などについて、その生物が育つための条件に合わせた、適切な対応ができる。	発表、ノート、レポート、自己評価シート
3	生物を育てる計画・管理と評価	生物を育てる技術の発達と役割を考えよう	作物は、季節や生産国、地域を問わず入手することができる。しかし、育成にかかる温度等の管理、鮮度の保持や輸送等に多くのエネルギーを消費していることを理解させる。	生物を育てる技術が果たしている役割や影響について、環境やエネルギーとも関連させて、具体例を取り上げ説明する。	生物を育てる技術が社会や環境に果たしている役割や影響について理解し、私たちの身近な生活と照らし合わせて考えることができる。	発表、ノート、レポート、相互評価シート

第1学年技術家庭科 家庭分野 年間指導計画

(研究課題)「これからの生活を展望し、社会の変化に主体的に対応し学ぼうとする態度の育成を目指して」
 (学年目標)「家族、家庭生活の営みを基盤として、より豊かな衣・住の生活を実現させるための基礎的、基本的な働きを理解する」

月	単元名	教材名	学習目標 (学習指導要領との対応)	言語活動 (学習指導要領との対応)	評価規準	評価方法
4	3編 私たちの成長と家族・地域	1章 家庭と家族関係	家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。 これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考える。 〈A(2)〉	家庭や家族の重要性に気付き、家族の一員として自分にできることを具体的に説明することができる。	家庭と家族関係について関心をもって学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしようとしている。 家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかわりについて理解している。	・授業中の活動 ・ノート ・ワークシート
5		4編 私たちの消費生活と環境	1章 私たちの消費生活	契約について理解し、販売方法や商品について利点も踏まえた問題点が具体的に説明できる。 自分や家族の消費生活を振り返り、環境アクションプランが発表できる。	家庭生活と消費について関心をもって学習活動に取り組み、消費についての課題を見つけ、その解決に向けて工夫しようとしている。 環境に配慮した消費生活について関心をもって学習活動に取り組み、消費と環境のかかわりについて、基礎的な知識を身につけている。	・授業中の活動 ・発言 ・ワークシート ・ノート ・ペーパーテスト
6	4編 私たちの消費生活と環境	2章 環境に配慮した消費生活	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できること。〈D(2)〉	家族の生活によって住まい方や快適さの感じ方が違うことが説明できる。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、課題を見つけて解決方法を探ろうとしている。	・授業中の発言 ・ワークシート ・ノート ・ペーパーテスト
7		2章 住生活と自立	家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知り、家族の安全を考えた室内環境を整えることができる。〈C(1)〉	衣服と社会生活とのかかわり、着用の工夫や衣服材料について理解し、適切な選択ができる。〈C(1)〉	衣服の着用、選択、手入れについて基礎的、基本的な知識を身につけ、衣生活をよりよくしようとしている。	・授業中の活動 ・発言 ・ノート ・ペーパーテスト ・作品
9	2編 わたしたちの衣生活と住生活	1章 衣生活と自立	衣服と社会生活とのかかわり、着用の工夫や衣服材料について理解し、適切な選択ができる。〈C(1)〉	衣服の社会生活上の働きや目的を知り、さまざまな生活場面と結び付けながら説明することができる。		
10						
11						
12						
1						
2						
3						

第2学年技術家庭科 家庭分野 年間指導計画

(研究課題) 「これからの生活を展望し、社会の変化に主体的に対応し学ぼうとする態度の育成を目指して」
 (学年目標) 「環境や地域文化を含めた食生活の充実を通して、自立から共生へとこれからの自分の生活の視野を広げる態度を育てる。」

月	単元名	教材名	学習目標 (学習指導要領との対応)	言語活動 (学習指導要領との対応)	評価規準	評価方法
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	1編 わたしたちの生活の自立 *旧教科書の単元名による	1章 わたしたちの食生活	自分の食生活に関心をもち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考える。 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。 中学生の1日に必要な食品の種類と概要について知る。〈B (1) (2)〉	食事の役割について自分の食生活の課題と結び付けながら説明することができる。 水の働きについて、調べたことを分かりやすく説明することができる。 食品の具体的な組み合わせをあげて、説明することができる。	中学生の食生活と栄養について関心をもち、学習活動に取り組み、基礎的、基本的な知識を身につけるとともに、栄養について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	・授業中の活動 ・ノート ・ワークシート ・実習の成果
		2章 わたしたちの食品の選択と調理	食品の品質を見分け、用途に応じて選択できる。 基礎的な日常食の調理ができ、調理器具等の適切な管理ができる。〈B (2) (3)〉	食品に含まれる栄養素は、食品によって違いがあることを理解し、主な栄養素を含む食品の例をあげて説明することができる。 食品の見分け方について説明できる。 調理の計画を、具体的に班員に説明、指示できる。	日常食の献立と食品の選び方について関心をもち、学習活動に取り組み、基礎的、基本的な知識と技術を身につけている。 また日常の中から課題を見出し、その解決を目指して工夫している。	・授業中の活動 ・ノート ・ワークシート ・実習の成果
		3章 わたしたちのより豊かな食生活	地域の食材や食文化について関心をもち、地産地消などの課題を持って日常食の計画を立て、実践することができる。〈B (3)〉	調理の目的や安全性について気を付けることを具体的に説明することができる。地域の食材を用いることの意義について理解し、食文化について料理名を挙げながら説明することができる。	日常食の調理と地域の食文化について関心をもち、学習活動に取り組み、食生活をよりよくするために実践しようとしている。 地域の食材を生かした調理に関する知識と技術を身につけている。	・データの読み取り ・ワークシート ・ノート ・ペーパーテスト

第3学年技術家庭科 家庭分野 年間指導計画

(研究課題) 「これからの生活を展望し、社会の変化に主体的に対応し学ぼうとする態度の育成を目指して」
 (学年目標) 「自分の幼児期を振り返り、子どもが育つ環境として、家族の役割と幼児の遊びの意義について理解し、幼児に関心を持つことができる。」

月	単元名	教材名	学習目標 (学習指導要領との対応)	言語活動 (学習指導要領との対応)	評価規準	評価方法
4 5 6 7 9	2編 ともに生きるわたしたち *旧教科書による単元名	1章 私たちの成長と家族・地域 2章 幼児とのふれあい	幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境や遊びの意義について理解する。 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫する。 幼児のおもちゃ製作を通して、幼児の遊びの意義について理解する。〈A (3)〉	幼児の生活習慣に果たす家族の役割について説明する。 幼稚園訪問時の園児との触れ合いが十分にできる。 手作りおもちゃに関心が高まるように声掛けができる。	幼児の生活と家族について関心をもって学習活動に取り組み、家族又は幼児の生活をよりよくするために実践しようとしている。 幼児の生活と家族の役割に関して、基礎的基本的な知識と技術を身につけている。 幼児にあった遊びを工夫して、触れ合うことができる。	・ノート ・授業中の活動 ・ワークシート ・手作りおもちゃ作品 ・振り返りシート ・ペーパーテスト

第 1 学年英語科年間指導計画 文法クラス

(研究課題) 「自然なつながりとまとまりを意識したコミュニケーション能力の育成」
(学年目標) 「自然なつながり (connection) とまとまり (coherence) のある英文で、自分の考えを表現できる。」

月	単元名・教材名 (▲話題・題材、△ねらい)	学習内容 (言語材料)	言語活動 (言語の働き)	評価規準	評価方法
4	Springboard 英語で言えるものを 探そう ▲日常会話の音声 と絵を通して、小学 校で慣れ親しんだ 表現をふりかえる。 アルファベットを学 ぼう ▲アルファベットを 聞いて発音し、文字 を書く。 ▲フォニックス(音と つづりの関係)を知 る。	・現代の標準的な発 音 ・アルファベットの 活字体 ・大文字・小文字ア ルファベット	・アルファベットの 音声活動 ・アルファベットを 正しく書く ・あいさつする／ 質問する など ・気持ちを伝える	L…リスニングの活動に興味をもって、積極的に取り組 む。 S…各活動において、CDや教師の英語の発音を真似 しようとする。 L…アルファベットを聞いて、文字を認識できる。 L…身の回りのものを表す単語の発音を聞いて、その意 味がわかる。 S…アルファベットを順番に正しい発音で言うことができ る。 S…単語を正しく発音することができる。 W…アルファベットの大文字と小文字を正しく書くことが できる。	・活動中の観 察 ・小テスト／ 確認テスト ・リスニング テスト ・リスニング テスト ・インタビュー テスト
5					
6	Lesson 1 アヤの新しいクラス ▲主人公のアヤが 中学校に入学。自 己紹介や、ALTと初 対面のあいさつを する。 △初対面の人との あいさつや自己紹 介をできるようにな る。	・I am ～. ・人称代名詞(主格 I)／現在形の be 動詞 (am)／単文 ／肯定の平叙文 ／主語＋be 動詞 ＋補語(名詞)／ 基本的な符号 ・You are ～. ・人称代名詞(主格 の you)／現在形 の be 動詞 (are) ／基本的な符号 ・You are ～, right? ・文尾を上げて発音 する例(～, right?) ・Are you～?の疑問 文とその応答 ・主語＋be 動詞＋ from～./基本的 な符号 ・be 動詞の疑問文	・あいさつする／ 自己紹介する／ 呼び名について 依頼する ・あいさつする／ 相手のことを確 認する ・出身地をたずね る／訂正する	L…教師、友だち、CDなどの英語の内容を理解でき る。 S…適切な表現を使って初対面の人とあいさつや自己 紹介のやりとりができる。 R…文字と音を一致させながら、正しい発音、強勢、イン トネーションで音読できる。 W…自己紹介文を文法に従って正しく書くことができ る。 L…自己紹介文や対話文を聞いて、名前や出身地など を正しく聞き取ることができる。 L…数を表す英語を聞いて理解できる。 S…欧米と日本のあいさつのしかたの違いについて理 解している。 W…英文を書く際の基本的なきまりや符号についての 知識を身に付けている。	・授業中や活 動中の観察 ・活動中の観 察 ・ロールプレ イテスト ・インタビュー テスト ・音読テスト ・ペーパーテ スト
	Lesson 2 学校で ▲アヤとクラスメ ートたちが、学校で友 だちを紹介したり、 質問したりする。 △人やものの紹介 をしたり、質問をし たりすることができる。”	・This[That] is ～. ・現在形の be 動詞 (is)／指示代名 詞(this, that)／ 人称代名詞(my, our) ・文における基本的 な強勢、イントネ ーション ・Is this ～?の疑	・ものを指して説 明する／人を紹介 する ・ものの所有者を 確認する会話 ・確認する／質問 する／相手の話を 訂正する	L…人を紹介したり、ものをたずねる対話文を聞いて、 語句や表現から内容が理解できる。 R…対話文を読んで、文法や語句の知識を活用して内 容を正しく読み取ることができる。 R…縮約(短縮)形の知識を身に付けている。 R…対話文の表し方を理解している。 W…be 動詞の文の疑問文の作り方の知識を身に付け ている。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書くことができ る。	・活動中の観 察 ・ロールプレ イテスト ・ペーパーテ スト ・ロールプレ イテスト ・音読テスト ・リスニング テスト

7		問文とその応答 ・ be 動詞の疑問文 ・ What is～?の疑問文とその応答／不定冠詞(a, an)	・ 知らないものについてたずねる		
9	Lesson 3 アヤの友だち ▲アヤとクラスメートたちが、好きなものについての情報をやりとりしたり、相手のことについてたずねたりする。 △好きなものについての情報をやりとりしたり、相手のことについてたずねたりすることができる。"	・ I like ～./ I don't like ～. ・ 主語＋動詞（一般動詞，現在形）＋目的語（名詞）／do を含む否定の平叙文" ・ Do you like～? とその応答 ・ You do? ・ 文尾を上げて発音する例(Do で始まる疑問文)" ・ What do you ～? とその応答／What subject do you ～? とその応答 ・ Really? ・ 文尾を下げて発音する例（What で始まる文） ・ 数量を表す some と any／名詞の複数形 ・ How about you?	・ 自分が好きなことや苦手なことを紹介する ・ 相手の好きなことについてたずねる ・ 相手のことや相手の持っているものをたずねる ・ 人やものの数についての情報を交換する	R…読んでわかったことについてメモを取ったり、まとめている。 W…知っている語句や表現を用いて多くの文を書いている。 R…意味内容にふさわしく音読することができる。 W…相手に質問する文を文法に従って正しく書くことができる。 L…自己紹介を聞いて、内容が理解できる。 R…対話文を読んで、だれがどんな内容のことを発話しているのか語句や文法の知識から正しく読み取ることができる。 L…質問文を聞いて、正しく応答する知識を身に付けている。 R…肯定文，疑問文，否定文の文の構造の違いについての知識を身に付けている。 W…月や教科名など，よく使われる語句を正しいつづりで書くことができる。	・ 活動中の観察 ・ ノートやワークシートの点検 ・ ノートやワークシートの評価 ・ スピーチ発表の評価 ・ 音読テスト ・ ペーパーテスト ・ リスニングテスト
10	Lesson 4 キング先生の家族 ▲キング先生の家族について、アヤたちが説明を聞いたり、質問したりする。 △家族について説明したり、質問をしたりすることができる。"	・ He[She] is ～. 人称代名詞(he, she) ・ Chants：文における基本的な強勢・イントネーション，音のつながり ・ Who is ～?とその応答 ・ ～years old ・ Who で始まる文 ・ 人称代名詞の目的格(him, her) ・ 文における基本的な強勢 ・ Whose ～? とその応答	・ 友だちや家族について説明する ・ 知らない人についての情報を交換する ・ 家族や知人について情報を交換する ・ だれのものかたずねる	W…知っている語句や表現を用いて多くの文を書いている。 S…人物についての情報を聞き手に適切に伝えることができる。 R…正しい発音，強勢，イントネーションを用いて音読することができる。 W…人物を紹介する英文を文法に従って正しく書くことができる。 L…人物紹介を聞いて，語句や表現の知識を活用して内容を正しく聞き取ることができる。 R…対話文を読んで，語句や文法の知識を活用してだれが何をするのか正しく読み取ることができる。 R…人称代名詞についての知識を身に付けている。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書くことができる。	・ 活動中の観察 ・ ノートやワークシートの評価 ・ 発表の評価 ・ 音読テスト ・ リスニングテスト ・ ペーパーテスト

11	Lesson 5 中華街に行こう ▲アヤたちが中華街に向かう道すがら、人やものについて説明したり、場所についての情報をやりとりしたりする。 △人やものについて説明したり、場所についての情報をやりとりしたりすることが出来る。	・三人称単数現在形 ・三人称単数現在形疑問文とその応答 ・ I s that right? ・ Does で始まる文 ・ 三人称単数現在形（否定文） ・ How about ~? / That's a great idea! / Don't worry. / You're right. ・ Where is[does] ~?とその応答 ・ By the way, ~ / Well, ~ ・ 文尾を下げて発音する例(Where で始まる文)	・ 他の人やものについて説明する ・ 他の人やものについて質問する ・ 他の人やものについて説明する ・ 場所について情報を交換する	S…第三者について文法に従って正しくたずねることができる。 R…正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて音読することができる。 W…家族の一人や友だちについて紹介する英文を文法に従って正しく書くことができる。 L…対話文を聞いて，だれが何をするのか正しく聞き取ることができる。 R…人物についての紹介文を読んで，語句や表現の知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。	・ 活動中の観察 ・ スキット発表の評価ノート，・ワークシートなどの点検 ・ インタビューテスト ・ 音読テスト ・ ペーパーテスト ・ リスニングテスト
	Lesson 6 メイの誕生日パーティー ▲メイの誕生日が近づき，パーティーを開く。 △時間や数についての情報をやりとりしたり，人に指示をしたりすることができる。	・ When～? とその応答 ・ I know. / Oh, no! ・ 文尾を下げて発音する例(When で始まる文) ・ How many～? とその応答 ・ Let me see. ・ 文尾を下げて発音する例(How many で始まる文) ・ What time is[does] ~? とその応答 ・ I think so. ・ 一般動詞の命令文（肯定・否定） ・ You're welcome. / Thanks.	・ 時について情報を交換する ・ 数をたずねる ・ 時刻や時間についてたずねたり，答えたりする ・ 指示をしたり，注意を促す	S…相手に適切に質問したり，相手からの質問に適切に応答することができる。 R…意味内容にふさわしく感情を込めて音読することができる。 W…さまざまな質問文を文法に従って正しく書くことができる。 L…質問の内容を正しく聞き取ることができる。 R…対話文を読んで，質問と応答のやりとりの内容を正しく読み取ることができる。	・ 活動中の観察 ・ スキット発表の評価 ・ インタビューテスト ・ 音読テスト ・ リスニングテスト ・ ペーパーテスト

12	Lesson 7 マンガ大好き ▲ボブが、マンガについてクラスでスピーチする。 △人ができることについての情報をやりとりしたり、どのようにしたらよいかたずねたりすることができる。	・can の文（肯定・否定） ・Sorry! ・Can～?（可能性）とその応答 ・Sure. ・文尾を上げて発音する例(Can ～?) ・How～? とその応答 / Can ～?（許可・依頼）とその応答 ・つづりと発音	・できることについて説明する ・できることについて質問する ・「どのように」すればできるか質問する	S…can を用いて自分のできることを話したり、相手に質問することが正しくできる。 R…強音や弱音を意識し、正しい発音やイントネーションで音読することができる。 W…助動詞 can を用いた文を正しく書くことができる。 L…英文を聞いて、だれが何をできるのかを理解することができる。 L…相手の言ったことに適切な相づちを打つことができる。 R…助動詞 can を含む英文を読んで、内容について正しく読み取ることができる。 R…日課や休日の過ごし方に関する語句を読んで理解できる。 W…助動詞 can を使った文の構造についての知識を身に付けている。	・活動中の観察 ・ノートやワークシートの点検 ・インタビューテスト ・音読テスト ・ペーパーテスト
1	Lesson 8 それぞれの冬休み ▲ボブは家族とニューヨークに帰省し、日本にいるアヤたちはそれぞれの冬休みを過ごす。 △今現在していることについての情報をやりとりしたり、理由をたずねる質問をしたりすることができる。	・現在進行形（肯定文） ・現在進行形（疑問文とその応答） / What～?の現在進行形の疑問文とその応答 ・Sounds noisy! / Happy New Year! ・Why～?とその応答 ・I can't believe it! / That's true. ・つづりと発音	・今現在していることを説明する ・今現在していることについて情報を交換する" ・理由をたずねる質問とその応答をする	S…現在進行形の文を使って状況を正しく伝えることができる。 R…文を場面や心情に応じて音読することができる。 W…たずねられた理由について相手に伝わるように書くことができる。 L…英文を聞いて、複数の情報からどのような場面か把握することができる。 R…現在進行形が使われている電話などの対話文を読んで、内容を正しく読み取ることができる。 R…現在進行形の文の構造についての知識を身に付けている。 W…動詞の-ing 形を正しく書くことができる。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書くことができる。	・活動中の観察 ・インタビューテスト ・音読テスト ・リスニングテスト ・ペーパーテスト ・ペーパーテスト ・単語テスト
2	Lesson 9 シンガポールで ▲旧正月でシンガポールに帰省したメイが、シンガポールでしたことについて伝える。 △過去のことを説明したり、情報のやりとりをしたりすることができる。"	・一般動詞の過去形（規則変化） ・See you soon. ・規則変化の一般動詞・過去形の語尾 ・Did～? とその応答 ・語尾を上げて発音する文の例(Did ～?) ・付加疑問文とその応答 ・Are you kidding? ・つづりと発音	・行事について説明する / 過去のことについて説明する ・過去にしたことについて情報を交換する ・過去にしたことについて情報を交換する	L…Preview, Activity などの活動や教師の話す英語を聞いて、内容を理解しようとしている。 S…自分が得た情報を他の人に伝えようとしている。 S…相手からの質問に対して2文以上で適切に応答することができる。 R…対話文を場面や心情に応じて音読することができる。 W…過去にしたことやしなかったことを文法に従って正しく書くことができる。 L…過去のことを述べている英文を聞いて、内容を正しく理解することができる。 R…過去のことにについて書かれた文章を読んで正しく読み取ることができる。 S…規則動詞の過去形についての発音の知識を身に付けている。 W…メール文や手紙文を書く際の書式に関する知識を理解している。	
3	Lesson 10 メイのおじいさん ▲メイのおじいさんが来日。行ってきたばかりの関西旅行について、アヤたちに話す。 △過去のことを順序立てて説明することができたり、情報のやりとりをすることができる。"	・一般動詞の過去形（不規則変化） ・be 動詞の過去形（肯定・否定） ・文中の音のつながり ・be 動詞の過去形（疑問文とその応答）	・過去のことについて順序立てて説明する ・過去のことについて順序立てて説明する ・過去のことについてたずね、答える"	L…Preview, Activity, Project などの活動や教師の話す英語を聞いて、内容を理解しようとしている。 L…相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。 S…インタビュー活動やチャットにおいて、積極的に質問をしたり応答しようとしている。 S…聞き手にわかりやすいように適切な速さや声の大きさと工夫しながら話すことができる。 R…イントネーション、強勢、区切り、音変化などに注意して、正しく音読することができる。 W…過去のことにについてまとまりのある文章を正しく書くことができる。 L…図や表を説明する英文を聞いて、内容を正しく理解できる。	

	Reading 1 Alone ▲がまくんが, 親友のかえるくんの家に行くと, ドアにメモが… △だれが何を言っているのか, 代名詞が何を表しているかに注意して, 物語文を読むことができる。”	・一般動詞の過去形 (不規則変化) ・ be 動詞の過去形 (肯定・否定) ・文中の音のつながり ・ be 動詞の過去形 (疑問文とその応答)	・過去のことについて順序立てて説明する ・過去のことについて順序立てて説明する ・過去のことについてたずね, 答える	R…イントネーション, 強勢, 区切り, 音変化などに注意して, 正しく音読することができる。 W…質問文に対して主語と述語動詞を伴って正しく書くことができる。 L…内容を正しく聞き取ることができる。 R…代名詞が何を表すのかを捉えながら読み進めることができる。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書くことができる。	・活動中の観察 ・音読テスト ・ペーパーテスト ・リスニングテスト ・ペーパーテスト ・単語テスト

第2学年英語科年間指導計画

(研究課題) 「自然なつながりとまとまりを意識したコミュニケーション能力の育成」
(学年目標) 「英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝えることができる。」

月	単元名・教材名 (▲話題・題材、△ねらい)	学習内容 (言語材料)	言語活動	評価規準	評価方法
4	Lesson 1 A New Student from Korea ▲韓国から来た留学生ジンが、アヤたちのクラスに転入する。 △過去にしたこと、起きたことについて表現できるようになる。	- 一般動詞の過去形（規則変化・不規則変化） - be 動詞の過去形 - 過去進行形 - SVOO	- 過去にしたことを述べ、たずねたり答えたりする。 - 過去の様子を述べる。 - 身の回りの人や状況について説明する。	L…過去の出来事について聞いて、その内容を理解することができる。 S…過去のことやある時点でしていたことについて、文法に従って正しく話すことができる。 R…場面や心情に応じて、文章を出来事の順序などに注意しながら適切に読み取ることができる。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書き、過去のことやある時点でしていたことについて、文法に従って正しく書くことができる。	- 活動中の観察 - ノートやワークシート点検 - テスト（音読、ペーパー、リスニング）
5	Lesson 2 Golden Week ▲ゴールデン・ウィークに訪れた場所について、キング先生と生徒たちが話す。 △もののある場所や印象について表現できるようになる。	- There is[are] ～. とその過去形 - Are[Is] there ～? とその応答とその過去形 - 主語 + 動詞 (look など) + 補語 (形容詞)	- もののある (あった) 場所を述べ、たずねたり答えたりする。 - 見た目の印象、味や匂いなどについて述べる。	L…町や部屋の様子などを説明する英文を聞いて、語句や表現の知識を活用して内容を聞き取ることができる。 S…学んだ表現を積極的に使って、過去と現在の町の様子を適切に描写することができる。 R…There is ～. や look などを使ったSVCの文の構造についての知識を身に付けている。観光地などの説明文を読んで、書かれた情報について必要な部分を読みとることができる。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書き、文のつながりや構成を考えた日記を書くことができる。	- 活動中の観察 - ノートやワークシート点検 - 日記 - テスト（音読、ペーパー、リスニング）
6	Lesson 3 Summer Vacation ▲キング先生や生徒たちの夏休みの計画と夏休み中の会話。 △自分の予定などの未来についてや、自分がしたいことについて表現できるようになる。	- I am [We are] going to ～. の未来表現 - Are you going to ～? とその応答 - 助動詞 will の未来表現（肯定・否定） - 不定詞の名詞用法	- 自分の予定を述べ、相手の予定をたずねる。 - 自分の予測や自分がしたいことを説明する。	L…関心をもって旅行計画を開き、その予定を適切につかむことができる。電話で用いる表現を理解している。 S…Project の発表において、聞き手に理解してもらおうとしている。予定や将来のことについて、文法に従って正しく話すことができる。 R…予定や将来のことについての文章を読んで、内容を正しく理解することができる。be going to～, will, want to～を使った文の構造についての知識を身に付けている。 W…予定や将来のことについて、文法に従って正しく書くことができる。	- 活動中の観察 - Project の発表 - ノート点検 - テスト（音読、ペーパー、リスニング、インタビュー）
7	Reading 1 Stone Soup ▲戦争帰りの兵士がある村に立ち寄る。 △出来事の順序に注意して、物語文を読むことができる。		出来事の順序に注意して、物語文を読む。	L…内容を正しく聞き取ることができる。 S…感情を込めて、物語文を適切に音読することができる。 R…推測するなどして読み続けている。物語文を読んで、出来事の順番、場面や登場人物の行動などについて正しく理解できる。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書き、マッピング図をもとに多くの情報を書いている。	- 活動中の観察 - 作文 - ノート点検 - テスト（音読、ペーパー、リスニング、インタビュー）
8	Lesson 4 Robot Contest ▲ジンたちが、国際ロボット・コンテストの参加を目指す。 △将来、自分がしてみたいことについて、自己表現できるようになる。	- 動名詞 - I think[hope など] + (that) 節～. の文 - 接続詞 when, if の複文	- 情報やものごと、わからないことを説明する。 - 提案する。 - 自分の考えを述べる。	L…言われたことを確認しながら聞き、内容を理解しようとしている。人(事)物の説明の内容を、適切に聞き取ることができる。 S…接続詞 when, if, that 及び動名詞を使った文を、正しく話すことができる。学んだ表現を積極的に使っている。 R…文の構造についての知識を身に付け、正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。人(事)物の内容を適切に読み取ることができる。 W…よく使われる語句や接続詞 when や if を使った複文を、文法に従って正しく書くことができる。	- 活動中の観察 - ノート点検 - テスト（音読、ペーパー、リスニング、インタビュー）
9					
10					

	Lesson 5 Halloween Party ▲ボブの家でのハロウィーン・パーティー。 △義務や許可の要素を伴う表現を使えるようになる。	- 助動詞 should を用いた表現 - 助動詞句 have to / don't have to を用いた表現 - 助動詞 may を用いた表現	- 相手に助言をする。 - しなければならないことを説明する。 - 相手の許可を得る。	L…説明を聞いて、語句や文法などの知識を活用して正しく聞き取ることができる。 S…場面に応じて should, may などから適切な表現を選択して話すことができる。 R…対話文から、だれが何をしなければならないのかを適切に読み取ることができる。ハロウィーンについての知識を身に付けている。 W…助動詞を積極的に使い、家庭や学校のルールについて読み手に正確に伝えることができる。	- 活動中の観察 - ノート点検 - テスト（音読、ペーパー、リスニング、インタビュー）
月	単元名・教材名 (▲話題・題材、△ねらい)	学習内容 (言語材料)	言語活動	評価規準	評価方法
10 11	Lesson 6 Internship ▲アヤとジンが、国際交流センターと写真スタジオでの職場体験について報告する。 △自分の気持ち・考えや理由・目的について、自己表現できるようになる。	- 不定詞の副詞用法 - 主語＋動詞＋what to 不定詞 / 主語＋動詞＋how to 不定詞	- 理由や目的を説明する。 - 自分の気持ちをまじえながら話す。 - 自分の考えを詳しく説明する。	L…相手の話に関心をもって聞いて、大切な話し手の伝えたいことを理解することができる。 S…聞き手に理解してもらおうと、適切な速さや声の大きさを話すことができる。 R…スピーチ文を心情に応じ、適切に感情を込めて音読することができる。to 不定詞を含む英文の文構造について知識を身に付けて、行う目的などの内容について正しく読み取ることができる。 W…学んだ表現を積極的に使って、不定詞の副詞的用法や疑問詞＋to 不定詞の文を正しく書くことができる。	- 活動中の観察 - ノートやワークシートの点検 Project のスピーチ発表 - テスト（音読、ペーパー、リスニング）
12	Reading 2 A Message from the Sea Ice ▲地球温暖化による北極の流氷の変化と生態系への影響。 △順序立てて述べられている理由に注意して、説明文を読むことができる。		順序立てて述べられている理由に注意して、説明文を読む。	L…内容を正しく聞き取ることができる。 S…スキットを場面に合わせて工夫しながら演じている。 R…説明文を読んで、段落ごとに何について書かれているのか理解できる。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書くことができる。	- 活動中の観察 - スキット発表 - テスト（音読、ペーパー、リスニング）
1	Lesson 7 Homestay in Australia ▲オーストラリアにホームステイしているアヤとホスト・ファミリーとの会話。 △ものごとの比較について表現できるようになる。	- 比較級・最上級 (-er, the -est) - 比較級・最上級 (more, the most) - 同等比較 (as ～ as …) - 比較級・最上級 (better, the best)	2つのものや3つ以上のものを比べる。 2つのものが同程度であることを説明する。 3つ以上のものを比較して、どれが一番であるかを説明する。	L…2つ以上のものや二人以上の人物について比較する英文を聞いて理解することができる。 S…相手に適切な質問をしたりできる。相手の理解に応じて話し、会話を続けようとしている。 R…比較の文の構造についての知識を身に付けてグラフや表などの資料を含む文章を読んで、内容が適切に理解できる。 W…2つ以上のものや二人以上の人物について説明する英文を文法に従って正しく書くことができる。	- 活動中の観察 - ノート点検 - テスト（音読、ペーパー、リスニング、インタビュー）
2	Lesson 8 Aya's Reports about Australia ▲オーストラリアでの体験について、アヤが報告する。 △受け身でものごとを説明することができるようになる。	- 受け身（現在形・過去形） - 行為者を by で明示する受け身（過去形） - 受け身の疑問文	- 作られたものなどについて説明する。 - 過去の出来事などについて説明したり、たずねたり答えたりする。	L…人物やものについての説明を聞いて、語句や文法などの知識を活用して内容を理解することができる。 S…相手からの質問に対して適切に応答することができる。 R…受け身の使われている人物や事物の説明文を読んで、その内容を正しく読み取り、正しく音読することができる。 W…受け身の文を使って人物や事物を説明する文を正しく書くことができる。	- 活動中の観察 - ノート点検 - テスト（音読、ペーパー、リスニング、インタビュー）

3	Lesson 9 An Interesting Survey ▲総合的な学習の時間に、ケンタたちが各国の小・中学生の違いについて調べる。 △to 不定詞の名詞的用法を使って、ものごとを説明することができる。	- 不定詞の名詞用法 - It+be 動詞+～ (+for～)+ to 不定詞 - 主語+tell+目的語+ to 不定詞	- 将来やりたいことや、なりたいものを説明する。 - 身近な生活や日課などについて説明する。 - 他の人の意向や考えを伝える。	L…図や表を説明する英文を聞いて、内容を適切に理解できる。 S…聞き手にわかりやすいように適切な速さや声の大きさを工夫しながら話すことができる。 R…文の構造についての知識を身に付けて、to 不定詞を含む文章を読んで、内容を正しく理解できる。 W…to 不定詞を使ったさまざまな英文を、文法に従って積極的に正しく書くことができる。	- 活動中の観察 - ノートやワークシート点検 - プレゼンテーション - テスト（音読、ペーパー、リスニング、インタビュー）
	Reading 3 The Gift of Tezuka Osamu ▲漫画家の手塚治虫の生涯。 △ものごとの流れに注意して、説明文(伝記)を読むことができる。	復習	ものごとの流れに注意して、説明文(伝記)を読む。	L…内容を正しく聞き取ることができる。 R…理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。長文を適切なスピードで読んで理解することができる。 W…よく使われる語句を正しいつづりで書き、人物についての紹介文を書くことができる。	- 活動中の観察 - ワークシート - テスト（音読、ペーパー、リスニング）

第3学年英語科年間指導計画

(研究課題) 「自然なつながりとまとまりを意識したコミュニケーション能力の育成」
(学年目標) 「英語を使用して、具体的な場面や状況に合った適切な表現を用いて言語活動ができる。」

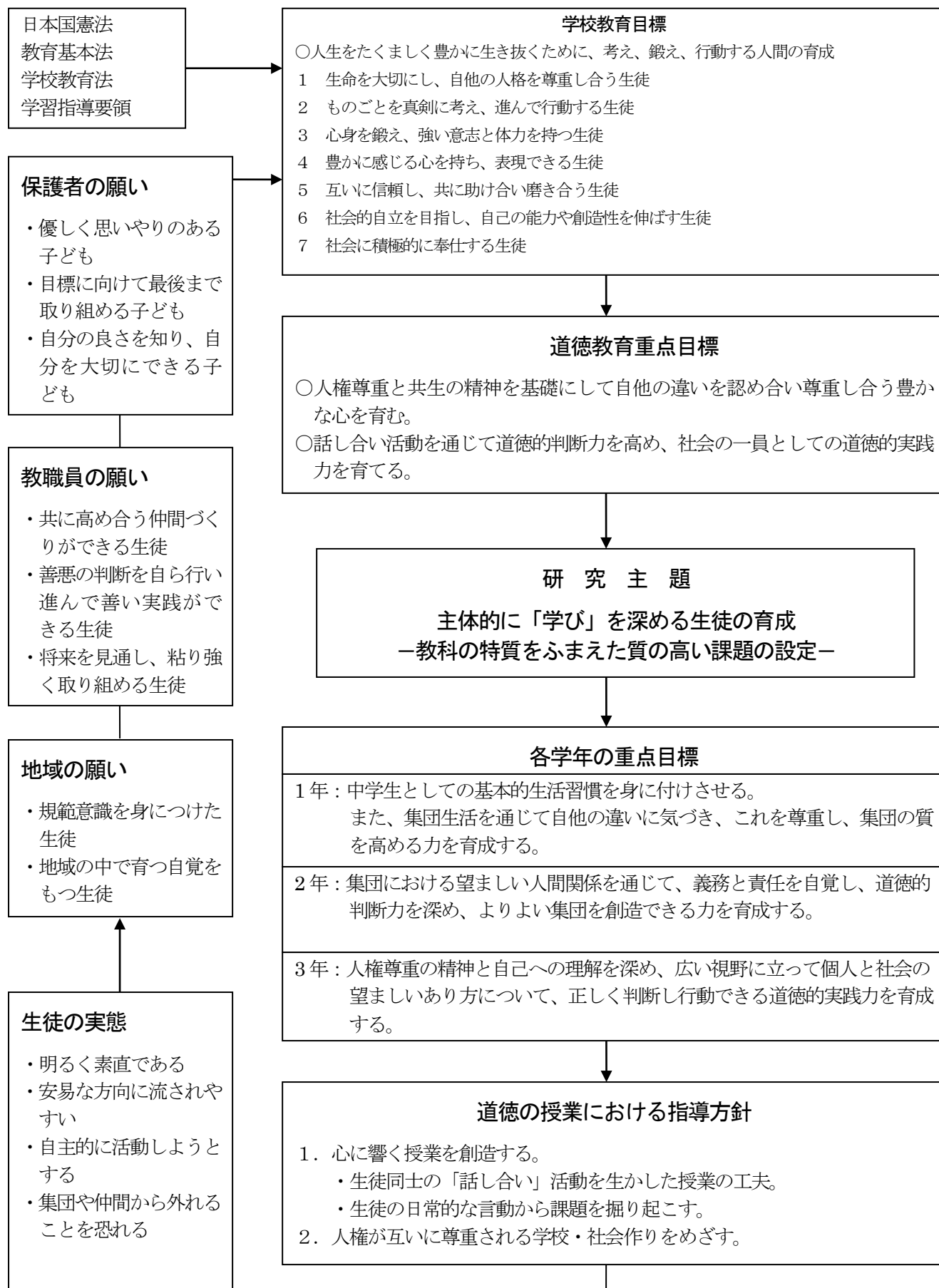
月	単元名・教材名 (▲話題・題材△ねらい)	学習内容	言語活動	評価規準	評価方法
4	Lesson 1 Our School Trip to Kyoto and Nara ▲アヤたちが、修学旅行で京都・奈良を訪れる。 △出来事やものを詳しく説明したり、別名を言ったりすることができる。	・受け身の文（過去形） ・SVOC（C = 名詞） call A B ・SVOC（C = 形容詞） make A B	・詳しい情報を理解する・説明する ・出来事について理解する・説明する ・人やものの別名を言う ・日記を書く	S…受け身の文を使って、人物やものなどの説明を文法に従って正しく話すことができる。 W…身近な建物や場所についての説明文を文法に従って正しく書くことができる。 L…受け身の使われている説明文を聞いて、知りたい情報について聞き取ることができる。 R…日記文を読んで、書き手の経験したことや感情を理解することができる。	活動中の観察（継続的に観察評価していく） ペアワーク・グループワーク ノートやワークシート インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト リスニングテスト 単語テスト
5					
6	Lesson2 Kenta's Homestay in London ▲ロンドンにホームステイしているケンタが、ホスト・ファミリーと過ごした体験について。 △過去から現在まで続いていた、経験してきたことについて、情報をやりとりすることができる。	◆SVC, SVOC の文 ・現在完了形（継続） ・現在完了形(継続)の疑問文とその応答 ・現在完了形（経験） ・現在完了形(経験)の疑問文とその応答	・過去から現在まで続いていることを説明する ・過去から現在まで続いているかどうか質問する ・これまでに経験したことを説明する ・これまでに経験したことがあるかどうか質問する	R…イギリスの文化に興味を持ちながら教科書の本文を読んでいる。 W…日本文化の紹介文を読み手が理解しやすくなるように工夫しながら書いている。 S…経験したことや継続していることについて正しく説明することができる。 W…文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。 L…経験したことや継続していることを伝える英文を聞いて、内容を正しく理解することができる。 R…経験したことや継続していることについて書かれている文章を読んで、内容を正しく理解することができる。	活動中の観察（継続的に観察評価していく） ペアワーク・グループワーク ノートやワークシート インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト リスニングテスト 単語テスト
7	Lesson3 Our First Rakugo in English ▲落語家の桂かい枝さんの海外での体験と、落語「動物園」。	・現在完了形（完了） ・現在完了形(完了)の疑問文とその応答 ・主語＋動詞＋what などが始まる節〔間接疑問文〕 ・主語＋動詞＋what などが始まる句〔間接疑問文〕	・今ちょうどやり終えたことを言う ・完了したかどうか質問する／話の展開を理解して読む ・話の展開を理解して読む ・話の展開を理解して読む ・町を紹介する ・行き方を説明する ・要点把握を意識して、説明文（伝記）を読む	W…現在完了の文を書く際の構造や用法についての知識を身に付けている。 S…会話をする際、相手の言ったことに同意したり、理由をつけて意見を言おうとしている。 L…現在完了の文を含む英文を聞いて正しく理解することができる。 R…間接疑問文を含む文章を読んで、内容を正しく理解することができる。 R…間接疑問文の文の構造についての知識を身に付けている。 W…読んだものに関する感想を内容的にまとまりのある文章で書くことができる。	活動中の観察（継続的に観察評価していく） ペアワーク・グループワーク ノートやワークシート インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト リスニングテスト 単語テスト
9	△完了した動作について説明したり、話の展開を理解して読んだりすることができる。				
10					

11	Lesson4 A World without Landmines ▲地雷廃絶活動をしている柴田知佐さんからのメッセージと、アヤたちの反応について。 △経験したことや自分の考えを説明したり、ものについて詳しく説明したりできる。	- 前置詞句による後置修飾 - 不定詞の形容詞用法による後置修飾 - 現在分詞による後置修飾 - 過去分詞による後置修飾 ◆不定詞（名詞用法／副詞用法／形容詞用法）	- 人が経験したことの説明を理解する - いま何かをしている人やものの詳しい説明をする／社会問題について質問したり、答えたりする - ものについて、詳しい説明をする／問題意識を持ったことがらについて意見交換する	W…学んだ表現を積極的に使いながら、クイズを作ろうとしている。 W…前置詞句, to 不定詞, 分詞などを使った後置修飾の文を文法に従って正しく書くことができる。 L…後置修飾を用いた英文を聞いて、その内容を正しく聞き取ることができる。 R…人物や事物について、後置修飾を用いた説明文を読んで、その内容を正しく読み取ることができる。	活動中の観察（継続的に観察評価していく） ペアワーク・グループワーク ノートやワークシート インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト リスニングテスト 単語テスト
12	Lesson5 Today's News ▲テレビ放送やウェブサイトの情報について。 △人やものについて詳しく説明したり、気持ちや状況を詳しく説明したりできる。	- 接触節 - 関係代名詞 who（主格） - 関係代名詞 which（主格） 【発音】ウェブサイトのアドレスの読み方 - 長い主語をつくる関係代名詞 who(主格)	- 人やものについて詳しく説明する - 人にもものを勧める人やものについて詳しく説明する - 気持ちや状況について詳しく説明する - 人について詳しく説明する ☆Let's have a chat! 話題をいろいろと切り出してみよう。	S…相手に伝わるように実況中継やコマーシャルなどを行うことができる。 W…人物や事物の説明文を後置修飾を用いて書くことができる。 L…実況中継やニュースなどを聞いて、概要や詳細を適切に聞き取ることができる。 R…関係代名詞を用いた文章を読んで、内容を正しく理解できる。 S…店員などとのやり取りを行う上での基本的なことを理解している。 R…名詞の後置修飾についての知識を身に付けている。 S…歌詞の意味を考えながら歌を歌っている。	活動中の観察（継続的に観察評価していく） ペアワーク・グループワーク ノートやワークシート インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト リスニングテスト 単語テスト
1	Lesson6 Protecting Nature ▲釧路湿原の希少動物、タンチョウとシマフクロウについて。 △原因・理由を表すなどして、ものについて詳しく説明したり、調べたことを整理できる。	- 関係代名詞 which(目的各) - 原因・理由を表す表現(thanks to . because of ...)	- ものについて詳しく説明する - 原因・理由を表す - 調べたことを整理する - さまざまな否定や比較を表現する	S…英語新聞に書かれたことについて意見を述べようとしている。 R…表やポスターから多くのことを理解しようと繰り返し読んでいる。 S…表に書かれてあることを適切な表現を用いて説明することができる。 W…読み手にわかりやすく情報をまとめたり、自分の意見を書くことができる。 L…さまざまな情報が含まれる説明を聞いて、特定の情報を聞き取ることができる。 R…さまざまな後置修飾が含まれる文章を読んで、正しく読み取ることができる。 R…さまざまな名詞の後置修飾についての知識を身に付けている。 R…さまざまな否定や比較の表現の知識を身に付けている。	活動中の観察（継続的に観察評価していく） ペアワーク・グループワーク ノートやワークシート インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト リスニングテスト 単語テスト
2					
3					

	Lesson7 Boxed Lunches or School Lunches ▲弁当がよいか学校給食がよいかについてのディベート。 △理由とともに自分の意見を言うことができ、相手の意見を聞いて理解し、反論することができる。	・さまざまな比較や否定の表現 ◆後置修飾（前置詞句／分詞／接触節／関係代名詞）	・意向をたずねる ・描写する ・相手の意見を求める ・自分の意見を，理由とともに言う ・相手の意見を聞いて理解し，反論する ・意見を述べる ・登場人物の気持ちを理解して読む	S…ディベートにおいて，身振り手振り，知っている語句や表現を利用して自分の考えを話している。 W…ディベートに向けて考えられるさまざまな意見や理由を準備している。 W…与えられたテーマについて，自分の意見や主張をまとまりよく書くことができる。 L…ディスカッションやディベートを聞いて，誰がどんな意見なのかを適切に理解することができる。 R…ディスカッションやディベートの対話文を読んで，内容が理解できる。 R…意見を論理的に述べる方法についての知識を身に付けている。	活動中の観察（継続的に観察評価していく） ペアワーク・グループワーク ノートやワークシート インタビューテスト 音読テスト ペーパーテスト リスニングテスト 単語テスト
--	---	---	---	--	--

第1学年英語科 年間指導計画 表現クラス						
(研究課題)		「自然なつながりとまとまりを意識したコミュニケーション能力の育成」				
(学年目標)		「自然なつながり(connection)とまとまり(coherence)のある英文で、自分の考えを表現できる。」				
月	単元名	学習内容(言語材料)	言語活動	評価規準	評価方法	TT withALT
4	Spring Board1～5	・アルファベット大文字・小文字 ・英語で自己紹介を12人にする ・ローマ字で自分の名前や日本文化を表す単語が書ける ・絵を見て、英単語が言える・書ける ・英語で挨拶	・アルファベット練習シート ・自己紹介シート ・ペンマンシップ ・ビクチャーカード・スライド ・英語で挨拶・インタビュー	L…リスニング活動 S…スピーキング活動 W…ライティング活動 R…リーディング活動 S/W…話す／書く	小テスト ワークシート ローマ字確認シート アルファベット確認テスト インタビューシート	一斉授業・週一回 アルファベット発音 アルファベット文字指導 英単語発音練習
	Lesson 1 アヤの新しいクラス	・英語で自己紹介① 基本文 (挨拶) Hello/ Hi. (名前) My name is (). (出身) I am from (). (呼び名) Please call me (). (締めくくり文) Nice to meet you.	・発表用ワークシート ・発音練習 ・文法理解 (一人称)	S…自己紹介ができる L…他者の英文を聞き理解できる	自己評価シート 他者理解シート 観察評価	適切な発音に基づく 自己紹介英文指導
5	単元名	表現クラス(書く・話す・聞く)	言語活動	評価規準	評価方法	TT withALT
		少人数クラスで授業開始 (2時間毎に文法・表現のクラスを交互に受講)				フォニックス発音/a/ ワークシート
	Lesson 1 アヤの新しいクラス	・自己紹介② ・基本項目から選び、完成	・ワークシート ・ペアで他人の紹介を読む ・好ましい順番に並べ替える ・模範解答以外でも可能な解答や 順番を考え、書き換える。	R…英文の意味を読み とることができる W…他人の自己紹介の 英文を適切な順番に書き 替えることができる。	ワークシート 観察評価	フォニックス発音/a/ ワークシート 掲示物英作文指導
	Lesson 3 アヤの友達 巻末カラーページ	(名前・年齢・誕生日・学年・出身・家族・好きなもの・ スポーツ・ペット・友達・自分の学校・その他)			観察評価 各自の考えを発表	フォニックス発音/y/ ワークシート
6	Lesson 1 アヤの新しいクラス	・自己紹介②の英文決定 ・掲示物作成 ・独自の自己紹介内容完成	・下書き用ワークシート完成・清書完成 ・完成文をパソコンで仕上げる。 ・基本シートの作り方を学ぶ。 ・写真・イラストを入れる。	W…英語でまとまりのある 自己紹介英文が書ける S…発音・発表練習	ワークシート 英文内容の完成度 掲示物の完成度 発表の様子・内容	発音指導・発表指導 掲示物英作文指導
	Lesson 3 アヤの友達 巻末カラーページ	・教科書各社の登場人物・有名人の自己紹介	・ビデオ教材 ・ディクテーション ・県下使用教科書から資料を抜粋	L…英語の自己紹介を聞き基本情報 を聞きとることができる	ワークシート 記入用紙を回収・点検	フォニックス発音/ee/ ワークシート
7	Task 46～47ページ Project 50～51ページ	・プレゼンテーション① ・自己紹介②のスピーチ発表(個人・ビデオ撮影)	・イラスト、必要なものを用意し発表 ・自己・他者評価	S…自分の考えを英語で発表できる	ワークシート 評価シート点検	発表スピーチ指導
		・作成してきた掲示物を土台に、独自の 自己紹介を発表する。	・自己紹介の様子を視聴	S…英語でまとまりのある自己紹介が できる L…自分自身の発表を振り返り、 評価する	自己評価シート 他者評価シート ワークシート ビデオ視聴し自己評価 振り返りシート	フォニックス発音/oo/ ワークシート
9	Lesson 2 学校で	・身のまわりの物・他者を紹介する英文が書ける・話せる ・身の回りの物を紹介する英文が書ける① ・指示語を用い、まとまりのある英文で、紹介文が書ける	・マインド・マップによる話題整理 ・身近な物を紹介する英文下書き完成 ・紹介英作文を掲示物として完成	W…思考を整理し選択できる W…自然なつながりのある まとまった英文が書ける	ワークシート 観察評価	フォニックス発音/ea/ ワークシート 発音指導・発表指導 掲示物英作文指導
	Lesson 4 キング先生の家族	・プレゼンテーション②(個人) ・身の回りの物を英文で紹介できる	・紹介文を発表 ・紹介文の発表ビデオを観る ・自他共に気付いた点を話し合う	S…紹介文を英語の発音や抑揚に気を 配り、発表することができる S…紹介文を適した態度・姿勢で発表す ることができる	自己評価 他者評価 観察評価	フォニックス発音 /ou/. /ow/ ワークシート
		・身の回りの物を紹介する英文が書ける② ・3人称単数・複数の主語、指示語を用い、まとまりの ある英文で、紹介文が書ける	・身近な人について紹介する英文 を書ける ・まとまりのある英作文を完成する	W…間違いを恐れず紹介英文を書く R…内容を読み比べ、適切な英文を考える W…掲示用に適した英作文を完成できる	自己評価 他者評価 観察評価 英文内容評価 英文文法評価	フォニックス発音/th/ ワークシート 発音指導・発表指導 掲示物英作文指導
		・プレゼンテーション③(個人) ・身近な人を紹介する英文が話せる ・ビデオ撮影後、視聴して自らを向上のため振り返る	・まとまりのある英作文を発表する	S…聞き手にわかりやすく、適切な速さと 声量で堂々と話すことができる L…他者のスピーチ内容を聞き、理解しよ うとする・理解できる	ワークシート 自己評価 他者評価 観察評価 英文内容評価 英文文法評価	フォニックス発音 /a/. /al/ ワークシート
10	Lesson 6 メイの誕生日パーティー	・情報を伝える① ・自分の一日をまとまりのある英文で表現できる	・時間の流れを意識して英文で自分の 一日の生活を伝えられる ・現在形の動詞に注意して、まとまりの ある英作文を完成する ・掲示物として仕上げる ・写真などを用いて英文を発表する	W…日課・行動を表す英文が書ける L…他者の発信する情報を英文で聞き おむね正しく聞き取ることができる S…適切は発語で情報を明確に伝え ることができる	ワークシート 自己評価 他者評価 観察評価 英文内容評価 英文文法評価	フォニックス発音 /er/. /ur/ ワークシート
	Lesson 7 マンガ大好き	・プレゼンテーション④(個人) ・身近な人を紹介する英文が話せる	・改良点を発見する ・他者から学び、向上につなげる		振り返りシート 他者評価 自己評価	フォニックス発音/ch/ ワークシート
11	Project	・情報を伝える② ・友達の日をまとまりのある英文で表現できる	・視聴覚機器を用い、発表できる ・三人称の主語と動詞に注意して 正確な情報を書くことができる ・三人称の主語と動詞に注意して 正確な情報を話すことができる ・話し方・発音の改善点を発見する	w…第三者の行動を表す英文が書ける L…他者の発信する情報を英文で聞き おむね正しく聞き取ることができる S…適切は発語で情報を正確に伝え ることができる	ワークシート 自己評価 他者評価 観察評価 英文内容評価 英文文法評価 自己観察評価	フォニックス発音 /wh/. /igh/ ワークシート 発表スピーチ指導
	12 Writing Tips 2 カードで気持ちを伝えよう	・季節の挨拶文をカードで仕上げる カードで気持ちを伝えよう	・カードを作成 ・挨拶文を書く ・宛名と差出人を英文で正しく書く ・気持ちを込めたカードを完成させ 届ける(送る)	W…外国文化を基に英文を正確に書く ことができる	カードの完成度 英文内容評価 英文文法評価 観察評価	フォニックス発音 /o/. /sh/ ワークシート
1	Lesson 9 シンガポールで Task	・プレゼンテーション⑥(個人) ・情報を伝える③ ・過去形を用いて自分が昨日したことを表現できる		W…過去の情報を英文で正確に書く ことができる	ワークシート 英文内容評価 英文文法評価	フォニックス発音 /ir/. /ar/. /or/ ワークシート 発表スピーチ指導 発音指導・発表指導
		・プレゼンテーション⑦(パートナー) ・情報を伝える④ ・過去形を用いて友達が昨日したことを表現できる		S…他者に昨日の行動を聞くことができる W…他者の過去の情報を正確に英文にし て書くことができる L…友達が昨日した内容を英文で理解で きる	観察評価 英文内容評価 英文文法評価 観察評価	発表スピーチ指導 発音指導・発表指導
2	Project	・日本と海外の中学生のライフスタイルを調べる	・異文化理解教材	W…違いを認め、客観的な立場で 文化の違いを説明できる S…文化の違いについて発見したこと を客観的な視点で伝えることができる	観察評価 英文内容評価 英文文法評価	掲示物英作文指導
		・プレゼンテーション⑧(グループ) ・話題を決定し、調査し、結果をまとめ発表する	・ポスター、グラフを作成 ・ロゴス、エトス、パトスを意識した 発表をする	W…収集情報を報告する英文を正確に書 くことができる S…発見したことを客観的な視点で伝える ことができる	英文内容評価 英文文法評価 観察評価 自己評価 他者評価	発表スピーチ指導 発音指導・発表指導
3	自由課題	・一年の振り返りスピーチ ・プレゼンテーション⑨(個人)	・自らの感想をスピーチする ・夢や希望を取り入れたスピーチ を作成し、発表する	W…自分の思い、考えを英文として正確に 書くことができる S…成長したこと、挑戦したいことを適切な 英文で伝えることができる	英文内容評価 英文文法評価 観察評価 自己評価 他者評価	発表スピーチ指導 発音指導・発表指導

道徳全体計画



各教科	(国語) コミュニケーション能力を高め、豊かな想像力や思考力を育む活動を通して、他者を尊重する心を養う。
	(社会) 社会事象を多面的・多角的に理解して知識を活用し、基本的人権が尊重される社会を実現しようとする公民的資質を身につける。
	(数学) 数学的な活動を通して、論理的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を身につける。
	(理科) 自然に親しみ、生命を尊重するとともに、物事を科学的に捉ようとする心を養う。
	(英語) 国際社会への理解を深め、言語・習慣の違いを尊重して共に生きる心を養う。
	(音楽) 音楽によって、生涯にわたり生活を明るく豊かなものとし、多様な音楽から我が国や他国への関心を深くもたせる。
	(美術) 創造的に表現する活動や鑑賞を通じて、生活を豊かにし、感謝する心を培う。
	(保健) 健康の増進と体力の向上に努め、相手の気持ちや思いを感じ取り、協力し合って活動することができる。
	(技・家) 実践的な学習を通して、生活の基盤を確立し、生活を創造的に運営していこうとする心を養う。
特別活動	○学級活動を通じて望ましい人間関係を形成する。また、集団の一員として、学級や学校におけるより良い生活づくりに参画し諸問題を解決しようとする自主的・実践的態度を育てる。 ○生徒会活動を通じて、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてより良い学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的態度を育てる。 ○学校行事を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してより良い学校生活を築こうとする実践的態度を育てる。
総合	生きていく上で起こる様々な問題に直面したとき、自分自身で問題を解決する力を得るために必要なコミュニケーション能力や、仲間との協力や他者への思いやりの気持ちが行動に結びつく人間を育成する。
情報	○高度情報化社会の中で情報の発受信について正しい知識とモラルを身につけ実践する態度を養う。 ○情報社会の裏面を知り、使い方によっては情報が人を傷つけ命を奪うということを知る。
進路	○職業や勤労について正しい見方と自己理解を深め、自分の生き方を考え、夢や希望を持って自己実現を図る生徒を育成する(キャリア教育)。○社会的自立に必要な能力の育成を図る(アントレプレナー教育)。
生徒指導	○他者とより良い関係を築き、集団における個人の尊重と規範を自律的に考え行動する態度を育てる。 ○生き方についての自覚を深めるためのきめ細やかな指導を行い、心豊かな生徒を育てる。 ○自己と他者への理解を深め、自尊感情を高め合える生徒を育てる。
家庭連携	個別懇談や教育相談などを活用して家庭との連携を深め、生徒一人ひとりの生活の様子を把握し、学校と家庭が共に心のふれ合いや人を大切にす環境づくりに努める。 ○各種通信(学年・学級)の発行 ○PTA広報誌「いぶき」の発行 ○「家庭学習の手引き」の発行 ○体育祭・友嬉祭・授業などの参観の実施 ○「学習設計」の活用 ○附属中HPの活用
地域連携	○加東市同教との連携 ○加東市ネット見守り隊(サイバーパトロール) ○学校支援ボランティア本部(学校支援ボランティア、学習支援ボランティア) ○「おやじの会」との連携
大学連携	○道徳担当者部会、特別支援教育部会において附属小学校・附属幼稚園と連携 ○大学と道徳資料集「明日を拓く」(東京書籍刊)の資料DVD編集協力(平成21年度実施)

総合的な学習の時間

一 年	第1学年では、「私 出会い 発見」のテーマで年間計画を作成した。 1学期には、校外学習を加西市フラワーセンターで行った。そこで、オリエンテーリング・大縄跳びを行い、学級における人間関係作りを行う機会をつくった。 1・2学期には、アントレプレナーシップ計画のもと、1年生では生徒自身が「すごいと思う物」「好きな物」「気になる物」をインターネットや図書室の本を利用して調べる。そして、グループ・クラス・学年発表会を行い、課題対応能力を身につけさせる。 2・3学期には福祉体験や来年度の「ひょうごの匠」に向けての職業プレ体験を行いこれらの学習成果を友嬉祭や学年発表会で発表する。 3学期には、雪山体験合宿の指導に向けて
二 年	第2学年では、「つながる社会と私」のテーマで年間計画を作成した。 1学期には、兵庫教育大学を訪問し、午前・午後に計15講座から選択して受講するとともに、図書館にて施設見学や大学の紹介ビデオを視聴する。 1, 2学期を通してアントレプレナーシップ計画のもと、2年生では全国各地の有名なお土産をインターネットや雑誌等で調べ学習を行い、グループ間の意見交流会や発表会を実施する。また2, 3年生生徒を対象に、大学教員と附属中学校教員による総合選択授業を計画している。生徒は13の講座から選択し学習成果を友嬉祭で発表する。 3学期には、3年生で行く沖縄修学旅行の事前学習として、沖縄の自然調べ学習や第二次世界大戦時の沖縄戦争調べ学習を計画している。
三 年	第3学年では「社会的に自立する私」のテーマで年間計画を作成した。 ◇1・2学期の14時間を使って総合選択学習を行う。これは附属の特性を生かした大学の教員による特設講座も含めた13講座を、2・3学年合同で受講するものであり、中学校の教科学習の域を超えた、自分の興味関心に応じた発展学習である。2学期に行われる友嬉祭で発表する。 ◇沖縄修学旅行の関連として、沖縄の自然・文化・戦争について個人新聞を作成し、友嬉祭で発表する。 ◇キャリア教育の一環として、個人の進路を尊重し、将来への思いを分かち合う時間を2学期より入れる。 ◇積極的に夢や理想を語り合い、その実現に向けて自分のあり方を考え、理想を実現する手段を探る学習として、アントレプレナーシップ（起業家精神）に基づいた調べ学習やポスターセッションに取り組む。

特別活動年間計画

○指導の目標 附属中学校の生徒としての自覚のもとに、集団生活における規律を重視し、意欲的に活動に取り組み、人生をたくましく生きるために努力できる生徒を育成する。 ○本年度の努力点 1. 中学生としての規律ある生活態度を身につけ、集団のなかで望ましい態度を身につける。 2. 心身を鍛え、豊かな情操の育成に必要な活動を計画し、諸活動の目標を明確にする。 3. 質の高い授業を目指し、協同学習の活動を通じて、学力の向上に努める。 4. 体験活動等の充実とその言語化の指導により、『気づき・考え・実行する』態度の育成に努める。				
月	学 級 活 動			学校行事
	1 年	2 年	3 年	
4	・1年生としての出発 ・学級組織と目標 ・生徒会活動と部活動 ・校外学習	・2年生としての努力目標 ・1学期の生活設計 ・生徒会活動と部活動	・3年生としての自覚を促す生活設計 ・学級組織と目標 ・学級生活の向上 ・修学旅行の役割と意義	・入学式 ・交通安全教室 ・教室 ・生徒会入会式 ・修学旅行 ・避難訓練Ⅰ
5	・部活動への積極的な取り組み ・生徒会活動への積極的な参加	・学級の一員としての役割 ・生徒会活動への積極的な参加 ・充実した学習活動	・修学旅行のまとめ ・生徒会活動の意義と積極的な参加 ・充実した学習活動	・個人懇談 ・PTA総会 ・授業参観 ・実地教育Ⅶ（開始）
6	・学期末テストへの取り組み ・梅雨時の健康管理 ・人権学習への取り組み	・部活動への参加 ・梅雨時の健康管理 ・私の進路 ・いろいろな悩み ・人権学習への取り組み	・自己への挑戦 ・実習生・先輩の進路 ・学習設計の再検討 ・人権学習への取り組み ・梅雨時の健康管理 ・進路①	・実地教育Ⅶ（終了） ・期末テスト ・健康教室
7	・1学期の反省と夏休みの過ごし方 ・通知票の見方 ・人権学習への取り組み ・体育祭への取り組み	・1学期の反省と夏休みの過ごし方 ・人権学習への取り組み ・体育祭への取り組み	・1学期の反省・進路② ・人権学習への取り組み ・充実した夏休みを送るために ・体育祭への取り組み	・加東市総体 ・終業式 ・三者面談（3年）
9	・2学期の生活設計 ・夏休みの反省と2学期の心構え ・体育祭への積極的な取り組み	・2学期の生活設計 ・夏休みの反省と2学期の心構え ・体育祭への積極的な取り組み ・校外学習	・夏休みの反省と2学期の生活設計 ・進路③ ・体育祭への積極的な取り組み	・始業式 ・体育祭 ・加東市新人総合体育大会
10	・友嬉祭への積極的な取り組み	・職業レディネステスト ・友嬉祭への積極的な取り組み	・効果的な学習方法 ・友嬉祭への積極的な取り組み	・中間テスト ・友嬉祭
11	・私の将来 ・学級の諸問題の解決 ・生徒会新役員選挙のあり方	・私の進路 ・生徒会活動への参加 ・生徒会新役員選挙を考える	・進路説明会 ・自己の適性と進路の決定 ・生徒会活動のまとめ	・研究発表会 ・期末テスト
12	・2学期の反省と充実した冬休みを送るために	・2学期の反省と充実した冬休みを送るために	・2学期の反省と充実した冬休みを送るために ・進路④	・三者懇談 ・終業式
1	・新年の抱負 ・3学期の生活設計	・新年の抱負 ・3学期の生活設計 ・立志の意義と立志式を迎えて	・新年の抱負 ・3学期の生活設計 ・冬の健康と安全・進路⑤	・始業式 ・避難訓練Ⅱ ・立志式
2	・私の進路 ・雪山体験学習を考える ・3年生を送る会への積極的な取り組み	・私たちの進路と先輩の進んだ道 ・3年生を送る会への積極的な参加 ・修学旅行にむけて	・進路とお互いの立場 ・中学校生活で得たもの ・後輩に残す言葉	・雪山体験学習 ・期末テスト
3	・1年間を振り返って ・学級生活のまとめ	・1年間を振り返って ・3年生への飛躍 ・学級生活のまとめ	・3年間を振り返る ・意義ある卒業式と卒業後の生活、進路	・3年生を送る会 ・卒業式 ・修了式

キャリア教育の推進に関して

「キャリア」は「個人」と「働くこと」との関係の上に成立する概念であり、個人から切り離して考えられない。また、「働くこと」については、職業生活以外にも家事や学校での係活動、あるいはボランティア活動などの多様な活動があることなどから、個人がその学校生活、職業生活、市民生活等のすべての生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として幅広く捉える必要がある。（文部科学省『小学校・中学校・高等学校 キャリア教育推進の手引き』平成18年1月）

本校では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てる教育」と位置づけ、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動をとおして指導する。

本校の教育目標である「人生をたくましく豊かに生き抜くために、考え、鍛え、行動する人間の育成」は、創立以来31年目を迎えた今でも、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成が中等教育の大切な任務であることを示唆している。平成24年度は「生きる力」の育成を教育の柱とし、目指す生徒像に「自立と創造 社会的自立を目指し、自己の能力や創造性を伸ばす生徒」を新たに加えて、教育課程を編纂し直している。中学校におけるキャリア発達の促進を図るための有効な教育課程を開発し、その検証をもとにキャリア教育モデルの作成を試みる。その際、新学習指導要領に示す特別活動（第5章）のねらいに即して、キャリア教育の諸理論（機能理論、発達理論など）に基づき、教育課程の編纂を行っている。

平成24年度は、新たな取り組みとして、キャリア教育における基礎的・汎用的能力（文部科学省2011）と関連づけながら、中学段階において必要なキャリア教育モデルとして「キャリア総合選択授業」を企画した。また、「アントレプレナー教育」の企画立案準備を進め、年度中の実施を目指している。

以下に、「キャリア総合選択授業」「アントレプレナー教育」の指導計画を示す。

I キャリア総合選択授業を始めるに当たって。

1 本校の現状。

本校は国立大学附属校であり、県内の公立中学に比べてキャリア教育の推進、基礎的・汎用的能力育成という視点からの教育諸活動が十分になされているとは言い難い。教育諸活動をキャリア教育の視点から捉え直すことで、単なる職業観・勤労観の育成にとどまらず、「生きる力」の育成を念頭に置いた教育諸活動としていくことが求められている。

一方、本校では行事や生徒会活動が、生徒の主体的な活動を念頭においた取組として位置づいている。伝統的に自主性、責任感、思いやりの気持ち、協調性、コミュニケーション能力等を培ってきており、主体的に行動しようという生徒が多い。やや学力は2極化しているものの、非社会的行動、反社会的行動はほとんどなく、これまでの研究の取り組みによって学び合いの学習が定着してきている。本校は、キャリア教育にかかわる諸活動がキャリア発達にもたらす効果を観察し、検証できる環境にあるといえる。

2 研究仮説

中学校においてキャリア教育を推進するには、単なる出口指導に陥ることなく、生徒の発達段階に応じたキャリア発達を促す教育が必要であり、キャリア教育について正しく理解させ、有効なキャリア教育履修を教育課程に位置づけて指導することが重要である。

キャリア教育推進、基礎的・汎用的能力育成という視点からキャリア総合選択授業、アントレプレナー教育を捉え、キャリア教育推進プログラムを構築することを通して、将来に夢を持ち、個性の伸長を図りながら、主体的に学ぶことができるような生徒を育成できるという仮説を立て、実践を通してこれらを検証する。また、活動を通して、キャリア教育で求められる「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を身につける事ができるということに関しても検証したい。

3 必要となる教育課程の工夫

附属中学校では、兵庫県公立中学校が取り組んでいる「トライやる・ウィーク」と同等のキャリア教育に関する効果を期待しうる活動を25年度から実施する予定である。平成23年度には、それらの実施に向けた教育課程の整備を行うこととして、現行の教育課程を見直し、次年度以降の教育課程の計画を整備した。その結果、総合的な学習の時間を活用して、キャリア発達にとっての課題を明確にしつつ、生徒のモチベーションを高める取り組みとして、「キャリア総合選択授業」を企画立案して24年度から実施することとした。また、「アントレプレナー教育」にも着手する。24年度は本計画を実施し、その教育課程の実効性を吟味し、教育効果を検証することとしている。

総合的な学習の時間を活用して（14時間）、「キャリア総合選択授業」の時間を設定する。2年生、3年生を対象として、1つの講座を2年生、3年生が一緒に受講する形式とした。全13講座、1講座あたり15名程度で実施し、キャリア発達促進という視点から学習活動を計画し1期（14回）とする。生徒は次年度に同じ講座を受講してもよいこととする。各講座の成果は、附属中学文化祭（友嬉祭）でのポスターセッション研究発表等を通して生徒自身が発表する。その内容は1年生にも共有される。学習過程においても、成果発表においても、キャリア発達を促進する内容を盛り込むこととした。

4 研究成果の評価方法

キャリア総合選択授業での活動、成果についてキャリア意識調査を実施し、分析する。既に23年度には第1回目のキャリア教育に関する意識調査を実施した。今後は、学校自己評価の結果なども加味しながら、講座内容のバージョンアップなどを進める。

II キャリア総合選択授業の具体的な計画

1 開設講座について

本研究のための「キャリア総合選択授業」の講座内容は、以下の3部門とした。

A サイエンス・心理部門。B 人文・言語。C ものづくり・心と体づくり

2 キャリア発達促進を根底に置いた講座開設や内容等の充実について

附属中学教諭はこれらの講座のうちどれかを担当し、授業内容に応じて講師を引き受けた大学教員とペアを組み、講座内容について共同共究を進めることとする。講座は、オリエンテーションを含めて14回＋友嬉祭（文化祭）とした。

※ 全13講座。2年、3年の合計198名。1講座あたり15～16名。

※ 講座を巡視し、支援を要する生徒を観察、記録。

※ キャリア総合選択授業実施時間（火曜日 4 限）の 1 年の授業は 3 名が担当。

※ 日程について

24 年度		
オリエン テーション	5 月 1 日	(火)
1 回	5 月 8 日	(火)
2 回	5 月 15 日	(火)
3 回	5 月 22 日	(火)
4 回	5 月 29 日	(火)
5 回	6 月 5 日	(火)
6 回	6 月 12 日	(火)
7 回	6 月 19 日	(火)
8 回	7 月 3 日	(火)
9 回	7 月 10 日	(火)
10 回	7 月 17 日	(火)
11 回	10 月 9 日	(火)
12 回	10 月 23 日	(火)
友 嬉 祭	10 月 27 日	(土)
13 回	10 月 30 日	(火)

- (1) 5 月 1 日オリエンテーションでのスタートとし、7 月 17 日までの 10 回分をポスターセッション用にまとめて掲示物等の案を練る。
- (2) 11 回で、ポスターセッションのポスター（模造紙大）を完成させ、12 回でプレゼンテーション等で代表 1 グループを選出しておく。
- (3) 友嬉祭で代表グループのポスターを講座数分体育館壁面に掲示する。
- (4) 13 回で 1 年生から 3 年生までの全員で体育館壁面に貼ったポスターを用いて、各講座代表グループのポスターセッションを実施する。
このポスターは 11 月 9 日の研究発表会用の掲示物としてアピールするため、ポスターセッション後に校内の指定した場所に掲示する。

Ⅲ アントレプレナー教育の企画立案

平成 23 年度、アントレプレナー教育の計画を立てるための視察（京都教育大学附属小中学校）および文献研究などを進め、実施上の課題や期待される成果等に関する研究を進めた。その結果、キャリア発達に寄与する取り組みとして、附属中学校におけるアントレプレナー教育のありかたを次のように企画立案した。

24 年度は全学年、同じ教育内容とする。（2 年生は 2 年間、3 年生は 1 年間の教育計画とする）。内容が同じでも、学年による発達の違いや既習内容の違いがあり、同じような成果発表にはならないと考えられる。25 年度より教育内容構成を学年が上がるごとに推移させていくこととする。26 年度からは、各学年の習得状況に応じた内容構成ができるよう構成する。

学年	24 年度 内容	25 年度 内容	26 年度 内容
1 年生 8 h	これはすごいもの	これはすごいもの	これはすごいもの
2 年生 8 h	これはすごいもの	ふるさとお土産プロジェクト	ふるさとお土産プロジェクト
3 年生 8 h	これはすごいもの	ふるさとお土産プロジェクト	ふるさとのまちを PR

Ⅳ 職業体験

兵庫県で実施している「トライ・やる ウイーク」はキャリア発達を促し、生きる力を育成する取り組みとして全国から評価されている。近年、国立大学附属中学校においても職業体験を「トライ・やる」に習って実施するところが見られる。附属中学校はこれまで、半日程度の兵庫県における地場産業の見学や職業体験、「ひょうごの匠」事業による職業体験を実施してきた。今後は、立地や生徒の構成など物理的な制約を鑑みつつ、可能な範囲で附属中版「トライやる」を実施すべく、25 年度実施を目標に準備を進めることとする。